





参照項目から元の箇所に戻るには、お使いのビューワーの仕様に従ってください。または一旦目次を表示し、戻りたい箇所の近くの見出しをタップして戻ってください。



# はじめに

『イングリッシュ・ジャーナル』から厳選された英国俳優のインタビューが聞ける！

この本は、アルクの月刊誌『イングリッシュ・ジャーナル』に2011～2015年にかけて掲載された、ハリウッドで活躍する英国俳優のインタビューの中から10本を選び、1本6～7分の長さに再編集して収録したものです。

各インタビューごとに、音声に極めて忠実な英文トランスクリプト、対訳、語注、用語解説などが掲載され、インタビュー音声は無料でダウンロードできるため、入手したその日からすぐ、スターたちの本物の声でリスニング練習ができます。

レベル別・モデル学習法で英語力アップ！

さらに、インタビュー・ページの前には、本書の内容を利用した、英語力レベル別の学習モデルプランが掲載されていますので、これを使って、ご自分のレベルに応じて、リスニング力はもちろん、スピーキング力を含む英語力全体までもステップアップさせることができます。

各インタビューの末尾には、この学習ページに対応した「理解度チェック」が付いていますので、自分がどの程度聞き取れたか確認するために、ぜひご利用ください。また、長年ハリウッドスターを取材してきたベテラン映画ライターによる、スターたちの普段の英語の話しぶりに関するエッセイも、どうぞお見逃しなく！

10本のインタビューに登場する俳優たちは皆、今、非常に注目され、活躍しているスターたちです。

さあ、まずは、憧れのスターの話がどのくらい聞き取れるか、早速挑戦してみましょう！

表紙写真：Getty Images



## 無料ダウンロード音声について

本書に対応する音声は、すべて無料でダウンロードしていただけます。下記URLにアクセスし、『ハリウッドスターの英語4』を選択、フォームに必要事項をご記入の上送信いただくと、ダウンロードページURLのご案内メールが届きます。

ALC Download Center  
ダウンロードセンター



ダウンロードした音声ファイルはiTunesなどの音声再生ソフトで取りこんでご利用ください。音声再生ソフトでのファイルの取り込み方法や携帯音楽プレーヤーでの利用方法については、ソフトやプレーヤーに付属するマニュアルでご確認ください。

取り込んだ音声ファイルは、音声再生ソフトで次のように表示されます。

出版社名（アーティスト名）：「ALC PRESS INC.」と表示。

書名（アルバム名）：

『ハリウッドスターの英語4』

トラック名（曲名）：どの学習に必要な音声なのかがすぐわかるよう、[トラック名\_アーティスト名]で曲名が表示されます。（例：[01\_Colin Firth]

本書では、ダウンロードした音声を使用する部分は **DL Track01** のように、トラックの通し番号で記載しています。該当のトラックを再生して学習してください。



[はじめに](#)

[無料ダウンロード音声について](#)

[ベテラン映画ライターが聞いた  
英国俳優の“素顔の英語”](#)

[〔レベル別・本書を使った学習モデルプラン〕  
英国俳優のインタビューで英語力パワーアップ](#)

[インタビュー・ページの読み方](#)

---

---



# Colin Firth

吃音に悩む英国王ジョージ6世が、治療に当たった型破りなセラピストと心通わせ、吃音と同時に孤独な心も癒されていく様子を描いた『英国王のスピーチ』。本作でアカデミー賞主演男優賞を受賞したコリン・ファースが、王の役作りなどについて語ったインタビュー。

▶用語解説

▶語注

---



# Robert Pattinson & Resse Witherspoon

『恋人たちのパレード』で、三角関係にある男女を演じたロバート・パティンソンとリース・ウィザースプーンによるインタビュー。アメリカ英語のアクセントが時折混じるパティンソンの英語はユニーク。象と「共演」するコツなどを飾り気のない言葉で語っている。

▶用語解説

▶語注

---



# Emma Watson

「ハリー・ポッター」シリーズを演じ終え、子役から女優へとしなやかに脱皮したエマ・ワトソン。分身とも言えるハーマイオニー役を感慨深く振り返りつつ、次作『ウォールフラワー』に出演したことで女優として生きる確信を得た、とさらなる成長への意欲を見せている。

▶用語解説

▶語注

---



# Daniel Radcliffe

「ハリー・ポッター」シリーズ終了後は、がらりと違うイメージの役に挑戦しているダニエル・ラドクリフが、『もしも君に恋したら。』で、友情と恋愛の間で揺れ動く青年を等身大で好演。友情と恋愛観、俳優としての役への向き合い方、「ハリー」時代について語るインタビュー。

▶用語解説

▶語注

---



# Daniel Craig

6代目のジェームズ・ボンドことダニエル・クレイグ。「007」シリーズ50周年記念作『007/スカイフォール』への意欲がみなぎるインタビューで、ボンドのキャラクター分析や、伝統的なボンド像の維持と時代に合わせた進化を両立させる工夫などについて熱く語っている。

▶用語解説

▶語注

---



# Benedict Cumberbatch

英国のドラマ「SHERLOCK/シャーロック」で現代版ホームズを演じるカンバーバッチが、オーディション当時の心境、超人的な役作りの苦勞、相棒ワトソンに抱く思いなどを、役さながらの速度と知性あふれる言葉で語る。

▶用語解説

▶語注

---



# Keira Knightley

古典小説を舞台劇の手法で描いた映画『アンナ・カレーニナ』でアンナを演じたキーラ・ナイトレイ。破滅愛へと向かう役柄への共感の難しさを告白しつつ、人間的な感情で相手を批評する自由があるからこそ興味深い、というコメントには成熟した女優の余裕がにじむ。

▶用語解説

▶語注

---



# Emma Thompson & Tom Hanks

ウォルト・ディズニーによるミュージカル映画『メリー・ポピンズ』ができるまでを描いた『ウォルト・ディズニーの約束』で共演した、英米を代表するベテラン俳優二人のインタビュー。演じてみたい理想の役を問われたときの、二人の絶妙なやりとりが傑作。

▶用語解説

▶語注

---



# Dan Stevens, Hugh Bonneville & Joanne Froggatt

英国ロイヤル・ファミリーも夢中になっているという、大人気ドラマ「ダウントン・アビー」。貴族の邸宅「ダウントン」当主のグランサム伯爵、相続人マシュー、メイド長アンナの役を務めた三人が、コスチュームドラマにとどまらない作品の魅力の奥深さを語っている。

▶用語解説

▶語注

---



# Martin Freeman & Ian McKellen

世界中で記録的ヒットとなった「ロード・オブ・ザ・リング」シリーズの前日譚を描いた「ホビット」シリーズが完結。ビルボ役とガンダルフ役を演じた二人が作品を振り返る会話は軽妙洒脱。ピーター・ジャクソン監督が合いの手のようにさりげなくコメントする場面も。

▶用語解説

▶語注

---

奥付



英国俳優の“素顔の” 英語 4

How do British actors speak?

Text by Tominaga Yuki

ハリウッドを支える英国俳優たち

ハリウッド映画に欠かせない存在が、実は英国俳優であることはよく知られている。過去20年間を振り返っても、アカデミー賞の主演・助演の俳優部門に英国俳優がノミネートされなかった年はない。主人公として、脇を固める存在として、才能豊かな彼らは国際的な活躍を続けているのだ。

『英国王のスピーチ』でアカデミー賞主演男優賞を受賞したコリン・ファースは、見た目の誠実さそのまま、普段も穏やかで、丁寧な語り口だ。両親の仕事の都合で幼少期を海外で過ごしたファースは、イギリス帰国後に学校でいじめられ、対抗策として地元の労働者階級のアクセントを習得したという。周囲になじめない孤独な少年は、演じることに自分の居場所を見出したのだろう。早くから演技に興味を持ち、プロの俳優になる道を志した。そんな彼が、吃音に悩み孤立するジョージ6世という難役にどう取り組んだのか、また、セラピスト役ジェフリー・ラッシュとの対話や異例の長回しによる撮影手法などについて、インタビューでは語っている。

本国イギリスよりも、アメリカに渡って主演した「トワイライト」シリーズで人気が発したロバート・パティンソン。彼はブレイクした役柄がアメリカ英語を話す設定だったため、シリーズ出演が続いた結果、イギリスのアクセントを忘れてしまったほど。インタビューでは、イギリス英語が主体ながら、時折アメリカ風のアクセントも混じり、両者が渾然一体となった独特の話し方をしている。「トワイライト」シリーズ終了後はデヴィッド・クローネンバーグをはじめ個性派監督たちの作品に出演するなど、俳優としての幅を広げている。最新作は、永遠のスター、ジェームズ・ディーンに密着した天才カメラマンの役を演じる『ディーン、君がいた瞬間』

子役のイメージを脱却

社会活動家の顔も持つワトソン

ハキハキとした口調から聡明さが伝わってくるエマ・ワトソン。大ヒット作「ハリー・ポッター」シリーズでハーマイオニー役を演じ、デビューと同時に一躍有名人となった彼女が語る“名声とのつき合い方”は興味深い。インタビュー収録当時、実人生の半分以上の期間を共に過ごしたハーマイオニーとエマ本人のシンクロぶりは、語る本人が意識している以上のもの。だが、当たり役のイメージからの脱却は実にスムーズだった。インタビュー中でも話題になった『ウォールフラワー』ではアメリカ英語を話すヒロインを自然に演じている。最新作はダン・スティーヴンスと共演する『美女と野獣』の映画化で、大人の女優へのステップアップを見事に果たした。エマには女性の権利に関する活動家という顔もある。チャリティーや世界経済フォーラムなど公の場で男女平等についてスピーチを行うなど、自らの人気を啓蒙活動に生かし、社会貢献する姿勢は頼もしい。

同じく11歳にして「ハリボタ」シリーズの主演を射止めたダニエル・ラドクリフ。シリーズ完結前から舞台にも主演、『エクウス』公演では全裸もいとわない熱演で、イメージを覆すことを恐れない役者魂を見せた。ホラーやサスペンス、ダークな色合いの作品を好む傾向があるが、その中で異彩を放つロマンチック・コメディ『もしも君に恋したら。』出演時のインタビューでは、役を通して友情や恋愛観について語っている。子役出身者にありがちな斜に構えた感じは微塵もなく、いきいきと自分の言葉で語る姿が清々しい。

伝統の役に新境地を開いたクレイグとカンバーバッチの人柄

50年以上にわたり映画界を代表するアイコン的なキャラクター“ジェームズ・ボンド”。6代目にして初の、ブロンドのボンドとして話題になったダニエル・クレイグ。第4作『007/スペクター』も撮り終え、すっかりボンド俳優として定着したが、主演決定の報が流れた当初はバッシングの嵐だった。身長180センチ以下、しかもブロンドではイメージに合わないという声が大半。逆風の中、アンチ勢を納得させるために肉体改造など並々ならぬ努力を続けた結果、ストイックでクールな21世紀のジェームズ・ボンド像を打ち出した。

インタビューは前作『スカイフォール』公開時のもので、スタッフたちと作り上げたボンドというキャラクターについての自信がうかがえる。ところで「007」シリーズ以外では、男女平等を訴える短編映画に出演するなど、フェミニストでもある彼はインタビュー中、ボンドを「男性優位主義者」と評し、時代とともに少しずつ変化していくボンド像について語っている。格好をつけず、飾らない率直な人柄が魅力的だ。

同じく、多くの先陣がいる役に挑んだのがベネディクト・カンバーバッチ。テレビドラマ「SHERLOCK/シャーロック」で現代のシャーロック・ホームズ像を確立し、大ブームを巻き起こした。実際の彼は伶俐なシャーロックと違い、気さくな人柄で知られている。軽め話題なら軽妙に、深い話ならとことん深く……と臨機応変に対応しつつ、どんな場合でも本人が会話を楽しもうという姿勢が伝わってくる。インタビューでは、役への挑戦と現代を生きるホームズ像、そしてワトソンとの関係について、深く語っている。

2014年には、シャーロックとわずかに重なる孤高の天才を演じた『イミテーション・ゲーム／エニグマと天才数学者の秘密』でアカデミー賞主演男優賞にノミネート。ファンの熱狂ぶりも有名で、舞台出演中に携帯カメラの撮影に悩まされたりもするが、終演後のステージアに詰めかけた彼らの良識を信じて丁寧に自粛を呼びかけるなど、誠実な対応を続けている。

知性とユーモアが香る英国女優

18歳の時に「パイレーツ・オブ・カリビアン」シリーズのヒロイン役で大ブレイクしたキーラ・ナイトレイ。その美貌と容姿は常に注目を集め、ファッションアイコンとしてもはやされる一方、あまりの細身ゆえ摂食障害かと噂されたこともあった。

芯の強い女性を魅力的に演じるキーラ本人も凛とした口調。インタビューでは時代劇と現代劇に出演するときの意識の違い、衣装の役割、演じたヒロイン「アンナ」のキャラクターを語りつつ、理性と感情をめぐる人間論へと広がっていく。

2013年に結婚、一児の母となり、私生活の安定から仕事も軌道に乗ったキーラは、カンバーバッチと共演した『イミテーション・ゲーム／エニグマと天才数学者の秘密』でアカデミー賞助演女優賞にノミネートされた。

エマ・トンプソンは、ハリウッドにとって理想のイギリス人女性像を体現する一人。演じる役柄同様、本人も気品があり、ユーモアセンスも抜群の知的美女。脚本や監督も手掛ける才媛だ。

ケンブリッジ大学在学中、19世紀から続く由緒あるコメディ演劇クラブ「フットライツ」の初の女性メンバーになったエマ。ブレイク当初こそ、きちんとした女性役が多かったが、近年は本来のユーモアセンスを生かし、はじけた演技を見せている。



『メアリー・ポピンズ』の作者を演じた『ウォルト・ディズニーの約束』では、トム・ハンクス扮するディズニーとの対比を強調するために、いつも以上にガチガチのイギリス英語で四角四面なキャラクターを演じている。インタビュー中にもその真似をしていて、普段の口調との違いがはっきりわかって面白い。

イケメン俳優ダン・スティーヴンスの素顔は二枚目半?!

20世紀前半のイギリス貴族の館の日常を描くテレビドラマシリーズ「ダウントン・アビー」。不慮の海難事故を発端に、突然、伯爵家の爵位相続者となった青年弁護士・マシューは正義感が強く真面目だが、演じるダン・スティーヴンスの素顔は二枚目半。彼もエマ・トンプソンと同じくケンブリッジ大学の演劇クラブ「フットライツ」の出身で、面白いことが大好き。『ナイトミュージアム／エジプト王の秘密』のランスロット役では、真面目一辺倒のマシューとがらりと違う表情を見せた。ダウントン・アビー当主のグランサム伯爵を演じるヒュー・ボネヴィルもケンブリッジ卒業生。ともに、英国紳士らしい落ち着きを基調にしながら、ユーモラスなだけでなく方で、肩に力を入らない雰囲気だ。慎ましく愛らしいメイド（シーズン1当時）、アンナを演じるジョアン・フロガットはドラマの舞台と近いノース・ヨークシャーの出身。劇中ではヨークシャーのアクセントを自然に使いこなしているが、普段は癖のない、滑らかな語り口だ。

聞き手を引き込む言葉とユーモア

マーティン・フリーマンはテレビドラマ「SHERLOCK/シャーロック」のワトソン役で幅広い層の人気を得た。小柄で愛嬌のある顔立ちから癒し系に思われがちだが、ブラック・コメディの鬼才エドガー・ライト監督作の常連でもあり、インタビューでは毒気のある答えを返すことも。今回はきついジョークは抑えつつ、「ホビット」シリーズへの取り組みを語っている。ナイトの称号も持つ名優、イアン・マッケランは舞台でも映画でも威厳に満ちているが、素顔はとてもお茶目。1939年生まれの76歳という大御所ながら、15年以上前からブログを開設し、今はSNSでファンとも交流、機知に富んだツイートや動画などを投稿している。今回は合同記者会見という場で、大勢の聞き手を前にした語りは舞台のモノローグのように“聴かせる”力に満ちている。英国俳優の語りを聴いて感じるのは、音の響きの美しさもさることながら、言葉の選び方などセンスが肝要だということ。ただ言いたいことをストレートに並べるのではなく、ちょっとひねりをきかせたユーモアを忘れない。どの俳優も「聞いて、聞いて」と一方的にまくしたてず、相手の反応を確かめながら話を進めていく様が印象に残った。

富永 由紀●映画ライター。『婦人画報』『FLIX』『VOGUE JAPAN』『シネマカフェ』『シネマトゥデイ』『ムビコレ』など雑誌・Web媒体で執筆。訳書に『ジョニー・デップ A Modern Rebel』（竹書房）。



英語力パワーアップ

映画スターの生素材を使ったリスニング学習のメリットとは？

Text by Matsuoka Noboru

01 生の英語素材には魅力がいっぱい

生のインタビュー素材には、教科書の英語にはないさまざまな魅力があります。

第1に、話している人物が声優やナレーターではなく、本人が自分の思いや考えを自分の言葉で話している点です。本書では、ハリウッドスター本人が、シナリオではなく自分の言葉で話しているのですから、映画ファンにはたまりません。映画ファンならずとも、世界的なスターの話なら、教科書を読むナレーターの英語より、興奮度ははるかに高くなるはずです。

第2に、生の素材の魅力は、バラエティーに富んでいることです。画一化された教科書英語とは違って、人それぞれの話し方の癖が、スピードや言い回し、アクセントなどに見られ、個性を楽しめることです。

第3は「不完全」であることです。教科書の英語は完璧なセンテンスの集合体ですが、そのような英語は現実の人間の発話には存在しません。会話は瞬間芸ですから、間違いもすれば、言い直しもし、言葉に詰まることもあれば、途中で中断することもあります。生の素材は、こうした現実の「正しい不完全な英語」を教えてくれる貴重な教科書なのです。

02 リスニングは4技能の原点

本書は、音声素材を使ってリスニング力をパワーアップすることを目的に編集されたものです。したがって、音声を聞くことが練習の中心になり、テキスト（スクリプト、対訳、語注）はあくまでも補助的なものとして考えられます。しかし、リスニングは4技能（聞く、話す、読む、書く）の原点です。リスニングのパワーアップはスピーキング力の向上に直結します。同時に、音声を文字にすれば、リーディング、ライティングのパワーアップにもつながります。また、これらのプロセスで語彙力の増強も同時進行します。本書の利用を聞き取り練習にとどめず、欲張ってあなたの英語力全体のパワーアップにつなげてください。

03 学習方法

本書を利用した学習方法の例をレベル別に紹介します。各レベルともSTEP 4の後に「理解度チェック」（各インタビューの最終ページに掲載）があります。GOALに示された得点をクリアしたら、1レベル上の方法でチャレンジしてください。なお、各レベルとも、STEP 5以降はスピーキングやリーディングのパワーアップにつなげる〈発展学習〉です。範囲や回数は指定していませんので、自分のペースに合わせてあれこれ試してみてください。

松岡 昇●青山学院大学大学院国際政治経済研究科修了。

現在、獨協大学・立教大学で講師、NPOグローバル・ヒューマン・イノベーション協会理事を務める。専門は、国際コミュニケーション、社会言語学。

著書に『日本人は英語のここが聞き取れない』（アルク）、『会話力がアップする英語雑談75』（DHC）など。「1000時間ヒアリングマラソン」の主任コーチとして活躍するかたわら、英語およびグローバル人材育成セミナーで講師を務めている。



初級者

TOEIC 500点未満



話の「森」（＝大筋）が見える

初級レベルでは、語注類と **Reporter** の質問文（英文、訳文）の助けを借りて、合計10回の聞き取りで話の「大筋」がつかめることを目標とします。

たとえ最初はまったく聞き取れなくても、以下のステップに従って、まず、用語解説と語注（背景知識とボキャブラリー）をあらかじめ頭に入れることで徐々に聞き取りが容易になり、次いで、**Reporter** の質問文を理解することでインタビューの答えの「大筋」を予想できるようになります。

どれほど速い英語でも、途中で音声を止めることはせずに、自然の英語の流れに身を任せてください。少しずつ聞こえてくる語句が増えてくるはずです。



## STEP 1 全体を聞く

まずは音声を最初から最後までノンストップで2回聞く。気持ちでは、いつでも、最初の1回で「森」（＝大筋）をつかむつもりで。（1～2回目）



## STEP 2 用語解説＋全体を聞く

トラックごとに、テキストの「用語解説」に目を通してから 音声を聞く。この作業が最後まで終わった後で、再度、全体を最初から最後までノンストップで2回聞く。（3～5回目）



### STEP 3 語注＋全体を聞く

トラックごとに、テキストの「語注」に目を通してから 音声を聞く。この作業が最後まで終わった後で、再度、全体を最初から最後までノンストップで2回聞く。（6～8回目）



## STEP 4 質問文＋全体を聞く

**Reporter** の質問文（英文と訳文）をテキストで読む。その後、全体の音声を最初から最後までノンストップで2回聞く。（9～10回目）



「理解度チェック」を行う















## STEP 5

スクリプトを1文ずつ読み、内容を確認する。



STEP 6

自分のスピードで音読をする。



## STEP 7

1文ごとに、スクリプトを見て読み、顔を上げて（スクリプトから目を離し）同じ文をもう一度繰り返して言う。



## STEP 8

スクリプトを見ながら、音声のシャドーイング（音声を止めずに、すぐ後から影のようについて英文を音読する練習）をする。音声についていけるようになるまで繰り返す。







話の「森」と「木」（＝要点）が見える

中級レベルでは、語注類と **Reporter** の質問文（英文）の助けを借りて、合計7回の聞き取りで話の「大筋」と「要点」がつかめることを目指します

このレベルでも、固有名詞（人名、映画のタイトルなど）が多いため、何の予備知識もなく聞けば「大筋」をつかむことさえ極めて困難です。用語解説と語注から背景知識とボキャブラリーを仕入れ、また **Reporter** の質問文を英文であらかじめ読むことで、聞き取りやすさが違ってくるはずです。

和訳の作業は、速い英語では、理解の妨げにしかありません。和訳をあきらめ、音声を止めずに、英語の流れに身を任せると、少しずつ日本語を介さない「映像」（＝話されている内容のイメージ）が見えてきます。



## STEP 1 全体を聞く

まずは音声を最初から最後までノンストップで1回聞く。気持ちでは、いつでも、最初の1回で「木」（＝要点）をつかむつもりで。（1回目）



## STEP 2 用語解説＋全体を聞く

トラックごとに、テキストの「用語解説」に目を通してから 音声聞く。この作業が最後まで終わった後で、再度、全体を最初から最後までノンストップで1回聞く。（2～3回目）



### STEP 3 語注＋全体を聞く

トラックごとに、テキストの「語注」に目を通してから 音声を聞く。この作業が最後まで終わった後で、再度、全体を最初から最後までノンストップで1回聞く。（4～5回目）



#### STEP 4 質問文＋全体を聞く

**Reporter** の質問文（英文のみ）をテキストで読む。その後、全体の音声最初から最後までノンストップで2回聞く。（6～7回目）



「理解度チェック」を行う















## STEP 5

スクリプトを1文ずつ読み、内容を確認する。



STEP 6

自分のスピードで音読をする。



## STEP 7

1文ごとに、スクリプトを見て読み、顔を上げて（スクリプトから目を離し）同じ文をもう一度繰り返して言う。



## STEP 8

スクリプトを見ながら、音声のシャドーイング（音声を止めずに、すぐ後から影のようについて英文を音読する練習）をする。音声についていけるようになるまで繰り返す。



## STEP 9

スクリプトを見ずに、音声のシャドーイングをする。音声についていけるようになるまで繰り返す。



上級者

TOEIC 750点以上



## 話の「森」と「木」と「枝葉」（＝詳細）が見える

---

上級レベルでは、語注類の助けのみを借りて、合計5回の聞き取りで話の「大筋」、「要点」、そして「詳細」がつかめることを目標とします。

このレベルの人は、いきなり1、2度聞いただけでも、「大筋」や「要点」はかなりのところまでつかめるはずです。しかし、細かい部分を聞き取ることには、もうひとつ自信が持てない段階です。やはりポイントは、背景知識とボキャブラリーです。「知っている話題」は細かい部分まで比較的楽に聞き取れるものなのです。

詳細を聞き取ろうと力を入れると、瞬時に理解できない特定の語句が気になり、理解の流れを妨げます。語注類をチェックした後は、力を抜いて英語の流れに身を任せてください。はじめのうちはザルのように細かい情報が素通りしていく不安を覚えますが、徐々に慣れて、リラックスした状態で「枝葉」まで見えるようになってきます。

---



## STEP 1 全体を聞く

まずは 音声を最初から最後までノンストップで1回聞く。気持ちでは、いつでも、最初の1回で「枝葉」（＝詳細）までつかむつもりで。（1回目）



## STEP 2 用語解説＋全体を聞く

トラックごとに、テキストの「用語解説」に目を通してから音声を聞く。この作業が最後まで終わった後で、再度、全体を最初から最後までノンストップで1回聞く。（2～3回目）



### STEP 3 語注＋全体を聞く

トラックごとに、テキストの「語注」に目を通してから音声を聞く。この作業が最後まで終わった後で、再度、全体を最初から最後までノンストップで1回聞く。  
(4～5回目)



「理解度チェック」を行う















#### STEP 4

スクリプトを1文ずつ読み、内容を確認する。



STEP 5

自分のスピードで音読をする。



## STEP 6

1文ごとに、スクリプトを見て読み、顔を上げて（スクリプトから目を離し）同じ文をもう一度繰り返して言う。



## STEP 7

スクリプトを見ながら、音声のシャドーイング（音声を止めずに、すぐ後から影のようについて英文を音読する練習）をする。音声についていけるようになるまで繰り返す。



## STEP 8

スクリプトを見ずに、音声のシャドーイングをする。音声についていけるようになるまで繰り返す。



STEP 9

対訳を見ながら、1文ずつ口頭で英訳する。



## STEP 10

インタビューの内容を自分の英語で要約する。



# インタビュー・ページの読み方

この本のインタビュー・ページの本文は、次のように構成されています。最初の扉ページで、それぞれのスターのプロフィールや、話し方の難易度や特徴をチェックし、自分のレベルや関心に合わせてインタビューを聞いて／読んでみましょう。

## 音声トラック

**DL Track XX** とあるアイコンがある部分は無料ダウンロード音声と対応しています。ダウンロードした音声を再生して学習してください。また本文のトラックには、その収録パートで述べられている内容の参考になるよう、中見出しを付けてあります。中見出しは必ずしも英和対訳にはなっていません。

## 英文スクリプト

音声に忠実に書き起こした英文トランスクリプトです。ただし、単語と認識し難い発声や相づち、言いよどみ、どもりなどは、表記されていない場合があります。英文中の①②③という数字は「語注」、❶❷❸という数字は「用語解説の各番号に対応します。

## 和訳例

英文のスタイルにできる限り即した訳になるようにしています。学習の参考にしてください。ただし、どのレベルの方も、最初は訳例を見ないで英文をリスニング／リーディングされることをおすすめします。

## 語注

英検2級・TOEIC730点レベル以上の語彙を中心に、注意が必要と思われる単語や表現について、ここで使われている意味の訳語を付けてあります。必要なものについては、訳語の後に★印で補足説明を付けてあります。

## 用語解説

主として、固有名詞と、話の理解に必要と思われる背景や事情について、解説を付けています。





Colin Firth

Startraks/ アフロ







人間としての「王」を愛情と敬意で演じた俳優

Colin Firth

“It was like doing live theatre in a way.”

「ある意味で、劇場で生の芝居をするようだったんだ」

Supervising Editor's Comment

英国王を演じる俳優だけあって、上品な人が話す、典型的なRP\*だ。全体的に力みがなく、穏やかな口調になる。モゴモゴしたような話し方（決して聞き取りにくいわけではない）も、その表れ。

力まないため、手抜きのような発音になりやすい。<sup>Ⓜ</sup>[ɔə]、<sup>Ⓜ</sup>[aə]などの三重母音が長母音のようになる。<sup>Ⓜ</sup>royalは「ローオゥ」、<sup>Ⓜ</sup>inspiring、<sup>Ⓜ</sup>triumphは、「インスパーレンㇿ」、「チュアアーンフ」と聞こえる。

\* Received Pronunciation（容認発音）。イギリスの標準的発音。

Interview Data	
収録日	2010年11月8日
収録地	ニューヨーク（アメリカ）
スピード	普通
語彙	やや難しい
発音	かなり明瞭で上品

コリン・ファース

Colin Firth

1960年9月10日、イギリス・ハンブシャー州生まれ。BBCのTVドラマ『高慢と偏見』（'95）のMr.ダースー役で一躍有名に。主な出演作は『ブリジット・ジョーンズの日記』（2001）、『ラブ・アクチュアリー』（'03）、『真珠の耳飾りの少女』（'03）、『キングスマン』（'15）など。『シングルマン』（'09）でアカデミー賞主演男優賞にノミネートされ、『英国王のスピーチ』（'10）で同賞に輝いた。



**Reporter:** In *The King's Speech*, you play the role of Prince Albert — a person depicted as having problems with friendships and someone who was isolated from people in general. As a well-known actor, I wonder if you too suffer some of that isolation as a result of your fame.

**Colin Firth:** I th—you're, you're bang-on. I mean, it's funny to say about a story about a member of the royal family, when none of us are a member of the royal family or can possibly know what that's like. Um, most of us were not around in 1937, and, you know, most of us in this room. You know, there are all these things, you could say, “Oh, how can it possibly be universal?”

Um, but I think what it's done is to, it's taken issues that apply to absolutely everybody and it's used this convention to heighten those things. Isolation is universal. I mean, it doesn't matter how close you are to your family, er, how many good friends you have, how perfect your marriage is and — you know, most people are not ticking all those boxes — um, there's some level on which it's, you can't be reached. I mean, we can't get inside each other's minds and hearts and souls. You just can't do that, you try.

This is taking that reality, that truth and making a very extreme case out of it. Um, what you've done is, if communication's imperfect, let's show a man for whom it's traumatic. If men protect themselves behind certain reserves, against intimacy, then let's take a man who not only does that, he is, er, protected by high walls, um, er, titles, protocols, you know, and make the therapist work through all those things. You could almost look at them as sort of metaphors for barriers we all put up, you know.



**Reporter:** Could you speak a little about your approach to ⑩bringing this character to life, since it's based on a factual person?

**Firth:** Well, ⑩as I said, you can't know. If I were playing a cab driver, I'd probably wanna ⑩hang around with a cab driver, and maybe drive a cab, and just see what it's like. And, you know, if I was playing an astronaut, I'd try to meet one. Um, but you don't ⑩get to meet kings and hang around with them. And so you, everything has to be—your information is secondary. You might meet someone who knows that person.⑨As I said, you can look at what happens when people are around ⑨Prince Charles and think, “Wow, that's what the world looks like to ①you.” People, er, look like, you know, you never meet a person who's relaxed and ⑩gives you a pat on the back and says, “③What's up?” you know. It's, er, that's no, no one does that. So you try to accumulate that kind of information.

Um, there are a lot of letters. There are a lot of people who have been close to the royal family in ④one ⑤capacity or another, and we did speak to people in, in that position. And, you just, in the end you, you read and you listen and then you just use your imagination.



**Reporter:** Were you able to ⑥shed the ⑦stammer ⑧at the end of the day and speak ⑨a hundred per cent like yourself?

**Firth:** Well, no, I ①got a bit confused in my own ②speech patterns. Er, you know, that's, I mean, that's not ③somewhere, I think, I mean, I'm a little worried when I tell people this, like, it's not that . . . there's a bit of a ④cult of actors telling you how deeply ⑤immersed they were in their roles so much that it, you know, it ⑥cost them this or they—I mean, it's not just that, you've ⑦muscle memory. If you do an exercise often enough, you know, your body will train itself to do that exercise. You know, you, if you ⑧shoot enough baskets, you'll probably get one, you know. If you train yourself to ⑨interfere with your s—rhythm of speech, something in your brain remembers that and follows it. Now, if you're going around trying to ⑩promote ⑪Single Man at the time, it sometimes ⑫comes to ⑬haunt you, you know, and it did.

Um, that's not a stammer, it's just my mind ⑭playing tricks on me. You know, a real stammer apparently, and I really don't know to what extent anyone thinks they've ⑮got to the bottom of this, but I spoke to the head of ⑯the British Stammering Association a couple of weeks ago, and, er, as far as he's concerned, I mean, he told me that the research shows now that there's a strong ⑰neurological ⑱component. This is not a psychological problem. There's something happening in the brain that's physical.

And, er, I said, “Well, does that mean that ⑲Logue's ⑳on the wrong track trying to ㉑get to this through psych—a psychological process?” And he said, “Well, no, because the therapy helps you come to an ㉒accommodation with the problem.” You learn not to be ㉓crushed by it, not to be ㉔disabled by it. You can find a way forward.

There are wonderful, great actors who've fought stammering. ㉕James Earl Jones, and there are ㉖quite a few more. There, there are a great, there's a large number we could ㉗name. Um, and, and politicians. ㉘Churchill had speech difficulties, as he said. I mean, he's got really, really severe ones, as he said in, in the f—he mentions in the film. Um, not to mention writers, you know, ㉙Lewis Carroll, ㉚Somerset Maugham.

Um, if you've ㉛lost the use of your legs or you've lost your legs, you know, the people who, that give us the ㉜inspiring and ㉝heroic stories are the people who ㉞triumph over it, not by getting their legs back but by living their life in a way that, you know, ㉟makes a virtue of their, what they've got and that, that's why we get so ㊱moved by those stories.



**Reporter:** The therapy <sup>①</sup>session scenes are great. How did you go about filming them?

**Firth:** We took them at <sup>②</sup>long stretches. My first scene was the first scene with Logue and it was an amazing, kind of, <sup>③</sup>baptism of fire, really, because I'd, hadn't really tried it out. I mean, we'd had three <sup>④</sup>intense weeks of rehearsal where we were sitting there — <sup>⑤</sup>Geoffrey, <sup>⑥</sup>Tom Hooper, er, <sup>⑦</sup>David Seidler and myself — <sup>⑧</sup>honing that script. Really, really, really <sup>⑨</sup>challenging every <sup>⑩</sup>beat and seeing what could be got out of it to its <sup>⑪</sup>maximum and what, you know, or where the <sup>⑫</sup>humour was to be <sup>⑬</sup>highlighted and, w—you know.

But I couldn't sit in a, kind of, in my own clothes in a hotel room with a script in my hand really trying to go there. And, um, you know, and I, it's, that's, film doesn't really <sup>⑭</sup>allow for that kind of rehearsal in my experience. So, it wasn't until Tom put a camera on me in that room that I thought, you know, I felt, “I'm <sup>⑮</sup>on. <sup>⑯</sup>This is it now.”

And this is a very interesting thing he did; he just decided he was gonna <sup>⑰</sup>make a huge commitment. He didn't—you would normally, I think, probably start with a <sup>⑱</sup>master shot and, you know, you've <sup>⑲</sup>established everything and then we're gonna start to <sup>⑳</sup>refine things. He didn't; he started with a <sup>㉑</sup>mid-shot, uh, just a single of me, and played an entire 10-minute scene. And it's interesting, Tom will tell you. He said it, it's interesting, you, he <sup>㉒</sup>committed to his <sup>㉓</sup>cinematic style <sup>㉔</sup>then and there. Because he had <sup>㉕</sup>kept his options open up to that point. “Maybe it's gonna be that kind of film. Am I gonna do that? Am I definitely gonna do that?”



**Firth:** But at the end of that day, he thought, er, that's 10 per cent of the movie we just did. He said that at the end of that day. It's very rare you get a scene long enough to say, “We've just shot, we've still got 10 weeks to go and we just shot 10 per cent of this movie.” And then you can't break the convention then. You, can't suddenly do, you know, decide actually, “No, I'm gonna do soft focus and dark lighting,” and you know. That was it.

And in a way it was the same with me. I laid a character down, and it was wonderful to have that much of a run at it. It was like doing live theatre in a way. And to have Geoffrey Rush, and have his energy and his humour to bounce off gave me so much for nothing. I mean, I just think, um, basically what seemed to be an immense mountain to climb felt incredibly easy just because I was in the hands not only of a director like that but, er, I had an actor who just, basically, I felt, you know, energised me in every way I needed. So I just got it for nothing. I just, like falling off a log.

translation ▶

*Coordinated by Jordan Riefe  
Narrated by Emma Howard*



# 誰もが抱える孤独

 [DL](#)  [Track02](#)

記者：『英国王のスピーチ』で、あなたはアルバート王子の役を演じています―友人関係に問題を抱え、総じて人々から孤立していたと描写される人物です。有名俳優であるあなたも、名声の結果、そうした孤独を多少は感じていらっしゃるのでしょうか。

コリン・ファース：あなたのおっしゃるとおりです。つまり、王室の一員に関する物語についてお話しするのは奇妙なものです、自分たちの誰も王室の一員でもなければ、それがどういうものなのか、とうてい知りようもないのに。ほとんどの人は、1937年にはこの世に生まれていません、つまりこの部屋（記者会見室）にいるほとんどの人ということですが。こうしたすべてのことから、「この物語が、いったいどうやって万人の共感を得られるのか？」といえるでしょう。

ですが、思うにこの作品の成果は―この作品は誰にでも必ず当てはまる問題を取り上げていますが、この表現手法を用いたのは、こうした問題を強調するためなのです。孤独は万人に共通です。つまり、どれだけ家族と親密であろうと、いい友達を何人持っていようと、結婚生活がどれほど完璧であろうと関係なく―たいていの人はそうした状況すべてに当てはまるわけではありません―どこか（ほかの人が）たどり着けないレベルがあるのです。つまり、お互いの頭の中、心の中、魂の中にまでは入り込めないのです。それはどうしてもできません、努力はしますが。

この作品は、その現実、その真実を取り上げ、そこから非常に極端な事例を示します。何をしたかというと、コミュニケーションが不完全という話をするなら、それがトラウマになっている人物を見せよう、と。人が、親しみを寄せ付けないよう、一種のよそよそしさで自分を守るなら、では、それだけでなく、高い壁に、つまり地位と儀礼に守られている人物を取り上げよう、そして、療法士にこういったことすべてに取り組ませよう、と。こうしたことは、いわば、私たち誰もが築いてしまう防壁のメタファーと見ることもできます。

【原文】▶



## 二次情報を頼りに

 [DL](#)  [Track03](#)

記者：これは実在の人物をモデルとしていますが、この登場人物に血を通わせるためのアプローチについて、少し話していただけますか？

ファース：そうですね、さっきも言いましたが、知るすべがないのです。もし私がタクシー運転手の役を演じるなら、それがどんなものであるか確かめるために、恐らくタクシー運転手と行動を共にしたり、ことによると、タクシーを運転したりしようとするでしょう。あるいは、もし宇宙飛行士の役を演じるなら、宇宙飛行士に会おうとするでしょう。でも、王様に会って行動を共にすることはできません。ですから、すべてがどうしても――二次的な情報になってしまいます。その人物を知る人になら会えるかもしれません。さっきも言ったように、人々がチャールズ皇太子の近くに行くかどうかという状態になるかを見て、「そうか、皇太子にとって周りの世界はそんなふうに見えるんだな」と考えることはできます。人々の様子ですが、つまり、気軽に背中をポンとたたきながら「よう元気か？」と話し掛けるような人に会うことは決してないのです。そんなことは、誰もそんなことはしません。ですから、こうした情報を蓄積する努力をしています。

手紙はたくさんあります。さまざまな立場で王室と親しい人たちもたくさんいるので、そうした立場の人たちと実際に話をしました。そして最後は、（手紙を）読んだり（話を）聞いたりしたら、後は想像力を働かせるだけです。

【原文】▶



# 体が覚える

DL Track04

記者：（撮影の間は）一日が終わると、（役柄の話し方である）吃音から抜け出して、百パーセント自分らしく話すことができましたか？

ファース：いいえ、自分自身の話し方が少し混乱しました。まあ、つまり、このことには触れたくないのです。というのも、この話をすると少し心配なのですが、これは違うのです.....自分の演じる役にどれだけどっぷり入り込んだか、おかげでこんな支障が出た、などという話をする一部の熱心な俳優たちがいますが――つまり、（自分の場合）そういうことではなく、体が覚えるのです。ある運動を何度もすると、ほら、その運動ができるように体自体が訓練されますね。例えば、バスケットのシュート練習を十分にすると、きっと、シュートが決められるようになります。話し方のリズムを狂わす練習をしていると、脳のどこかがそれを覚えて、そのとおりにしてしまうのです。それで、そのころ『シングルマン』のプロモーションのために各地を回っていても、時折それに悩まされるようになるわけで、実際、そうになりました。

それは（本物の）吃音ではなく、私の心が私自身にちょっとした悪さをしているだけです。つまり、本物の吃音というのは、どうやら、といってもどこまで真相が解明されたことになっているのかはまったく知りませんが、私が2週間ほど前にイギリス吃音協会の会長から話を聞いたところ、その人の言うところでは、現在、脳科学的な要素が大きく絡んでいる、という研究結果が出ているとのこと。心理的な問題ではないのです。脳の中で物質的な何事かが起こっているのです。

そこで私は言いました、「では、心理学的なプロセスを通じてこれに取り組もうとしたローグは、間違っているということですか？」と。すると会長は言いました、「いえ、そんなことはありません、というのも、そのセラピーは、問題と折り合いを付けられるようになるのに役立ちますから」と。つまり、問題に押しつぶされたり、生活に支障をきたしたりしないよう、学ぶのです。前に進む方法は見つけれます。

吃音と闘った素晴らしい、偉大な俳優たちもいます。ジェームズ・アール・ジョーンズもそうですし、ほかにもかなりたくさんいます。何人でも名前を挙げるができます。それに政治家も。チャーチルは言語障害があったと本人が言っています。つまり、彼はとても重度の症状だったと言っていました――この映画の中で（登場人物としての）チャーチルが言っているのです。作家については言うまでもありませんね、ルイス・キャロルに、サマセット・モーム。

もしも足の機能が失われたり足自体が失われたりした場合、感動的な勇気ある物語を届けてくれる人たちというのは、足を取り戻すことではなく、与えられた状況を精いっぱい前向きに受け止めて生きていくことで、その状況に打ち勝つ人たちです。だからこそ私たちは、そういった物語に大きく感動するのです。

【原文】▶



# 決断の瞬間

 DL  Track05

記者：セラピー・セッションの場面は素晴らしいですね。どのように撮影に取り組んだのですか？

ファース：長回しで撮りました。私の最初のシーンは、ローグと初めて会うシーンだったのですが、あれはとてつもない試練の時でした。というのも、それまで実際に演じてみてはいなかったからです。つまり、3週間の密度の濃いリハーサルはあったのですが――そこでは、ジェフリー（・ラッシュ）とトム・フーパー（監督）と（脚本家の）デヴィッド・サイドラーと私が、座って、その部分の脚本の綿密な読み合わせをしていました。一つ一つの（せりふの）間について、実に（細かいところまで）問題にし、どうすれば脚本を最大限に生かせるか、あるいは、どこでユーモアを前面に出すか、といったことを確認していました。

でも私は、私服のままホテルの一室で脚本を手にも、その場面に入り込もうとしても、それはできませんでした。私の経験では、映画でこういった種類の（読み合わせに時間をかける）リハーサルができることなど、まずありませんからね。ですから、トムがその（シーンの）部屋で私にカメラを向けた時になって初めて、「よし行くぞ。いよいよだ」という気分になりました。

そして、彼は実に興味深いことをしました。彼は、大きな約束事をつくることを決めたのです。彼がしなかったのは――普通であれば恐らくマスターショットから撮り始めて、つまり、全体を説明し、その後で細部を練っていきます。彼はそうしませんでした。彼は、私1人のミドルショットから始めて、丸々10分の場면을撮影しました。これは興味深いことで、トムからも話が聞けるでしょう。彼も面白いことだと言っていましたが、彼は自分の映画撮影手法を、その時、その場になってから本格的に決定したのです。その時点まで、選択を保留にしておいたからです。「もしかしたら、これこれこういう映画になるかもしれない。こうするかな？　本当にこうするかな？」と。

【原文】▶



# いともたやすく

 DL  Track06

ファース：でも、その日の終わりに、彼は、映画の1割の撮影が済んだと判断しました。その日の終わりに、彼はそう言ったのです。「撮り終えたよ、撮影期間はまだ10週間残っているけれど、この映画の1割の撮影が済んだよ」と言えるほど、長い場面を撮影することなど、めったにありません。そして、こうなるとその後、（一度決めた）表現手法を覆すわけにはいきません。いきなり、「いや、ソフトフォーカスと暗めの照明を使うことにしよう」などと言い出すことは、実際できません。方針は決まったのです。

そして、ある意味で、私にとってもそれは同じでした。私も人物像を作り上げたわけで、あのシーンにあれほど長いひと続きの時間を充てることができたのは、素晴らしいことでした。ある意味で、劇場で生の芝居をするようでした。それに、ジェフリー・ラッシュと共演し、彼のエネルギーとユーモアを相手にできるのは、とても多くのものを何の苦もなく得る体験でした。つまり、思うのですが、いわば、登らなければならないとてつもなく高い山に見えたものが、あのような監督の手にわが身を委ねたことに加えて、あらゆる意味で私にとって必要なエネルギーを吹き込んでくれると思える俳優と共演したことで、信じられないほど簡単に（登れたと）感じられました。ですから、何の苦もなくそれができたのです。本当に、いともたやすく。

【原文】▶



## A

- allow for** ~ ~を考慮する
- apply to** ~ ~に適用される、~に当てはまる
- (as easy as) falling off a log** 丸太から転がり落ちるように簡単な、何の苦労もない

## B

- be around** 現役である、生きて活動している
- be immersed in** ~ ~にどっぷりと浸かる、~に入り込む
- be isolated from** ~ ~から孤立する

## C

- cinematic** 映画の
- commit to** ~ ~に本気で取り組む
- crush** 押しつぶす、打ちのめす

## D

- depict** 描写する、表現する
- disable** 無力にする、（心身に）障害を与える

## E

- energise** エネルギーを吹き込む、活力を与える ★〔米〕energize

## F

- fame** 有名であること、名声

## G

- get confused** 混乱する、困惑する

## H

- hang around with** ~ ~と行動を共にする
- heighten** 高める、強める
- heroic** 英雄的な、勇ましい
- highlight** 強調する、目立たせる
- humour** ユーモア、おかしみ ★〔米〕humor

## I

- immense** 巨大な、膨大な
- inspiring** 感動的な
- intense** 密度の濃い、熱心な
- interfere with** ~ ~を妨げる、~を損なう

## K

- keep one's option open** ~の態度の決定を保留にする

## M

- maximum** 最大限、最高値
- metaphor** メタファー、隠喩
- mind** 精神、頭脳 ★精神の理性的な部分を指す。**heart**は「心、気持ち」で、感情・情緒面を指し、**soul**は「魂、精神」で、心の奥深くの本質的な部分を指す。

## N

- name** 名前を挙げる

## O

- on the wrong track** 道を誤って

## P

- play a trick on** ~ ~に悪さをする
- possibly** とうてい、一体全体 ★canを含む否定文や疑問文を強調する。
- promote** 宣伝する、プロモーションをする



Q

□**quite a few** かなり多くの

R

□**refine** 洗練する、磨きをかける

□**reserve** 遠慮、よそよそしい態度

□**royal family** 王室、皇室

S

□**shed** 脱ぎ捨てる、取り除く

□**speech pattern** 話し方、言葉遣い

□**suffer** 苦しむ、（嫌なことを）経験する

T

□**theatre** 劇場、舞台演劇 ★〔米〕theater

□**title** （貴族などの）称号、高位

□**triumph over**～ ～に打ち勝つ

U

□**universal** 普遍的な

※〔米〕はアメリカ式つづり



# 理解度チェック

インタビューの内容に一致するものは○Yes、一致しないものは○Noを選びましょう。

※質問の難易度の表示は、A=やさしい・B=普通・C=難しい、を表します

目標正答数 初級レベル：3問以上 中級レベル：6問以上 上級レベル：8問以上

Questions		難易度	Yes	No
1	コリン・ファースは、孤独は誰もが経験することだと考えている。	A		
2	ファースは、もしタクシードライバーを演じるなら、タクシードライバーと行動を共にしたり、タクシーを運転したりしたいと言っている。	B		
3	ファースによると、チャールズ皇太子はある時、ファースの背中をボンとたたいた。	B		
4	ファースは国王の役作りにおいて、二次的な情報や王室の知人との会話に頼るだけでなく、自分の想像力も働かせた。	C		
5	吃音の演技が普段の話し方に影響することはまったくなかった、とファースは述べている。	A		
6	ファースは、吃音は心理的な問題であることを示す調査がある、と言っている。	A		
7	ファースは、吃音と闘った素晴らしい俳優や政治家、作家について言及している。	A		
8	ファースによると、セラピー・セッションには3週間におよぶりハーサルがあった。	A		
9	初日の撮影終了後、監督は、最初に採用したカメラの焦点の合わせ方や照明を変更した、とファースは語っている。	C		
10	ファースによると、ジェフリー・ラッシュにはエネルギーとユーモアがある。	B		

答え ▶



理解度チェック

インタビューの内容に一致するものは○Yes、一致しないものは○Noを選びましょう。

※質問の難易度の表示は、A=やさしい、B=普通、C=難しい、を表します

目標正答数 初級レベル：3問以上 中級レベル：6問以上 上級レベル：8問以上

Questions				難易度	Yes	No
1	コリン・ファースは、孤独は誰もが経験することだと考えている。			A		
2	ファースは、もしタクシードライバーを演じるなら、タクシードライバーと行動を共にしたり、タクシーを運転したりしたいと言っている。			B		
3	ファースによると、チャールズ皇太子はある時、ファースの背中をボンとたたいた。			B		
4	ファースは国王の役作りにおいて、二次的な情報や王室の知人との会話に頼るだけでなく、自分の想像力も働かせた。			C		
5	吃音の演技が普段の話し方に影響することはまったくなかった、とファースは述べている。			A		
6	ファースは、吃音は心理的な問題であることを示す調査がある、と言っている。			A		
7	ファースは、吃音と闘った素晴らしい俳優や政治家、作家について言及している。			A		
8	ファースによると、セラピー・セッションには3週間におよぶりハーサルがあった。			A		
9	初日の撮影終了後、監督は、最初に採用したカメラの焦点の合わせ方や照明を変更した、とファースは語っている。			C		
10	ファースによると、ジェフリー・ラッシュにはエネルギーとユーモアがある。			B		



## ① *The King's Speech*

『英国王のスピーチ』 ★（2010年）。イギリス映画。監督トム・フーパー。共演ジェフリー・ラッシュ、ヘレナ・ボナム＝カーター。子どものころから吃音に悩む英国王ジョージ6世が、スピーチ矯正の専門家ライオネルとの友情を通して吃音を克服していく様子を描いた作品。アカデミー賞を複数の部門で受賞。コリン・ファースは、孤独を抱えつつ、ライオネルの型破りな治療法に次第に心を開いていく王の役で主演男優賞を受賞した。

---

## ② Prince Albert

アルバート王子 ★（1895-1952）。後のイギリス国王ジョージ6世（在位'36-52）。現エリザベス女王の父。

---



## ①As I said

★編集の都合でカットした部分で、ファースはチャールズ皇太子に謁見<sup>えっけん</sup>した経験を語り、「皇太子の前では、皆、緊張して硬くなる。つまり、皇太子はそういう状態の人ばかりを目にしているのだろう」と述べている。

---

## ②Prince Charles

チャールズ皇太子 ★（1948-）。現エリザベス女王の長男。

---



## ①(A) *Single Man*

『シングルマン』 ★（2009）。ファッションデザイナーのトム・フォード初監督作品。ファースは長年のパートナーと死別し空虚感を抱える主人公を演じ、ヴェネチア国際映画祭の男優賞を受賞するなど高い評価を得た。

## ②the British Stammering Association

イギリス吃音協会 ★stammerが、ここでは動詞形で使われている。

## ①(Lionel George) Logue

ライオネル・ジョージ・ローグ ★（1880-1953）。オーストラリア出身の言語療法士。イギリスに移住し、アルバート王子の言語療法士となった。

## ②James Earl Jones

ジェームズ・アール・ジョーンズ ★（1931-）。「スター・ウォーズ」シリーズのダース・ベーダーの声で有名なアメリカの俳優。吃音を直すために演劇のレッスンを受けたことが、俳優になるきっかけだった。

## ③(Winston) Churchill

ウィンストン・チャーチル ★（1874-1965）。第2次世界大戦時に挙国一致内閣を率いたイギリス首相。

## ④Lewis Carroll

ルイス・キャロル ★（1832-98）。『不思議の国のアリス』で有名なイギリスの作家・数学者。

## ⑤Somerset Maugham

サマセット・モーム ★（1874-1965）。『月と六ペンス』で有名なイギリスの作家。



## ①Geoffrey (Rush)

ジェフリー・ラッシュ ★（1951- ）。言語療法士のローグを演じる、オーストラリア出身の俳優。代表作は、『シャイン』（'96）、『恋に落ちたシェイクスピア』（'97）、「パイレーツ・オブ・カリビアン」シリーズ（2003-'11）など。

## ②Tom Hooper

トム・フーパー ★（1972- ）。イギリス出身の映画監督。本作でアカデミー賞監督賞を受賞。

## ③David Seidler

デヴィッド・サイドラー ★本作の脚本家。本作でアカデミー賞脚本賞を受賞。



①depict

描写する、表現する

②be isolated from～

～から孤立する ★次のisolationは名詞形で、「孤立、孤独」の意。

③suffer

苦しむ、（嫌なことを）経験する

④fame

有名であること、名声

⑤bang-on

正確な、まったくそのとおりの

⑥royal family

王室、皇室

⑦possibly

とうてい、一体全体 ★canを含む否定文や疑問文を強調する。

⑧be around

現役である、生きて活動している

⑨all these things

★会にいる誰もが王室の一員でもなければ、この映画が描く時代に生きていたわけでもない、ということを指す。

⑩universal

普遍的な

⑪take an issue

★通常はtake issue with～で「～に異を唱える」という意味だが、ここでは単に「問題を取り上げる」という意味で使われている。

⑫apply to～

～に適用される、～に当てはまる

⑬convention

（映画などの）表現手法

⑭heighten

高める、強める

⑮tick a box

チェックボックスに印を付ける、当てはまる項目を選ぶ



## ⑩mind

精神、頭脳 ★精神の理性的な部分を指す。なお、heartは「心、気持ち」で、感情・情緒面を指し、soulは「魂、精神」で、心の奥深くの本質的な部分を指す。

## ①make a case

論証する、（証拠を挙げながら）説明する

## ②traumatic

トラウマの、心的外傷となる、精神的な痛手を与える

## ③reserve

遠慮、よそよそしい態度

## ④intimacy

親密さ、親交

## ⑤title

（貴族などの）称号、高位

## ⑥protocol

儀礼、慣習

## ⑦the therapist

★ここでは言語療法士のローグを指す。

## ⑧metaphor

メタファー、隠喩

## ⑨put up ~

～を建てる、～を築く



## ⑩bring ~ to life

～に命を吹き込む

---

## ⑪as I said

★「Isolation」前半のファースの発言を指す。

---

## ⑫hang around with ~

～と行動を共にする

---

## ⑬get to do

～することができる

---

## ①you

★チャールズ皇太子を指す。すぐ下のyou never、gives youのyouも同様。

---

## ②give ~ a pat on the back

（親しみや激励などの気持ちを込めて）～の背中をポンとたたく

---

## ③What's up?

調子はどうだ、元気か ★くだけた挨拶の表現。

---

## ④one ~ or another

あれやこれやの～、何かしらの～

---

## ⑤capacity

地位、立場

---



## ⑥shed

脱ぎ捨てる、取り除く

## ⑦stammer

吃音、どもり ★動詞形も同じ。

## ⑧at the end of the day

その日の終わりに、最後には

## ⑨a hundred per cent

百パーセント、完全に ★アメリカ式つづりはpercent。

## ①get confused

混乱する、困惑する

## ②speech pattern

話し方、言葉遣い

## ③somewhere

どこか ★ここでは、something I want to discuss（話題にしたいこと）といった意味。

## ④cult

凝った志向を追及する（少数派の）集団

## ⑤be immersed in ~

～にどっぷりと浸かる、～に入り込む

## ⑥cost A B

代償としてAにBを失わせる、AにBという犠牲を払わせる

## ⑦muscle memory

筋肉の記憶 ★繰り返し同じ運動をしているうちにその運動が身に付いていくこと。motor learning（運動学習）とも呼ばれる。

## ⑧shoot a basket

（バスケットボールで）シュートする

## ⑨interfere with ~

～を妨げる、～を損なう

## ⑩promote

宣伝する、プロモーションをする

## ⑪come to do

～するようになる

## ⑫haunt

付きまとう、悩ませる



**⑬ play a trick on ~**

～に悪さをする

**⑭ get to the bottom of ~**

～の本質を突き止める

**⑮ neurological**

(脳) 神経学の

**⑯ component**

要素、要因

**① on the wrong track**

道を誤って

**② get to ~**

～に取り組む ★thisは吃音の治療を指す。

**③ accommodation**

適応、折り合い

**④ crush**

押しつぶす、打ちのめす

**⑤ disable**

無力にする、(心身に) 障害を与える

**⑥ quite a few**

かなり多くの

**⑦ name**

名前を挙げる

**⑧ lose the use of ~**

～の機能を失う

**⑨ inspiring**

感動的な

**⑩ heroic**

英雄的な、勇ましい

**⑪ triumph over ~**

～に打ち勝つ

**⑫ make a virtue of ~**

～から利点・効力を引き出す







## ①session

（2人以上で特定の活動を行うための）時間、期間

## ②long stretches

長時間 ★ここでは、カットせずに長い間カメラを回し続ける方法を指す。stretchは「ひと続きの期間」の意。

## ③baptism of fire

厳しい試練、（新兵の受ける）砲火の洗礼

## ④intense

密度の濃い、熱心な

## ⑤hone

研ぎ澄ます、磨きをかける

## ⑥challenge

異議を唱える、問題にする

## ⑦beat

（せりふの）間、呼吸

## ⑧maximum

最大限、最高値

## ⑨humour

ユーモア、おかしみ ★アメリカ式つづりはhumor。

## ⑩highlight

強調する、目立たせる

## ⑪allow for ~

~を考慮する

## ⑫on

出番になって、従事して

## ⑬This is it.

これがそうだ、いよいよだ

## ①make a commitment

誓いを立てる

## ②master shot

マスターショット ★登場人物の位置関係や動き全体を捉える、シーンの基本となる位置・角度からの撮影。原則的に、登場人物全員の全身が映るロングショットとなる。

## ③establish

（人物・場面を）導入する ★前項のmaster shotはestablishing shotと呼ばれることもある。



#### ④ refine

洗練する、磨きをかける

#### ⑤ mid-shot

ミドルショット ★人物の腰から上が画面に入る程度の距離からの撮影。

#### ⑥ commit to ~

～に本気で取り組む

#### ⑦ cinematic

映画の

#### ⑧ then and there

その時その場で

#### ⑨ keep one's option open

～の態度の決定を保留にする



## ⑩ soft focus

ソフトフォーカス ★わざと少しピントを外して、ぼやけた柔らかい画像効果を出すこと。

## ⑪ lighting

照明

## ⑫ That was it.

そこまでだ、それで決まりだ

## ① lay ~ down

～（方針など）を策定する、～（計画など）を練る

## ② run

ひと続き、連続

## ③ theatre

劇場、舞台演劇 ★アメリカ式つづりはtheater。

## ④ bounce off ~

～を（相手の反応を見るために）ぶつける、～を跳ね返す

## ⑤ for nothing

何もせずとも

## ⑥ immense

巨大な、膨大な

## ⑦ in the hands of ~

～の手中にあって、～に委ねて

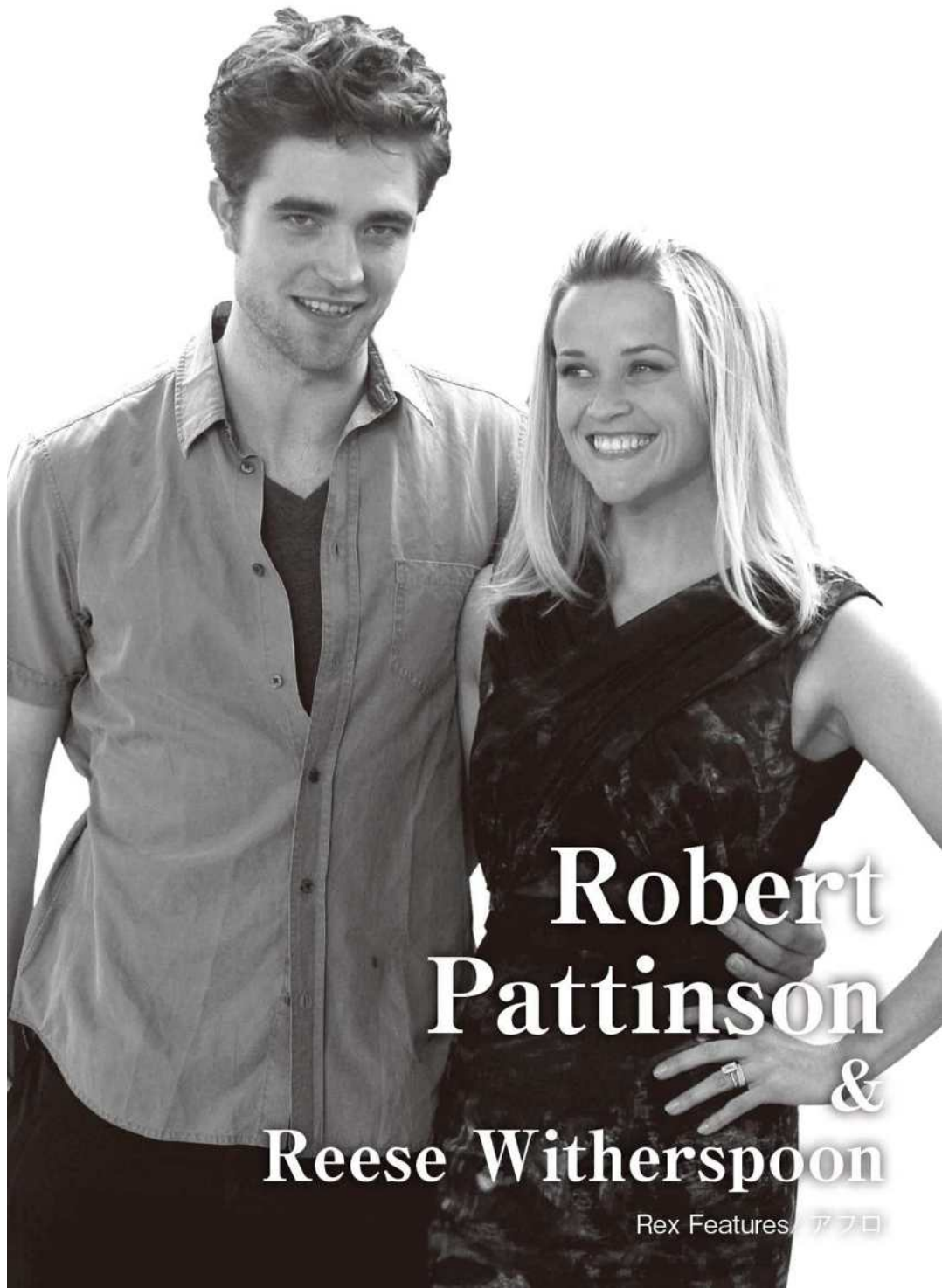
## ⑧ energise

エネルギーを吹き込む、活力を与える ★アメリカ式つづりはenergize。

## ⑨ (as easy as) falling off a log

丸太から転がり落ちるように簡単な、何の苦労もない





Robert  
Pattinson  
&  
Reese Witherspoon

Rex Features / アフロ







Robert Pattinson & Reese Witherspoon

“I can do any accent in the world, . . . literally any technical skill, I can do it.”

「世界中のどんな訛りも話せるし……文字どおり、どんな専門的なことも僕はこなせるんだ」

Supervising Editor's Comment

アメリカ人の英語は単純明快な表現が多く、イギリス人は、表現を一ひねりすることが多い。このインタビューでは、アメリカ人のリース・ウィザースプーンとのそうした対比が随所に現れる。

特に、話し始めでその傾向が顕著だ。例えば、I think I've just always had a bit of an affinity for that era.はその典型。かなりわかりにくい。一方、ウィザースプーンは、I like the structure of the book.とか、I was very excited to work with Fancis.と、明快だ。

Interview Data	
収録日	2011年4月3日
収録地	ロサンゼルス（アメリカ）
スピード	やや速い
語彙	普通
発音	聞き取りにくい

ロバート・パティンソン／リース・ウィザースプーン  
Robert Pattinson / Reese Witherspoon

ロバート・パティンソン  
1986年5月13日、イギリス、ロンドン生まれ。2004年にTV映画『ニーベルングの指環』でデビュー。『ハリー・ポッターと炎のゴブレット』（'05）のセドリック役で注目され、ベストセラー小説を映画化した「トワイライト」シリーズで、ヒロインと恋に落ちる美青年吸血鬼エドワードを演じ、一躍有名になった。最新作は『ディーン、君がいた瞬間』（'15）。

リース・ウィザースプーン  
1976年3月22日、アメリカ、ルイジアナ生まれ。1991年に映画デビューし、『キューティ・ブロンド』（2001）などに主演、コメディセンスと演技力で高い評価を得る。『ウォーク・ザ・ライン／君につづく道』（'05）でアカデミー賞主演女優賞を受賞。



**Reporter:** What did you like about the book •*Water for Elephants*, that made you think it would be a good movie to ①be involved in?

**Robert Pattinson:** Um, ha, I think I've just always had a bit of an ②affinity for that ③era. And I, kind of, I always wanted to ④do a movie around that time. Um, and I think it was just very ⑤solid, how she created the world there. So, I think I was just, I just wanted to, kind of, ⑥be a part of it.

**Reporter:** Was it the same for you, Reese?

**Reese Witherspoon:** Er, well, I like the structure of the book. I like how it, sort of, was ⑦bookended with this man's rem—well, sort of, ⑧all through the, the book, this man's ⑨remembrance of his life and his life experiences. And I think, er, that's one of my favourite parts of the movie, too, •Hal Holbrook's part of the movie, where he's kind of, um, ⑩reminiscing, and I thought that was great.

**Reporter:** Speaking of the movie, Reese, I wonder if you could tell us what it was like working with the director, •Francis Lawrence.

**Witherspoon:** Er, well, I was very excited to work with Francis. I was a big fan of •*I Am Legend*. And, um, I, er, I just thought he brought a lot of ①humanity to that, that film and, ha-ha. Um, and, er, I, y'know, we had a lot of, um, conversations about, you know, research that he had done. He was a very ②extensive . . . And also, I think it's a big ③undertaking, taking a very popular novel and having to, I mean, film is a very ④visual ⑤medium and having to tell a story with, um, you know, scenes that have no words, you know, and, um, I think he did an ⑥incredible job of that. Some of my favourite scenes in the f—film are, er, ones where we don't speak at all. We're just sort of seeing each other ⑦from a distance and, er, I think he told the story beautifully in that ⑧capacity and really chose those moments well.

**Reporter:** •Rob, in the movie, your character ⑨occasionally tells lies to get what he wants. Is that something you ever do in real life?

**Pattinson:** Oh yeah, ⑩all the time. I have, like, I don't know if there's the same thing in England, I mean in America, but there's a thing called the •spotlight form in England where you have all these things, like, your talents and your accents and everything, and you just ⑪tick these boxes saying, like, what ⑫you're capable of as an actor. I just tick everything. I can do any accent in the world, I can do . . . ⑬literally any ⑭technical skill, I can do it. Like, anything. And it's been, it's still like that, I think. Like, yeah, I can do, er, ⑮Lithuanian accents ⑯fluently, ha-ha.

**Reporter:** Rob, can you remember when you decided that you wanted to become an actor?

**Pattinson:** Um, ha, I don't know, I mean, I guess I had an experience when, when I was, I did •a Harry Potter film years ago and it was just when I was just starting to kind of realize that I wanted to be an actor, even though I'd already finished three movies by that point. Um, but, er, I remember being in Tokyo and ⑰looking out the window and kind of had the, sort of, Tokyo ⑱skyline made, er, I just, sort of, realized that I could ⑲reflect on what had happened in my life and, er, I was kind of, er, ⑳in awe of what ㉑road I'd taken, kind of, ㉒by accident.



**Reporter:** ⑨Maybe you ticked the box saying you could work with elephants! But was it ⑨scary to work with such ⑨huge animals? Were you able to enjoy working with them?

**Pattinson:** I don't think I was scared at all. I kind of, er, I like, there was only one moment, I think, when, we were, when we first saw the whole ①pack of eleph—the ②herd together. And Gary, ⑩Tai's ③trainer, said, “Sit!” like, literally as if you were talking to a dog. And it, and it sat down, like, in exactly the same way a dog would. And just seeing, like, I mean, it, it's totally ④incomprehensible when you see it. And I, kind of, I ⑤basically decided to do the movie at that point. I hadn't read the ⑥script or anything but, like, um, yeah, there was, er, it was very powerful just thinking that you can have a relationship with these huge ⑦beasts.

**Reporter:** How about you, Reese? Do you like animals, too?

**Witherspoon:** I like animals, yeah, but this was, you know, a ⑧completely ⑨unique experience.

**Reporter:** Rob, when you're working with an elephant, I suppose it must be important to ⑩form a good relationship with it. Did you ⑩manage that?

**Pattinson:** I think I had a relationship with the elephant that was kind of based ⑩purely on candy. I ⑩strategically ④placed ⑤mints. Like, um, like, you know, you, like, ⑩suck a ①peppermint for a bit and then ⑩stick it onto your body. Like, it had in my ⑩armpits, like, covering my ⑩entire ⑩chest all the time and then not tell anyone. So ①every single time the elephant would be ②constantly ③sniffing me, I'd be like, “I don't know. ④He just, she just really likes me! It's ⑤crazy!” Like, um, but, er, yeah, it was kind of an, I think she was just sniffing around for, er, for ⑥treats.

**Reporter:** I imagine there must've been a lot of elephant ⑦dung around too.

**Pattinson:** Um, ⑩working with ⑩poop is, er, I don't mind that at all. I have, like, a ⑩natural ⑩propensity to work with, er, yeah, to work on big ②piles of poop. Er, ha-ha, er, ⑩I'm very familiar with it. Um, no, it's, yeah, I don't know why I wasn't ⑩grossed out by it at all. There's something about, like, because the environment was so, um, everything ⑩felt so ⑩authentic all the time, I kind of, you kind of just accept it as a, as a, ha-ha, as just part of the world. There was no, there, there was, like, ⑩the scene where we were in that ⑩train car with, like, 10 million flies, I, on any other movie I think I would be like, “Ahh! One ⑩take!” Like, and I was just, like, perfectly happy to just, like, made a little ⑩mound, and sat down and ate my lunch.



**Reporter:** The film is <sup>①</sup>set in the 1930s. So what things were important in <sup>②</sup>helping you forget the modern world, to <sup>③</sup>put yourself back in <sup>④</sup>the first half of the 20th century?

**Pattinson:** There was a, kind of, <sup>⑤</sup>comprehensive creation of the world. I mean, it was, I've never worked on anything that — where the train, there was an <sup>⑥</sup>embankment with the train <sup>⑦</sup>track on the top, and all the <sup>⑧</sup>trailers were on one side, and then there was the circus world on the other. And you, kind of, once you walked over the tracks it was, I mean, there'd be a, a camera, <sup>⑨</sup>pretty much, that was the only thing from the 21st century. And, er, I mean, literally you could stand on the tracks and look, and <sup>⑩</sup>look over everything. And, you're, you're in the 30s, the, you're <sup>⑪</sup>out in the middle of the <sup>⑫</sup>desert in <sup>⑬</sup>Fillmore and there's nothing else around. There was a, an <sup>⑭</sup>orchard, like, like, I mean, you're in the 30s.

And <sup>⑮</sup>Jack Fisk, the <sup>⑯</sup>production designer, he, er, I mean, he was using, like, authentic <sup>⑰</sup>pegs and stuff to, to, like, I mean, like, <sup>⑱</sup>every single thing, like, to the, the ropes, everything which built the world, it was all totally real. Authentic <sup>⑲</sup>period <sup>⑳</sup>underpants do actually help <sup>㉑</sup>as well. I'd actually, wore them every single day. Almost everything was real, I mean, the, every <sup>㉒</sup>pair of jeans, everything like that, I mean, it was all from the 20s and 30s. It's crazy.

translation ▶

*Coordinated by Jordan Riefe  
Narrated by Deidre Merrell Ikeda*



# 小説を映画化

 [Track08](#)

記者：小説の『サーカス象に水を』のどのような点が気に入って、映画出演してみたいと思われたのでしょうか？

ロバート・パティンソン：思うに、僕は前々から、あの時代にちょっとした愛着を感じていたようです。つまり、あのころを舞台とした映画に出てみたいと常々望んでいたところがあるんです。それに、あの小説で、彼女（著者）が作り上げた世界は、実にしっかりとしたものだったと思います。ですから僕は、ぜひとも、自分も、いわばその世界の一員になりたかったんだと思います。

記者：あなたも同様でしたか、リースさん？

リース・ウィザースプーン：そうですね、私はこの小説の構成が好きです。気に入っているのは、最初と最後の部分で挟むような構成になっていて、この主人公の、その、つまり、本全体が、この主人公の生涯と体験したことの回想なのです。ですから、映画でもそこが私の好きな部分なんです。映画で（老いた主人公を演じる）ハル・ホルブルックの出演する部分なのですが、そこで彼は思い出を語っていて、それがすてきだと思いました。

記者：映画といえば、リースさん、フランシス・ローレンス監督と一緒に仕事をするのは、どんな感じだったか、お話しいただけますか。

ウィザースプーン：そうですね、フランシスと一緒に仕事をするのは、とてもワクワクしました。私は『アイ・アム・レジェンド』の大ファンでしたから。彼は、あの作品を人間味溢れるものにしたあふと思いましたし、ハハハ。それと、彼が行ったリサーチについて、いろいろと話し合ったんです。彼は本当に幅広く――それと同時に、これは大変な仕事だと思います、ベストセラー小説を原作として、つまり、映画というのはとても視覚的な表現方法で、せりふのない場面でもストーリーを伝えていかなくてはいけませんよね。そういった点で、彼は素晴らしい仕事をしたと思います。この映画で私の好きなシーンの中に、私たちがまったく言葉を交わさない場面があります。私たちは少し離れて見詰め合っているだけなのですが、監督はそこから引き出せる最大限の美しさで、ストーリーを伝えましたし、あの一瞬一瞬をととてもうまく選んでいたと思います。

記者：ロブさん、この映画の中であなたの演じる人物は、欲しいものを手に入れるために、時折、うそをつきます。実生活でのあなたも、そうしたことがありますか？

パティンソン：ええ、しますよ、しょっちゅうです。例えば、僕は、まあ、イングランドに、じゃなくて、アメリカに同じものがあるかどうか知りませんが、イングランドにはスポットライト・フォームと呼ばれるものがあって、そこには特技とか話せる訛りなど、さまざまな項目があるんです。俳優としてこれができます、という項目にチェックを入れればいいんです。僕はとにかく全部にチェックを入れるんですよ。世界中のどんな訛りでも話せるし、できるんです.....文字どおり、どんな専門的なことも僕はこなせる、というわけです。何でもね。そんなわけですと、今でもそのままになっていると思いますよ。まあ、そう、僕はリトアニアの訛りだつて

りゅうちょう  
流 暢 にできることになってます、ハハハ。

記者：ロブさん、俳優になる志を固めたのはいつだったか覚えていますか？

パティンソン：うーん、いつだったかなあ。でもまあ、たぶん、思うに、何年か前に「ハリー・ポッター」の映画に出演した経験があつて、ちょうどあのころ俳優になりたいと自覚するようになりましたね、といつても、あの時点で、僕はすでに3本の映画の撮影を終えていたのですが。でも、覚えているんです、（プロモーションのため訪れた）東京にいて、窓の外を眺めていて、何となく、東京の空に浮かんだ景色のせいか、ふと気が付くと、それまでの自分の身に起こったことを振り返って考えることができたんです。そして、何かのめぐり合わせで自分が歩んできた道程に、何だか驚いてしまいました。

【原文】▶



# 象との共演

DL Track09

記者：たぶん（前述のスポットライト・フォームで）「象と共演できる」という項目にもチェックを入れたんですね！ それにしても、あんなに巨大な動物と共演するのは怖かったですか？ 共演を楽しめましたか？

パティンソン：ちつとも怖くなんかありませんでしたよ。多少は、まあ、一度だけ怖いと思ったのは、確か、初めて象の群れ全体を――群れをまとめて見た時ですね。それで、（象の）タイの調教師のゲイリーが、「お座り！」と言ったんです。まるで、まさに犬に命令するような感じで。すると象も、まるで、犬とまったく同じようにお座りをしました。それは、見ているだけで、つまり、それを目の当たりにしたのですが、本当に不思議な光景でした。で、僕はある意味で、ほぼその時点で、この映画に出演しようと心を決めました。脚本も何も読んでいなかったけれど、そう、こんな巨大な動物と交流できると考えただけでも、とても魅力的でした。

記者：あなたはいかがです、リースさん？ あなたも動物はお好きですか？

ウィザースプーン：動物は好きです、ええ、でもこれはもう、ね、まったくほかでは味わえない経験ですから。

記者：ロブさん、象と共演するに当たって、象といい関係を築くことが重要だと思いますが。うまくいきましたか？

パティンソン：僕が象と築いた関係は、純粋にキャンディーによるものだったと思います。僕は計算してミントのお菓子を置いたのです。例えば、ほら、ペパーミントキャンディーを口に少し含んで（湿らせて）から、体に貼り付けるのです。例えば、脇の下に入れて胸全体にずっと香りが漂うようにしておいて、そのことは誰にも言わないんです。そうすると、毎回、象が常に僕に鼻を寄せてくるのですが、僕は「さあねえ。この子は僕のことをすごく好きただけだよ！ 最高だね！」という感じで。でも、それはまあ、そうです、象はご褒美を探して嗅ぎ回っていただけた、と思います。

記者：周りには象のふんもたくさんあったことと想像しますが。

パティンソン：ウンチに囲まれていることは、それは全然気になりませんよ。僕は、そうですね、生まれつき、どっさり積み上げられたウンチに囲まれていても平気な、ええ、ウンチを扱うことができる性分なんです。ハハハ、本当に慣れたものですよ。いや、それは、そうですね、自分でも、どうしてあれで全然気分が悪くならなかったのか、わかりません。そこには何かがあって、まあ、あの環境がとても、その、何もかもが常に本物のように感じられたので、何となく、ハハハ、あの世界のほんの一部としてあっさり受け入れてしまうんです。列車の車両の中にいるシーンがあって、ハエが1000万匹くらいいたのですが、ほかの映画だったら、僕は「ギャー！撮影は1回だけ！」という感じになるでしょう。ところが僕はもうすっかり上機嫌で、（ふんで）ちょっとした小山を作って、そこに座って、ランチまで食べましたよ。

【原文】▶



# 本物を再現

 DL  Track10

記者：この映画は1930年代を舞台としています。そこで、現代の世界から頭を切り離し、時代をさかのぼって20世紀の前半に入り込む手助けとして、重要だったものは何ですか？

パティンソン：何というか、あの世界の完全な再現だったのです。つまりあれは、僕が今まで経験したことのない仕事でした。列車が――上に電車の線路が敷かれた土手があり、土手の一方には撮影隊のトレーラーが並び、そして反対側にサーカスの世界が広がっていました。そして、いってみれば、その線路をいったん踏み越えたら、つまり、カメラが1台ありましたが、21世紀のものはほぼそれだけでした。それで、つまり、文字どおり、線路に立てばすべてが見渡せるんです。それでもう30年代にいるのです。フィルモアの砂漠の真ただ中にいて、周囲にはほかに何もありません。果樹園がぼつんとあつて、まるで、つまり、30年代にいるのです。

それと、美術監督のジャック・フィスクが、彼が、つまり、（当時の）本物を使っていたのです。ペグから何から、つまり何もかもです、ロープに至るまで、あの世界を構築するものすべてが、全部紛れもない本物でした。あの時代の本物の下着も実によく役に立ちましたよ。実際、毎日欠かさずはいていました。ほとんどすべてのものが本物でした。つまり、どのジーンズ1枚をとっても、つまり、そうしたもののすべてが、どれも20年代や30年代のものでした。とてつもないことですよ。

【原文】▶



## A

- all through** ~ ~を通してずっと
- (a) pile of** ~ 山のような～、大量の～
- authentic** 本物の、真正の

## B

- basically** 基本的に、要するに、実は
- be a part of** ~ ~の一員になる、～に参加する
- be capable of** ~ ~の能力がある、～ができる
- be involved in** ~ ~に関与する、～に参加する
- beast** 獣、動物
- by accident** 偶然に

## C

- capacity** 能力、限度、（潜在的）可能性
- chest** 胸
- completely** 完全に、まったく
- comprehensive** 包括的な、総合的な
- constantly** 常に、絶えず
- crazy** 常軌を逸した、すごい、素晴らしい

## E

- entire** 全体の
- era** 時代
- every single** すべての
- every single time** ... 毎回.....するたびに
- extensive** 広範囲の、多岐にわたる

## F

- fluently** 流暢に、滑らかに

## H

- help A do** Aが～するのを助ける
- herd** （大型の動物や家畜などの）群れ
- humanity** 人間性、人間愛

## I

- in awe of** ~ ~を恐れて
- incomprehensible** 理解できない、不可思議な
- incredible** 信じられない、信じられないほど素晴らしい

## L

- literally** 文字どおり、まさしく
- look over** ~ ~を見渡す

## M

- manage** 何とかやり遂げる
- medium** 伝達手段、媒体 ★複数形はmedia

## O

- occasionally** 時折、たまに
- orchard** 果樹園

## P

- period** 年代物の、時代がかった、その（昔の）時代の
- place** 置く、配置する
- pretty much** ほとんど、ほぼ
- put oneself in** ~ 自らを～（環境、立場）に置く

## R



- reflect on ~** ~を思案する、～を省みる
- remembrance** 思い出、回想
- reminisce** 思い出を語る、回想をつづる

S

---

- scary** （物事が）恐ろしい、怖い
- script** 脚本、台本
- sniff** 匂いを嗅ぐ
- solid** 中身のある、内容のしっかりした
- strategically** 戦略的に、計略的に
- suck** 吸う、口に含む

T

---

- tick a box** チェックボックスに印を付ける、当てはまる項目にチェックを付ける
- the first half of ~** ~の前半
- train car** 列車の車両
- treat** ご褒美、ごちそう

U

---

- underpants** （下着の）パンツ



# 理解度チェック

インタビューの内容に一致するものは○Yes、一致しないものは○Noを選びましょう。

※質問の難易度の表示は、A=やさしい、B=普通、C=難しい、を表します

目標正答数 初級レベル：3問以上 中級レベル：6問以上 上級レベル：8問以上

Questions		難易度	Yes	No
1	ロバート・パティンソンは、小説『サーカス象に水を』の舞台となっている時代に興味を持っていた。	B		
2	リース・ウィザースプーンは、その小説（『サーカス象に水を』）の構成が好きだと言っている。	A		
3	ウィザースプーンは、せりふのない場面を演じるのは苦手だと述べている。	B		
4	パティンソンは世界中の訛りのある英語を話すことができる。	C		
5	パティンソンは、「ハリー・ポッター」など幾つかの映画への出演を経て、俳優になる志を自覚するようになっていった。	B		
6	パティンソンは、象がまるで犬のように調教師の命令どおり「お座り」するのを見て不思議な感じがした。	A		
7	パティンソンは、象が彼に鼻を寄せてきたのは、お互いに心が通じていたからだ、と自慢げに語っている。	A		
8	パティンソンは、象のふんの周りで働くことで、気分が悪くはならなかった、と語っている。	B		
9	パティンソンによると、1930年代が再現された撮影現場では、21世紀のものはほとんどカメラだけだった。	C		
10	美術監督が1920～30年代の本物にこだわって使用したことを、パティンソンはあまり評価していない。	B		

答え ▶



# 理解度チェック

インタビューの内容に一致するものは○Yes、一致しないものは○Noを選びましょう。

※質問の難易度の表示は、A=やさしい、B=普通、C=難しい、を表します

目標正答数 初級レベル：3問以上 中級レベル：6問以上 上級レベル：8問以上

Questions		難易度	Yes	No
1	ロバート・パティンソンは、小説『サーカス象に水を』の舞台となっている時代に興味を持っていた。	B		
2	リース・ウィザースプーンは、その小説（『サーカス象に水を』）の構成が好きだと言っている。	A		
3	ウィザースプーンは、せりふのない場面を演じるのは苦手だと述べている。	B		
4	パティンソンは世界中の訛りのある英語を話すことができる。	C		
5	パティンソンは、「ハリー・ポッター」など幾つかの映画への出演を経て、俳優になる志を自覚するようになっていった。	B		
6	パティンソンは、象がまるで犬のように調教師の命令どおり「お座り」するのを見て不思議な感じがした。	A		
7	パティンソンは、象が彼に鼻を寄せてきたのは、お互いに心が通じていたからだ、と自慢げに語っている。	A		
8	パティンソンは、象のふんの周りで働くことで、気分が悪くはならなかった、と語っている。	B		
9	パティンソンによると、1930年代が再現された撮影現場では、21世紀のものはほとんどカメラだけだった。	C		
10	美術監督が1920～30年代の本物にこだわって使用したことを、パティンソンはあまり評価していない。	B		



## ① *Water for Elephants*

『サーカス象に水を』 ★サラ・グルーエン著。老境の主人公が、移動サーカスの団員として暮らした、若き日を回想する物語。世界恐慌下のアメリカ、若き日の主人公は、両親の事故死により大学の獣医学部を中退、象の世話係としてサーカス団に雇われ、そこで団長の妻と恋に落ちる。2011年に映画化され、邦題は『恋人たちのパレード』。パティンソンが若き日の主人公を、ウィザースプーンが団長の妻を演じた。

## ② Hal Holbrook

ハル・ホルブルック ★(1925-)。アメリカの俳優。『大統領の陰謀』('76)、『イントゥ・ザ・ワイルド』(2007)、『リンカーン』('12)など出演作多数。本作では、年老いた主人公を演じた。

## ③ Francis Lawrence

フランシス・ローレンス ★(1971-)。オーストリア生まれの映像作家。ミュージックビデオを数多く手掛けた後、『コンスタンティン』(2005)で映画監督デビューを果たした。

## ① *I Am Legend*

『アイ・アム・レジェンド』 ★(2007)。アメリカ映画。人類のほとんどが死滅した世界で、ほかの生存者を探し続ける男の姿を描いた、ローレンス監督のSF作品。主演はウィル・スミス。

## ② Rob

★Robertの愛称。

## ③ spotlight form

登録用フォーム、自己紹介用アンケート ★ここでは、俳優が自己PRのために、特技などを記入する書類のことを指す。

## ① a Harry Potter film

★「ハリー・ポッター」シリーズ第4作の『ハリー・ポッターと炎のゴブレット』(2005)を指す。パティンソンは主人公ハリーの上級生で、恋のライバルとなるセドリック役を演じた。本作のプロモーションの際、来日している。



## ① Tai

★本作に出演した象の名前。

---

## ① the scene

★車両の中でハエと悪臭に耐えながら象のふんを処理するシーンを指している。

---



## ① Fillmore

フィルモア ★本作のロケ地となった、ロサンゼルス近郊の小さな町。

---

## ② Jack Fisk

ジャック・フィスク ★（1945- ）。『天国の日々』（'78）、『シン・レッド・ライン』（'98）などの美術を担当し、『ゼア・ウィル・ビー・ブラッド』（2007）ではLA批評家協会賞美術賞を受賞している。

---



① **be involved in ~**

～に関与する、～に参加する

② **affinity**

好み、親近感

③ **era**

時代 ★that eraは、映画の舞台となった1930年代を指している。

④ **do a movie**

映画に出演する、映画を制作する

⑤ **solid**

中身のある、内容のしっかりした

⑥ **be a part of ~**

～の一員になる、～に参加する

⑦ **bookend**

両脇から挟む ★ここでは、映画の最初と最後に年老いた主人公が登場し、その間が主人公の若き日の回想で構成されていることを言っている。

⑧ **all through ~**

～を通してずっと

⑨ **remembrance**

思い出、回想

⑩ **reminisce**

思い出を語る、回想をつづる

① **humanity**

人間性、人間愛

② **extensive**

広範囲の、多岐にわたる

③ **undertaking**

事業、仕事、責務

④ **visual**

視覚的な

⑤ **medium**

伝達手段、媒体 ★複数形はmedia。



## ⑥ incredible

信じられない、信じられないほど素晴らしい

## ⑦ from a distance

遠くから、離れて

## ⑧ capacity

能力、限度、（潜在的）可能性

## ⑨ occasionally

時折、たまに

## ⑩ all the time

始終、いつも

## ⑪ tick a box

チェックボックスに印を付ける、当てはまる項目にチェックを付ける

## ⑫ be capable of ~

～の能力がある、～ができる

## ⑬ literally

文字どおり、まさしく

## ⑭ technical

専門的な

## ① Lithuanian

リトアニアの ★リトアニアは、ヨーロッパ北東部、バルト海東岸にある共和国。首都はヴィリニウス。

## ② fluently

流暢に、滑らかに

## ③ look out ~

（中から）～を眺める

## ④ skyline

地平線、空を背景にした山や建物の輪郭

## ⑤ reflect on ~

～を思索する、～を省みる

## ⑥ in awe of ~

～を恐れて

## ⑦ take a road

道を進む



⑧ **by accident**

偶然に

---



⑨ **Maybe you ticked . . .**

★スポットライト・フォームにこうした項目があったとしたら、同じようにチェックを入れていただろう、と冗談めかして言っている。

⑩ **scary**

（物事が）恐ろしい、怖い    ★scaredは「（人が）怖がっている」の意。

⑪ **huge**

巨大な

① **pack**

（人や動物の）群れ、一群

② **herd**

（大型の動物や家畜などの）群れ

③ **trainer**

調教師、訓練士

④ **incomprehensible**

理解できない、不可思議な

⑤ **basically**

基本的に、要するに、実は

⑥ **script**

脚本、台本

⑦ **beast**

獣、動物

⑧ **completely**

完全に、まったく

⑨ **unique**

独特の、類いまれな

⑩ **form**

形成する、構築する

⑪ **manage**

何とかやり遂げる

⑫ **purely**

純粹に

⑬ **strategically**

戦略的に、計略的に



**⑭ place**

置く、配置する

**⑮ mint**

ミントのお菓子、ハッカ

**⑯ suck**

吸う、口に含む

**⑰ peppermint**

ペパーミント、ペパーミントキャンディー

**⑱ stick A onto B**

AをBの上に貼り付ける、AをBの上にくっつける

**⑲ armpit**

脇の下（のくぼみ）

**⑳ entire**

全体の

**㉑ chest**

胸

**① every single time . . .**

毎回.....するたびに ★「Recreating the Authentic」に2回登場するevery singleは「すべて」の意

**② constantly**

常に、絶えず

**③ sniff**

匂いを嗅ぐ

**④ He**

★直後でsheと言い直しているのは、象がメスであったことを思い出したためと思われる。

**⑤ crazy**

常軌を逸した、すごい、素晴らしい

**⑥ treat**

ご褒美、ごちそう

**⑦ dung**

（牛や馬などの動物の）ふん

**⑧ work with ~**

～と協力する ★ここでは「象のふんがある環境でやっていく」くらいの意。次行のwork on ~は「～に取り組む」の意で、対象物と、より直接的に関わる



ニュアンス。

⑨ **poop**

（幼児語で）ウンチ

⑩ **natural**

生まれつきの

⑪ **propensity**

傾向、性癖

⑫ **(a) pile of ~**

山のような～、大量の～

⑬ **be familiar with ~**

～をよく知っている、～に精通している

⑭ **gross out ~**

～の気分を悪くさせる

⑮ **feel ~**

（無生物主語が）～という感じがする

⑯ **authentic**

本物の、真正の

⑰ **train car**

列車の車両 ★当時のサーカスは専用の列車で移動していた。

⑱ **take**

テイク、撮影 ★（カメラを止めずに行った）1回分の撮影。one takeは「撮り直しなしの一度きりの撮影」を指す。

⑲ **mound**

（地面の）盛り上がり、小山



**①set A in B**

Aの舞台をBに設定する

**②help A do**

Aが～するのを助ける

**③put oneself in ～**

自らを～（環境、立場）に置く

**④the first half of ～**

～の前半

**⑤comprehensive**

包括的な、総合的な

**⑥embankment**

盛り土、土手、堤防

**⑦track**

線路、軌道

**⑧trailer**

トレーラー ★ロケ撮影の際に楽屋などに使われる。

**⑨pretty much**

ほとんど、ほぼ

**⑩look over ～**

～を見渡す

**⑪out**

町を離れて

**⑫desert**

砂漠

**⑬orchard**

果樹園

**⑭production designer**

プロダクションデザイナー、美術監督 ★映画のセットやロケ地など、被写体となる空間を作る作業全般の責任者。

**⑮peg**

（テントなどの）くい、ペグ

**⑯every single**

すべての ★すぐ下のevery single (day)も同じ意味。



**⑰period**

年代物の、時代がかった、その（昔の）時代の

---

**⑱underpants**

（下着の）パンツ

---

**⑲as well**

その上

---

**⑳(a) pair of ~**

1着の～（ズボンなど）、1組の～

---



A black and white portrait of actress Emma Watson. She is looking directly at the camera with a slight smile. Her dark hair is styled in a side braid. She is wearing a patterned top with a dark strap over her shoulder.

# Emma Watson

Rex Features/ アフロ







大人気「ハリポタ」シリーズ完結

子役からの女優への飛躍

Emma Watson

“I feel like I can say I'm an actress and really believe in that.”

「自分は女優だと言えると感じているし、確かにそう確信しているわ」

Supervising Editor's Comment

訛りがなく、はっきりした発声と発音で話しているので、聞きやすそうではある。しかし、全体に力が入っていること、音の弱まりが極端なこと、途切れがちになることで、ゴツゴツとしたやや聞きにくい印象も残る。イギリスの若い世代で多い話し方だ。

音が極度に弱まり、消えてしまうこともある。character trait、constantlyなどが典型。また、“21”のtwentyのように、語末や語中の[t]が消えることもよくある。

Interview Data	
収録日	2011年7月11日
収録地	パリ（フランス）
スピード	速い
語彙	普通
発音	やや聞き取りにくい

エマ・ワトソン

Emma Watson

1990年4月15日、パリ生まれ。イギリス人。10歳の時に、『ハリー・ポッターと賢者の石』（2001）のオーディションを受け、メインキャストのハーマイオニーの役を射止める。以後、役柄と共に成長し、シリーズ完結を迎えた。シリーズ卒業後は、『プリングプリング』（'13）、『美女と野獣』（'17公開予定）など新作映画に取り組むとともに、声優やモデルも務めるなど、新境地開拓に挑んでいる。



**Reporter:** Can you tell us about your last scene as <sup>●</sup>Hermione? What were you <sup>①</sup>filming?

**Emma Watson:** The last <sup>②</sup>shot we did was this, kind of, strange moment where we <sup>③</sup>dive into the <sup>④</sup>fireplace in <sup>●</sup>the Ministry of Magic. It was actually for <sup>●</sup>Part 1, not Part 2. And so <sup>●</sup>Dan, <sup>●</sup>Rupert and I, <sup>⑤</sup>one by one, jumped onto these <sup>⑥</sup>blue safety mats, basically. And that was the shot. That was it.

And it seemed like, kind of, a strange one to <sup>⑦</sup>go out on, but actually, <sup>●</sup>David <sup>⑧</sup>made the point that we were, like, <sup>⑨</sup>leaping into the <sup>⑩</sup>unknown. It was, kind of, like a perfect <sup>⑪</sup>metaphor for, you know, what we <sup>⑫</sup>were all about to go into. It's so funny, I can't tell you how I felt when we were <sup>⑬</sup>shooting it. I think that I was, sort of, <sup>⑭</sup>numb, but, er, yeah, that was it.

**Reporter:** <sup>⑮</sup>Now that the series has ended, which is your favourite?

**Watson:** So, I mean, the last two — Part 1 and Part 2 — for me, um, really <sup>⑯</sup>stand apart from all of the rest. There's so much. The quality is <sup>⑰</sup>amazing and the role, and the depth, and the, I guess, how much darker <sup>⑱</sup>they get really gave me a chance to <sup>⑲</sup>stretch myself as an actress and really feel like I was an actress, and like I was acting. Because actually, for the first <sup>⑴</sup>however many years I didn't really feel <sup>⑵</sup>as though I was doing much acting at all. So, yeah, it's nice. I feel like I can say I'm an actress and really <sup>⑶</sup>believe in that.

**Reporter:** It must have been quite <sup>⑴</sup>emotional for you, when you were filming the last film, knowing that it was the final one.

**Watson:** It's so funny. <sup>⑵</sup>In a way, I mean, this film <sup>⑶</sup>obviously was <sup>⑷</sup>incredibly <sup>⑸</sup>challenging for me. It really <sup>⑹</sup>pushed me as an actress, but at the same time I was able to use a lot of my own <sup>⑺</sup>genuine emotion that I felt about loss and all of it <sup>⑻</sup>coming to an end. And I was able to bring how I was feeling to the role.

So, a, kind of, perfect example of that was the scene where we stand on the bridge after <sup>●</sup>the battle and, you know, before we <sup>⑼</sup>flash forward. And, um, I remember just really feeling exactly how, I guess, Hermione would be feeling, which was, kind of, “Wow, this is all coming to an end. Look at everything that we've <sup>⑽</sup>achieved.

The set was actually built, er, <sup>⑾</sup>looking out over <sup>●</sup>Leavesden Studios, which was where I grew up, <sup>⑿</sup>essentially, and spent the last 12 years. So, yeah, not much acting required really. It was all just sort of, it was all there for me.



**Reporter:** It's interesting to hear you say that you felt exactly how Hermione would have felt. Are there any <sup>①</sup>character traits that you <sup>②</sup>share with Hermione?

**Watson:** Character traits — not so much now. But, you know, I guess an <sup>③</sup>earnestness, and <sup>④</sup>eager to <sup>⑤</sup>please, um, and do the right thing, and <sup>⑥</sup>terrified of <sup>⑦</sup>ever <sup>⑧</sup>getting into trouble. I'm very <sup>⑨</sup>heady in the same way that she is — kind of <sup>⑩</sup>constantly, you know, thinking <sup>⑪</sup>three, four moves ahead.

I <sup>⑫</sup>try and <sup>⑬</sup>intellectualise a lot when, er, which she does <sup>⑭</sup>as well, obviously. She's very <sup>⑮</sup>determined; I am as well. I like to think that I'm very <sup>⑯</sup>loyal in the same way that she is. I'm a bit of a <sup>⑰</sup>feminist in the same way that she is — I <sup>⑱</sup>will <sup>⑲</sup>speak my mind, in the same way that she does. It's hard to say really. I feel as though so much of me went into her, and so much of her went into me, I can't really <sup>⑳</sup>differentiate too much anymore. It's all a bit of a <sup>㉑</sup>blur. But, um, those are a few.



**Reporter:** So, can you say how you feel you've changed over <sup>㉔</sup>the past 10 years?

**Watson:** Yeah, um, it's hard to say because obviously when you go from the ages of 9 to 21, there are so many changes that are <sup>㉑</sup>inevitable that, that's just part of, like, growing up. So it's hard to say what isn't just, sort of, like that, sort of, <sup>㉒</sup>natural process, and then what else has happened.

But I went from, you know, being a 9-year-old girl, schoolgirl to, um, having a job. And I've learnt how to be an actress, and how films are made, and how to do interviews, and — <sup>㉓</sup>hopefully. And, er, I guess I always have quite a strong <sup>㉔</sup>sense of who I am, but it's nice <sup>㉕</sup>coming through this and feeling like I, I've still <sup>㉖</sup>managed to <sup>㉗</sup>maintain my own sense of <sup>㉘</sup>identity, <sup>㉙</sup>away from something that <sup>㉚</sup>potentially could've <sup>㉛</sup>overwhelmed.

**Reporter:** How hard has it been to <sup>㉜</sup>deal with the <sup>㉝</sup>celebrity?

**Watson:** It became easier to <sup>㉞</sup>handle once I accepted it — once I, sort of, <sup>㉟</sup>came to terms with it, <sup>㊱</sup>definitely. And I feel fortunate in that I've never known; I've never really known what it's like to have total freedom and <sup>㊲</sup>anonymity. It's not as though I had it and then <sup>㊳</sup>all of a sudden it got <sup>㊴</sup>taken away from me. It, sort of, was something that I grew up knowing and was some, a <sup>㊵</sup>process that happened gradually. I've never known anything else so, in a way, I guess that's a <sup>㊶</sup>blessing.



**Reporter:** What's next for you?

**Watson:** What's next for me? I'm going to travel this summer, er, which I'm really excited about. One of the nicest, I mean, it's obviously <sup>①</sup>scary — change is always scary — but I feel really excited. I feel like I'm opening, entering a new <sup>②</sup>chapter, like I <sup>③</sup>get a fresh start, and there's something really exciting about that. So, travelling this summer. I'm <sup>④</sup>going back to school in the fall. I've got two years left until I <sup>⑤</sup>complete my degree.

I have just made a film called, <sup>⑥</sup>*The Perks of Being a Wallflower*, which was just the most <sup>⑦</sup>incredible experience. I had the best six weeks. And so I'm very excited about that movie. And that really, having had an experience like that outside of <sup>⑧</sup>Harry Potter was what really <sup>⑨</sup>convinced me that acting really was what I should be doing and, um, that I was good at it, and that it was, <sup>⑩</sup>I dunno. It just, er, it really <sup>⑪</sup>solidified that for me.

And I guess just now reading, reading, reading and trying to find the next thing that really <sup>⑫</sup>speaks to me and that I really <sup>⑬</sup>care about. And, er, finding great directors, hopefully, who will keep teaching me, and so I can keep learning. And, but I'm excited about the idea of being an actress now, <sup>⑭</sup>in a way that I <sup>⑮</sup>wasn't so sure of, I think, when I was younger.

translation ▶

*Coordinated by Jordan Riefe  
Narrated by Emma Howard*



# 未知の世界へ

DL Track12

記者：ハーマイオニーとしての最後のシーンについて話していただけますか？ 何を撮影していましたか？

エマ・ワトソン：最後に撮影したシーンは、魔法省の暖炉に飛び込む、ちょっと変な瞬間でした。実は、（『ハリー・ポッターと死の秘宝』の）パート2ではなくパート1のシーンだったんです。それで、ダンとルパートと私が、一人ずつ、要するに、例の（合成撮影用の）青色の安全マットに飛び降りたんです。それが最終ショットでした。それで終わりでした。

そしてそれは、何となく、最後にしては変なシーンにも思えましたが、実は、デイビッドが説明してくれたんです、私たちは、まあ、未知の世界に飛び込もうとしているんだ、と。あのシーンは、何というか、私たちがまさに進もうとしていた世界に、ぴったりのメタファーでした。すごく不思議な感じで、あれを撮っていた時の気持ちは言葉にすることはできません。何となく感覚がまひしていたんだと思うんですが、でも、そう、それで終わりでした。

記者：これでシリーズが終了したわけですが、どの作品がお気に入りですか？

ワトソン：そうですね、その、最後の2本が――（『ハリー・ポッターと死の秘宝』の）パート1とパート2が――私にとっては、ほかのどれとも違って別格です。とてもたくさんの――クオリティーの高さもすごいですし、役柄も、深みも、それに――思うに、作品のテーマがどんどん重くなっていった分、女優としての能力を伸ばす機会が実際に与えられて、自分は女優なんだ、演技をしているんだ、ということを実感しました。というのも、実は最初の何年かは、自分が確かに演技をしている、というような実感が全然なかったのです。ですから、そう、うれしいことです。（今は）自分は女優だと言えると感じていますし、確かにそう確信できます。

記者：これが最後だとわかった上で最終作を撮影している時には、きつと、感慨もひとしおだったことでしょうね。

ワトソン：すごく不思議な感じでした。ある意味で、つまり、この作品は私にとって、明らかに、途方もなく難易度の高いものでした。私を女優として本当に成長させてくれましたが、同時に、喪失や、終わりを迎えることにまつわるすべてについて感じていた、自分自身の心からの気持ちを大いに（演技に）反映させることができました。また、役柄に対する思い入れも取り入れることができました。

それで、そのちょうどいい例が、最後の戦いの後で、橋の上に立っているシーンです。あの、未来（のシーン）に飛ぶ前の。忘れもしません、まさにハーマイオニーが感じていたであろう気持ちを、私自身も実際に感じていたんです。それは、「うわあ、これでとうとう終わってしまうんだわ。私たちのやってきたことを見てちょうだい」といった感じです。

撮影セットは、実際にリープスデン・スタジオをはるかに見渡す場所に建てられていて、そこが、実質的に私が成長し、この12年間を過ごした場所でした。ですから、そう、実のところ演技はさほど必要ありませんでした。私にとっては、すべて、あるがままでしたから。

【原文】▶



# ハーマイオニーと私

DL Track13

記者：ハーマイオニーが感じていたであろう気持ちを、まさにそのまま感じていた、というお話は興味深いですね。ご自身とハーマイオニーで共通する性格は何かありますか？

ワトソン：性格ですか――今は、そんなに似ていないですね。でも、その、真面目さと、人を喜ばせようとか、正しいことをしようとするところ、それと、どんなときでもトラブルに巻き込まれることを怖がる場所かしら。私は、彼女と同じようにとてもせっかちなんです――何というか、いつも、ほら、3手か4手先まで考えているんですよ。

私がとても理知的であろうとするところは、当然、彼女もそうですね。彼女はとても意志が固いのですが、私もそうです。自分も彼女と同じようにとても誠実だ、と思いたいですね。私には、彼女と同じようにフェミニストなところがあります――私は、彼女と同じように、思ったことを率直に口にするタイプです。厳密に言うのは難しいんです。まるで私自身のかかなり多くの部分が彼女に入り込み、彼女のかかなり多くの部分が私に入り込んだような気がして。もう、あまりはつきりとは区別できないんです。何もかもがちょっと曖昧です。でも、そういった共通点は幾つかあります。

【原文】▶



# 有名人として年を重ねる

DLTrack4

記者：では、この10年のご自身の変化を、どう感じているか、お話しいただけますか？

ワトソン：ええ、そうですね、表現するのは難しいです。だって当然、9歳から21歳まで年を重ねれば、単なる成長の一環としての当然の変化も、すごくたくさんありますし。ですから、単に、まあ、そうした自然の成り行きとは違っているものは何なのか、そして、（自然な成長の）ほかに何があったのかをお話しするのは、難しいんです。

ですが、まあ、9歳の女の子、小学生の女の子だったのが、仕事を持つまでに至ったわけです。そして、どうやって女優になるのか、映画がどんなふうに作られるのか、インタビューにはどう答えるのかを学びました——そうなっているといいのですが。それに、思うに、私はずっと確固たる自意識を持ち続けてきましたが、こういった（芸能生活でのさまざまな）経験をしても、今もなお、私なりの自分らしさを保っていられるのは、うれしいことです。潜在的に、私を打ちのめしてきたかもしれない（女優としての公的人格のような）ものは別として。

記者：有名であることに折り合いを付けていくのは、どれぐらい難しいものですか？

ワトソン：いったん受け入れてしまえば、対処は楽になりました——いったん、いわば、きっぱりと割り切ってしまえばね。それに、経験したことがないという点で、幸運だと感じています。私は、完全に自由で人に知られていないということがどんなものなのか、実際、経験がなくてわからないんです。持っていたものを急に奪われた、という感じではないのです。そういったことは、いわば、大人になりながら知っていったもので、そして徐々に起きた変化でした。そうではない状況を全然知らないで、ある意味で、それはありがたいことだと思います。

【原文】▶



# 怖いけれどワクワクすること

1DLTrack15

記者： 今後はどうなさいますか？

ワトソン： 今後ですか？ この夏は旅行をする予定なので、すごくワクワクしています。素晴らしいことのひとつですね。つまり、やっぱり怖いんですが――変化はいつでも怖いものです――でも、すごくワクワクした気持ちです。（人生の）新しい章を開いて入っていくような、心機一転するような気持ちで、そこにはすごくワクワクさせてくれるものがあるんです。ですから、この夏は旅行です。秋には新学期が始まります。大学卒業まで、2年、残っているんです。

ちょうど『ウォールフラワー』という映画の撮影が終わったところなんですが、これはもう、とにかく素晴らしい経験でした。最高の6週間を過ごしました。ですから、あの映画（の公開）はとても楽しみです。それに、あれは本当に、「ハリー・ポッター」（シリーズ）以外でもそんな経験ができたおかげで、演技こそが自分のすべきことで、自分の得意なことだと、そして、その、まあわかりませんが、心から納得できたのです。とにかく、（女優への思いを）確固たるものにしてくれました。

とにかく今は、（脚本を）どんどん読んで、私に訴え掛けてくるような、本当に気に入る次の作品を探そうとしているところですね。それに、（演技の）勉強を続けられるよう、できれば、私にどんどん教えてくれる素晴らしい監督も探しています。でも、今は自分が女優であることにワクワクしています、幼かったころは、こんなふうには自信が持てなかったと思うのですが。

【原文】▶



## A

- achieve** 成し遂げる、達成する
- all of a sudden** 突然、急に
- amazing** 驚異的な、目を見張るような
- anonymity** 匿名性、無名であること

## B

- be sure of ~** ~に自信がある、~を確信している
- (be) terrified of ~** ~を恐れた
- believe in ~** ~の存在を信じる、~の価値を信じる
- blessing** 天の恵み、幸運、ありがたいこと

## C

- care about ~** ~を気にする、~を大事に思う
- celebrity** 名声、有名であること
- challenging** 能力が試される、難しいがやりがいのある
- chapter** (本の)章、(人生の)大きな節目で区切られた時期
- come through ~** ~を切り抜ける、~をやり遂げる
- come to terms with ~** ~ (嫌なこと)を割り切って受け入れる、~と折り合いを付ける
- complete one's degree** 学位を取得する、大学を卒業する
- convince A that ...** A (人)に...だと信じさせる、納得させる

## D

- deal with ~** ~に対処する、~と折り合いを付ける
- definitely** 確かに、はっきりと
- determined** 決意の固い、決然とした

## E

- eager to do** ~することに熱心な、しきりに~したがる
- emotional** 感動的な、感情に訴える
- essentially** 実質的に

## G

- genuine** 本物の、心からの
- get a fresh start** 新しくスタートを切る、心機一転する
- get into trouble** トラブルに巻き込まれる、問題を起こす

## H

- handle** 扱う、(~に)対処する
- hopefully** 願わくは、できることなら

## I

- inevitable** 不可避の、必然的な

## L

- leap into ~** ~に飛び込む
- loyal** 忠義の厚い、誠実な

## M

- maintain** 維持する、保持し続ける
- ~ moves ahead** (チェスなどの)~手先の動き

## N

- now that...** 今や.....だから
- numb** まひした、ぼうぜんとした

## O

- obviously** 明らかに、当然ながら
- overwhelm** 圧倒する、打ちのめす



P

---

- please** 人を喜ばせる
- potentially** 潜在的に、可能性を秘めて
- process** 一連の作用、変化

S

---

- share A with B** AをBと共有する
- speak one's mind** 考えをはっきり言う、本音を語る
- stand apart from ~** ~から際立つ、~とは別格である

T

---

- take away A from B** AをBから奪い取る
- the past ~ years** 過去～年
- try and do** ～しようとする   ★= try to do

U

---

- unknown** 未知のもの



# 理解度チェック

インタビューの内容に一致するものは○Yes、一致しないものは○Noを選びましょう。

※質問の難易度の表示は、A=やさしい、B=普通、C=難しい、を表します

目標正答数 初級レベル：3問以上 中級レベル：6問以上 上級レベル：8問以上

Questions		難易度	Yes	No
1	エマ・ワトソンによると、『ハリー・ポッターと死の秘宝』で撮影した最後のシーンは、最後にしては不思議な場面だった。	C		
2	「ハリー・ポッター」シリーズの最後の2本は好きではない、とワトソンは語っている。	A		
3	ワトソンは、その映画（『ハリー・ポッターと死の秘宝』）は自分を女優として成長させてくれた、難易度の高いものだったと語っている。	B		
4	ワトソンは、自身の演じた役ハーマイオニーと自分との共通点を多く挙げている。	A		
5	ワトソンは、ハーマイオニーはフェミニストではない、と述べている。	A		
6	ワトソンは9歳から21歳にかけてハーマイオニー役を演じてきた。	B		
7	ワトソンは、役柄の影響で、自分の自意識が打ちのめされたと感じている。	C		
8	ワトソンは、有名人になることで完全な自由が奪われたことを残念に思っている。	B		
9	時間ができた今、ワトソンの最初の計画は、旅行に行くことだ。	A		
10	ワトソンは女優としてのこれからのキャリアに期待で胸を膨らませている。	C		

答え ▶



# 理解度チェック

インタビューの内容に一致するものは○Yes、一致しないものは○Noを選びましょう。

※質問の難易度の表示は、A=やさしい、B=普通、C=難しい、を表します

目標正答数 初級レベル：3問以上 中級レベル：6問以上 上級レベル：8問以上

Questions		難易度	Yes	No
1	エマ・ワトソンによると、『ハリー・ポッターと死の秘宝』で撮影した最後のシーンは、最後にしては不思議な場面だった。	C		
2	「ハリー・ポッター」シリーズの最後の2本は好きではない、とワトソンは語っている。	A		
3	ワトソンは、その映画（『ハリー・ポッターと死の秘宝』）は自分を女優として成長させてくれた、難易度の高いものだったと語っている。	B		
4	ワトソンは、自身の演じた役ハーマイオニーと自分との共通点を多く挙げている。	A		
5	ワトソンは、ハーマイオニーはフェミニストではない、と述べている。	A		
6	ワトソンは9歳から21歳にかけてハーマイオニー役を演じてきた。	B		
7	ワトソンは、役柄の影響で、自分の自意識が打ちのめされたと感じている。	C		
8	ワトソンは、有名人になることで完全な自由が奪われたことを残念に思っている。	B		
9	時間ができた今、ワトソンの最初の計画は、旅行に行くことだ。	A		
10	ワトソンは女優としてのこれからのキャリアに期待で胸を膨らませている。	C		



## ①Hermione

ハーマイオニー ★ワトソンが演じる、「ハリー・ポッター」シリーズの登場人物。

---

## ②the Ministry of Magic

魔法省 ★作中に登場する架空の機関。魔法省の暖炉は、ネットワークでつながれたほかの暖炉への、移動手段となっている。

---

## ③Part 1 . . . Part 2

★二部構成のシリーズ最終作『ハリー・ポッターと死の秘宝』を指す。

---

## ④Dan

ダン（ダニエル・ラドクリフ） ★（1989-）。主人公ハリーを演じるイギリスの俳優。ダンはダニエルの愛称。

---

## ⑤Rupert

ルパート（・グリント） ★（1988-）。ハリーの親友ロンを演じるイギリスの俳優。

---

## ⑥David

デイビッド（・イエーツ） ★（1963-）。イギリスの映画監督。シリーズ5作目の『ハリー・ポッターと不死鳥の騎士団』（2007）から監督を務めている。

---

## ①the battle

★ハリーと宿敵ヴォルデモートとの最終決戦を指す。

---

## ②Leavesden Studios

リーブスデン・スタジオ ★ロンドン郊外のハートフォードシャーにある、広大な敷地を持つ撮影所。本シリーズの寮などのセットがあり、2012年から一般公開されている。

---



## ①go back to school

（休暇が終わって）新学期に入る ★2009年にアメリカのブラウン大学に入学したが、このインタビュー後の'11年秋から'12年までは、イギリスのオックスフォード大学に留学生として在学、'14年5月にブラウン大学を卒業した。

---

## ②*The Perks of Being a Wallflower*

『ウォールフラワー』 ★（2012年）アメリカ映画。大ヒットした同名の青春小説を、作者のスティーブン・チョボスキー（1970- ）自らが映画化、監督を務めた。内向的な少年と彼を取り巻く同年代の若者たちの、悩み多き青春を描く。ワトソンは、主人公が思いを寄せる少女を演じた。

---

## ③Harry Potter

「ハリー・ポッター」（シリーズ） ★J・K・ローリングのファンタジー小説シリーズを映画化したもの。『ハリー・ポッターと賢者の石』（2001）に始まり、シリーズ7作目の『ハリー・ポッターと死の秘宝』二部作で完結した。

---



①film

フィルムに収める、撮影する

②shot

ショット、撮影場面

③dive into ~

～に飛び込む

④fireplace

暖炉

⑤one by one

一つずつ、一人ずつ

⑥blue

★合成撮影の背景色のこと。

⑦go out

退く、終わる

⑧make the point that . . .

.....であると主張する、.....だと説明する

⑨leap into ~

～に飛び込む

⑩unknown

未知のもの

⑪metaphor

メタファー、隠喩、象徴

⑫be about to do

まさに～しようとしている

⑬shoot

撮影する

⑭numb

まひした、ぼうぜんとした

⑮now that . . .

今や.....だから



## ⑩stand apart from～

～から際立つ、～とは別格である

## ⑪amazing

驚異的な、目を見張るような

## ⑫they

★作品のテーマや内容を指している。

## ⑬stretch oneself

自分自身を伸ばす、成長する、能力をさらに広げる

## ⑭however

★「最初のうちは何年やつても」というニュアンスでこの語が使われていると思われる。

## ⑮as though . . .

.....であるかのように

## ⑯believe in ～

～の存在を信じる、～の価値を信じる

## ⑰emotional

感動的な、感情に訴える

## ⑱in a way

ある意味で、幾分

## ⑲obviously

明らかに、当然ながら

## ⑳incredibly

信じられないほど

## ㉑challenging

能力が試される、難しいがやりがいのある

## ㉒push

後押しする、推し進める

## ㉓genuine

本物の、心からの

## ㉔come to an end

終わる

## ㉕flash forward

未来へ飛ぶ、（映画が）先の場面に急に飛ぶ



### ⑬ achieve

成し遂げる、達成する

---

### ⑭ look out over ~

～をはるかに見渡す

---

### ⑮ essentially

実質的に

---



**① character trait**

性格特性、特性

**② share A with B**

AをBと共有する

**③ earnestness**

真面目さ

**④ eager to do**

～することに熱心な、しきりに～したがる

**⑤ please**

人を喜ばせる

**⑥ (be) terrified of ~**

～を恐れた

**⑦ ever**

いつも

**⑧ get into trouble**

トラブルに巻き込まれる、問題を起こす

**⑨ heady**

せっかちな、性急な

**⑩ constantly**

常に、絶えず

**⑪ ~ moves ahead**

(チェスなどの) ~手先の動き

**⑫ try and do**

～しようとする ★= try to do

**⑬ intellectualise**

知的にする、理知的に処理する ★アメリカ式つづりはintellectualize。

**⑭ as well**

その上、同様に

**⑮ determined**

決意の固い、決然とした

**⑯ loyal**

忠義の厚い、誠実な



## ⑰feminist

フェミニスト、男女同権論者

---

## ⑱will do

よく～する、どうしても～する

---

## ⑲speak one's mind

考えをはっきり言う、本音を語る

---

## ㉓differentiate

区別する、違いをつける

---

## ㉔blur

不明瞭、曖昧

---



## ②the past ~ years

過去～年

## ①inevitable

不可避の、必然的な

## ②natural process

自然の成り行き

## ③hopefully

願わくは、できることなら ★このインタビューにもうまく答えられているとよいのですが、ということ。

## ④sense

観念、意識

## ⑤come through ~

～を切り抜ける、～をやり遂げる

## ⑥manage to do

どうにか～する、うまく～しおおせる

## ⑦maintain

維持する、保持し続ける

## ⑧identity

アイデンティティー、自分らしさ

## ⑨away from ~

～から離れて、～を別として ★直後のsomethingはpublic persona（公的人格）といったことを指していると思われる。

## ⑩potentially

潜在的に、可能性を秘めて

## ⑪overwhelm

圧倒する、打ちのめす ★この後のmeが省かれている。

## ⑫deal with ~

～に対処する、～と折り合いを付ける

## ⑬celebrity

名声、有名であること

## ⑭handle

扱う、（～に）対処する

## ⑮come to terms with ~

～（嫌なこと）を割り切って受け入れる、～と折り合いを付ける



**⑩definitely**

確かに、はっきりと

---

**⑪anonymity**

とくめい  
匿名性、無名であること

---

**⑫all of a sudden**

突然、急に

---

**⑬take away A from B**

AをBから奪い取る

---

**⑭process**

一連の作用、変化

---

**⑮blessing**

天の恵み、幸運、ありがたいこと

---



## ①scary

怖い、恐ろしい

## ②chapter

（本の）章、（人生の）大きな節目で区切られた時期

## ③get a fresh start

新しくスタートを切る、心機一転する

## ④complete one's degree

学位を取得する、大学を卒業する

## ⑤incredible

信じられないほど素晴らしい

## ⑥convince A that . . .

A（人）に.....だと信じさせる、A（人）に.....だと納得させる

## ⑦I dunno

★= I don't know。くだけた言い方。

## ⑧solidify

固める、強固にする

## ⑨speak to ~

～（人・心など）に訴え掛ける

## ⑩care about ~

～を気にする、～を大事に思う

## ⑪in a way that . . .

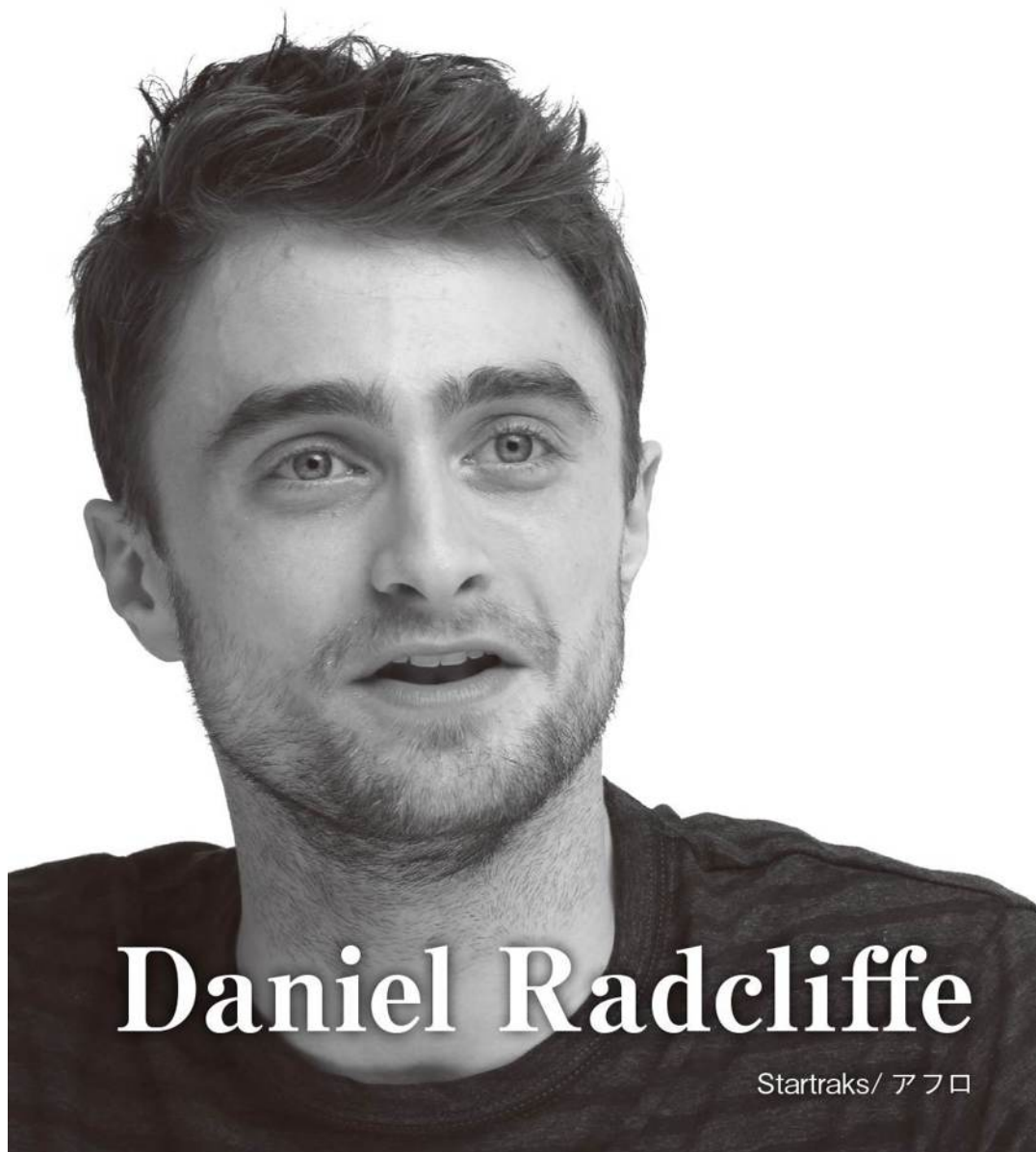
.....という点で、.....というやり方で

## ⑫be sure of ~

～に自信がある、～を確信している

※収録環境の都合上、このインタビューには所々雑音が入っております。悪しからずご了承ください。





Daniel Radcliffe

Startraks/ アフロ







初の恋愛映画で男女の微妙な距離感を等身大で好演

Daniel Radcliffe

“I hope I improve that every time I go or step off set.”

「新しい映画に出るごとに、あるいは映画を1本撮り終わるごとに、自分を向上させていきたいんだ」

Supervising Editor's Comment

発音は明瞭だが、かなり速いペースで容赦なく話し続ける。スクリプトを返り読みせずに理解する練習も必要。  
わずかに大衆的な南イングランドの訛りがあり、語末の[t]がよく落ちるのはその例。about      thatで顕著だ。また、lifeが「ロイフ」に近いが、これも訛り。  
若い世代のイギリス英語は、力んだテキパキとした強めの響きを持つ。穏やかな緩急の波をイメージできるアメリカ英語とは対照的だ。

Interview Data	
収録日	2014年7月17日
収録地	ビバリーヒルズ（アメリカ）
スピード	速い
語彙	普通
発音	明瞭だがやや訛りあり

ダニエル・ラドクリフ

**Daniel Radcliffe**

1989年7月23日、イギリス、ロンドン生まれ。TVドラマ『デビッド・コバーフィールド』（1999）の主役で俳優デビュー。『テイラー・オブ・パナマ』（2001）で映画デビュー。『ハリー・ポッターと賢者の石』（'01）の主役で大抜擢され、11年の最終作『ハリー・ポッターと死の秘宝 PART2』まで主人公とともに成長を続けた。ハリー卒業後はさまざまな役柄に挑戦し、舞台での活躍も注目されている。



**Reporter:** Can you talk about establishing the ①rapport you had with your ②co-star, ③Zoe Kazan?

**Daniel Radcliffe:** The first film that ④Michael Dowse, our director, asked me to watch when we knew we'd be doing ⑤the movie together was the ⑥Frank Capra movie ⑦*It Happened One Night*, and, which is an amazing movie ⑧in and of itself. I think it, um, won best picture in, like, ⑨1937. And it, it's a ⑩brilliant, brilliant film.

One of the things that's amazing about it is how modern it feels. And the reason for that is the main couple in it, the way they ⑪flirt and the way they, sort of, fall in love, is by, kind of, as we would say in England, ⑫taking the piss out of each other and ⑬jokey, kind of, ⑭insults, and that kind of thing. There's something very real about that, I feel. Those relationships that are founded on, kind of, ⑮bantering back and forth. That's what we tried to ⑯capture with our relationship in the film. I felt that that was a very interesting way to watch a relationship ⑰take shape.

**Reporter:** ⑱Through the course of the movie, the relationship does take shape and these two ⑲come together in a romantic way, despite the fact that she has a boyfriend.

**Radcliffe:** Yeah, I mean, absolutely, this film is about characters who are living in a, kind of, ①moral ②grey area that none, neither of them are particularly comfortable with. For instance, there's a moment when we get out of the car and we're talking to each other and Zoe says, you know, she's said to me, “You ③scrub up really well, ④Wallace.” And I say “Yeah, you too.” And I just go to, sort of, touch her on the arm, and it's that ⑤awkward moment of, like, “If my hand ⑥lingers too long, will she ⑦read too far into it? Will she know how I feel about her?”

And it's when all those tiny moments of ⑧physicality and body language ⑨take on this ⑩heightened significance because of how ⑪intensely they ⑫feel for each other. So, yeah, it was fun to, sort of, use that stuff and ⑬dance around each other in the movie.



**Reporter:** Would you tell us a little bit more about your character, Wallace?

**Radcliffe:** Wallace is a medical school <sup>②</sup>dropout who has <sup>④</sup>had his heart broken by his ex-girlfriend, who <sup>②</sup>cheated on him and really, sort of, left him in <sup>②</sup>quite a sorry state. And he's, sort of, <sup>⑦</sup>been left with a bad taste in his mouth because of that. And so he, he's really <sup>①</sup>gone off the idea of love. The first thing you see him doing is <sup>⑧</sup>placing fridge magnets on a fridge saying “love is stupid.” And then, moments later, he meets this girl called <sup>⑨</sup>Chantry and begins, obviously, to fall in love with her.

And then, after finding out that she has a boyfriend, he just says to himself, “This person makes me incredibly happy. I don't wanna give up being her friend and knowing her. So I'll just <sup>②</sup>suppress all my feelings of love for her and try and be her best <sup>③</sup>mate.” The film is about them, sort of, navigating the increasingly complicated <sup>④</sup>waters of friendship when you're also in love with each other.

**Reporter:** So, this friendship becomes romantic, but do you think men and women who are friends can remain friends?

**Radcliffe:** “Yes” is the answer, I think. I think there's also, I'll <sup>⑤</sup>qualify it slightly by saying if you are romantically attracted to somebody that you're friends with, then maybe <sup>⑥</sup>at some point that is gonna become an issue and you're gonna have to have a conversation about that.

I do think there are hundreds and thousands of <sup>①</sup>platonic relationships all over the world, um, that will remain platonic. But there are also a few friendships that do. Like my <sup>②</sup>mum and dad. They were friends for a couple of years before they started <sup>③</sup>going out, and now they've been married for 30 years. So, it is also a place, you know, that's kind of a natural foundation for a lot of relationships to start on.



**Reporter:** We haven't seen you in a movie like this before, where you fall in love.

**Radcliffe:** No, I mean, that was the first time I <sup>④</sup>got to do that. The romantic element of this film was obviously one that I <sup>⑤</sup>was really keen on. I've always wanted to do a comedy, but the fact that the romance in this film seemed so <sup>⑥</sup>genuine and <sup>⑦</sup>authentic and sweet, like, really, really sweet, I really liked that. I liked the fact that this is a film that makes you laugh <sup>⑧</sup>the whole way through but also has some kind of emotional power at the end as well. I think that's really important.

I feel like this film has that kind of emotional impact that you'll hopefully, sort of, take it with you out of the theatre and <sup>①</sup>stick with you and hopefully maybe re-watch one day. But I <sup>②</sup>definitely, I think one of the things I liked about it <sup>③</sup>is was that it wasn't just an hour and half of people <sup>④</sup>exchanging jokes, like, it actually <sup>⑤</sup>led to something important.



**Reporter:** You started so young in this business. Is that a good thing or a bad thing?

**Radcliffe:** I am incredibly ①grateful that I was, sort of, ②plonked in the middle of the film industry when I was 10, 11 years old. It gave me a ③sense of community; it gave me a sense of belonging and a sense of what I wanted to do with the rest of my life.

And also, the thing that I find constantly just ④inspirational about film and working on ⑤sets is that it is the greatest number of different ⑥disciplines coming together to make one thing happen. You don't find that in many other places, from makeup to ⑦catering, to photography, to lighting, to anything you ⑧care to ⑨name, it all ⑩goes into making a film. And all those people work together to bring, to make one thing. And that's still, to me, just amazing. I hope that I get better on both sides of it — the acting side and also the technical side. I hope I improve that every time I ⑪go or step off set.

**Reporter:** How do you approach the acting side? Are you a ⑫method actor?

**Radcliffe:** I approach every character in ⑬more or less the same way — just ⑭figuring out what they want out of the story ⑮as a whole, and then, what do they want out of each scene, and then what are they trying to achieve with every ⑯line they say. And I find if you ⑰break down characters all in that way, it, that's the way I've found of working, anyway.

There's not a huge amount of changing what I do between ⑱genre, or I mainly, sort of, ⑲stick to that method every time. But I've, I've just been very lucky, I think, and very grateful to people who've given me the opportunities to show this amount of range and this amount of, sort of, ⑳diversity in the things I'm doing. All the actors that I ㉑look up to are people who have really diverse, interesting ㉒bodies of work behind them. And I, that's the way I have the most fun doing my job, is by not repeating myself and always trying something new.



**Reporter:** Finally, we've come all this way, and we still haven't mentioned the H-word! ①Are you sick of answering ②Harry Potter questions?

**Radcliffe:** I really don't hate those questions. There's an assumption that I must hate talking about Harry Potter, but I really don't. It was 10 years of my life and 10 years that I loved. So it's never gonna be, like, a ③sore point for me to have that ④brought up.

Yeah, I've been, again, very lucky with the fans of those movies that have followed me on to, you know, things ⑤onstage, ⑥some very challenging plays, and ⑦one very, very fun musical. I've been very lucky to have the support of that fan base follow me through my career and hopefully will continue to, 'cause they're amazingly, like, just ⑧loyal. And also the, ⑨the thing about the Harry Potter fans is that they are, ⑩on the whole, they're incredibly ⑪smart and ⑫open-minded. Those are the ⑬values that the book, sort of, taught people and I think, as a result of that, the fans are good people. I'm lucky to have them as fans.

translation ▶

*Coordinated by Jordan Riefe  
Narrated by Rumiko Varnes*



# 恋の駆け引き

DL Track17

記者：共演者のゾーイ・カザンとの間に築いた信頼関係について、話していただけますか？

ダニエル・ラドクリフ：この作品（『もしも君に恋したら。』）と一緒に作るようになったとき、マイケル・ドース監督が最初に見るように言った映画が、フランク・キャブラの作品『或る夜の出来事』だったのですが、この作品自体（自分の仕事と無関係に見ても）実に見事なんです。（アカデミー賞の）作品賞を受賞したと思います、1937年ぐらいに。傑作中の傑作です。

この作品（『或る夜の出来事』）のすごいところの一つは、いかに現代的に感じられるか、ということです。その理由は、主役の男女が、相手の気を引いたり、いわゆる恋に落ちたりする上での駆け引きが、イングランドで言うところの、おちょくり合いというか、冗談めかした悪態や、そんなものの応酬で、そういうところにとっても現実味を感じるんです。からかい合う中で築かれる関係ですね。それがまさに、僕たちが映画の中の関係で描き出そうとしたものです。男女関係が築かれる過程を見る、とても面白いやり方だと思いました。

記者：作品が進むにつれて、その関係がまさに形成されて、二人は親密な関係になります。ただし、彼女にはボーイフレンドがいるのですが。

ラドクリフ：ええ、まあ、確かにそうです。この映画は、モラル上微妙な立場にある登場人物たちを描いていて、二人とも何となく気まずい思いをしています。例えば、二人が車から降りて言葉を交わす場面があって、ゾーイが僕に「ずいぶんめかしこんできたのね、ウォレス」と言い、僕が「うん、君もね」と答えます。そして僕が近付いて彼女の腕に軽く触れるのですが、それがその、ぎこちない瞬間です、「僕の手があまり長く触れていたら、彼女に深読みされてしまうだろうか？ 彼女に対する気持ちを知られてしまうだろうか？」という感じの。

こうした身体的な触れ合いや身ぶりのささいな瞬間瞬間が、二人が互いに強く意識し合っているからこそ、特別な意味を帯びるわけです。ですから、ええ、作中で、そうしたことを使って互いにじらし合うのは、面白かったですよ。

【原文】▶



# 愛情と友情

 DL  Track18

記者：あなたが演じるウォレスについて、もう少し話していただけますか？

ラドクリフ：ウォレスは医学部の中退者で、前の彼女に裏切られてかなり惨めな状況で別れたことから、心に痛手を負っています。そのせいで苦々しい思いを引きずっています。それで恋愛というものにすっかり嫌気が差しています。最初に映る場面で彼がしているのは、冷蔵庫に、「恋愛なんてばかばかしい」という文字列をマグネットで並べることです。それから少したって、彼はチャントリーという女の子に出会い、もちろん、彼女に恋をし始めます。

その後、彼女に恋人がいるとわかると、彼は自分にこう言います、「この人といると、ものすごく楽しい。彼女の友達として、彼女を知ることを、諦めたくない。だから彼女に対する恋愛感情にはすべてふたをして、親友になる努力をしよう」と。この映画は、いわば、両思いでもあるためにどんどん複雑になっていく友情という海を航行する、二人の物語です。

記者：つまり、その友情が恋愛が変わっていくわけですが、あなたは、友人である男女が友人のままでいられると思いますか？

ラドクリフ：その答えは「イエス」だと思います。それから、ちょっとした条件を付けましょう、もし友達である誰かに恋愛感情を持つてしまったら、たぶん、どこかの時点でそれが問題になって、話し合わなければならなくなるでしょうね。

でも、世界中にプラトニックな関係は、つまりプラトニックなままであり続ける関係はいくらでも存在すると、僕は思います。ただ、そうなる（恋愛へと変化する）友人関係もあります。僕の母と父がそうでした。両親は数年間友人だったのですが、その後付き合うようになり、今では結婚して30年になります。ですから、友人関係は、さまざまな人間関係がスタートする出発点、自然な土台のようなものでもあるのです。

【原文】▶



# 心に訴える力

 DL  Track19

記者：あなたが恋に落ちるような、こうした映画に出演するのを、これまで見たことがありませんでした。

ラドクリフ：そうですね。つまり、そうした機会に初めて恵まれました。この作品の恋愛要素は、確かに、僕がとてもやりたかったことの一つでした。前々からコメディをやりたかったのですが、この作品に描かれる恋愛が本物で偽物くさくなくて、もう本当に、本当に優しくて、すごく気に入りました。気に入ったんです、この映画は、最初から最後まで笑わせてくれるけれど、最後にはある種の心に訴える力も持っているところが。そこがとても大事だと思います。

この作品には、そうした心に訴える力がありますから、願わくは、皆さんが映画館の外に出ても作品を（心に）持って帰ってくださって、いつまでも忘れずにいて、できればいつの日かもう一度見てくださればと思います。でも間違いありません、僕がこの映画で気に入ったことの一つは、登場人物たちが1時間半、ただ冗談を交わし合っているだけでなく、ちゃんと大事なことに繋がっている、ということです。

【原文】▶



# 多様性を渴望して

DL Track20

記者：あなたはとても若いうちにこの業界に入られました。それはいいことですか、それとも悪いことですか？

ラドクリフ：10歳、11歳のときに映画業界のど真ん中に放り込まれたことは、この上なくありがたいと感じています。おかげで連帯感が身に付き、帰属意識が身に付き、その後の人生で何をしたいかという感覚が得られました。

それと、映画や撮影現場で働くことに関して常に感銘を受けるのは、一つのことを成し遂げるためにありとあらゆる専門分野が協力することです。ほかの場所ではそうしないことです。メイクからケータリング、写真撮影、照明に至るまで、思い付くものは何でもありと、すべて1本の映画の制作に関わっています。そうした関係者が全員、一つのものを作り上げるために力を合わせるのです。これはいまだに、僕にとって驚異以外の何物でもありません。僕は、両方の面で上達できたらと思っています――演技面と技術面で。新しい映画に出るごとに、あるいは映画を1本撮り終わるごとに、自分を向上させていきたいんです。

記者：演技面にはどのように取り組んでいますか？ あなたはメソッド俳優ですか？

ラドクリフ：僕は、どの役柄でもだいたい同じ取り組み方をします――見極めるのです、その役柄はストーリー全体から何を引き出したいのか、次に、それぞれの場面から何を引き出したいのか、そして、口にするセリふ一つ一つによってどんな効果を挙げようとしているのかを。そんなふうに、役柄をすつかり分析していくと、それが、まあ、少なくとも、それが僕の見つけた演じ方です。

ジャンルが変わっても、僕のやり方に大きな変化はありません。たいていはまあ、毎回その方式を買きます。ただ、僕はとても幸運だったと思いますし、僕のしている仕事でこういった幅の広さや多様性を見せる機会を与えてくれた人たちには、とても感謝しています。僕が尊敬する俳優は皆、多様性のある興味深い多くの作品に出演した人たちです。そしてそれが、僕が仕事をする上で一番楽しんでいることでもあって、それは、同じことを繰り返さず、常に何か新しいものに取り組むということです。

【原文】▶



# 大切な10年間

 DL  Track21

記者：最後に、ここまでお話をしてきましたが、まだ、あのHで始まる単語に触れていませんでした！「ハリー・ポッター」関係の質問に答えるのはうんざりですか？

ラドクリフ：その手の質問は別に嫌いじゃありませんよ。「ハリー・ポッター」の話が僕が嫌がるに違いない、という思い込みがあるようですが、別にそんなことはありません。僕の人生のうちの10年間ですし、僕が大好きだった10年間でした。ですから、持ち出されたくない嫌な話題みたいなものでは、決してありません。

ええ、ここでもまたとても幸運だったのは、あの映画のファンの皆さんが、僕の舞台出演まで見守ってくれたことです、とても挑戦的な芝居が幾つかと、すごくすごく愉快的ミュージカルが一つですが。とてもありがたいことです、そうしたファン層による支持が、僕のキャリアにずっと付いてきてくれたことは。できればこれからもそうあり続けてくれることを祈ってます。というのも、彼らは驚くほど、もう、とにかく義理堅いんです。それに「ハリー・ポッター」のファンの特徴は、全般的に、信じられないほど聡明で視野が広いことです。そうしたことは、いわば「ハリー・ポッター」の本が伝えた価値観であって、その結果として、ファンがすてきな人たちなんですね。彼らにファンになってもらえて幸運です。

【原文】▶



## Vocabulary List

### A

---

- as a whole** 全体として、総合的に
- at some point** どこかの時点で
- awkward** ぎこちない、ぎくしゃくした、気まずい

### B

---

- be keen on ~** ~を強く望んでいる、～に乗り気である
- be left with a bad taste in one's mouth** 後味の悪い思いをしている、嫌な印象が残っている
- be sick of ~** ～にうんざりする
- body of work** 一連の作品
- break down ~** ～を分析する
- brilliant** 卓越した、見事な
- bring up ~** ～を（話題に）持ち出す

### C

---

- capture** 捉える、描き出す
- care to do** ～したいと思う
- catering** ケータリング、食事の仕出し

### D

---

- dance around ~** ～の核心に触れないように取り繕う
- diversity** 多様性
- dropout** 落第生、中途退学者

### E

---

- exchange jokes** 冗談を交わす、冗談を言い合う

### F

---

- feel for ~** ～に好意を感じる
- figure out ~** ～を解明する、～を考え出す

### G

---

- genre** ジャンル、分野 ★発音は [ʒá.ŋrə]
- get to do** ～する機会を得る、～することができる
- go off ~** ～に興味を失う、～に嫌気が差す
- grateful** 感謝して、ありがたく感じて

### H

---

- have one's heart broken** 心が傷つく、失恋する

### I

---

- in and of itself** それ自体として
- inspirational** インスピレーションを与えるような、感化するような
- insult** 侮辱、失礼な言動
- intensely** 熱烈に、激しく

### J

---

- jokey** 冗談めかした、ふざけた

### L

---

- lead to ~** ～（ある結果）へ導く
- line** せりふ
- look up to ~** ～を尊敬する

### M

---

- moral** 倫理的な、道徳上の
- more or less** 多かれ少なかれ、だいたい、事実上
- mum** ママ、お母さん ★〔米〕mom

### O

---



- on the whole** 全体的に見ると
- open-minded** 開放的な、視野の広い、偏見のない

P

---

- platonic** プラトニックな、（肉体関係を持たない）精神的な

S

---

- smart** 賢明な、頭のいい
- sore point** 痛いところ、触れられたくない部分
- stick to ~** ~をし続ける、~にこだわる
- suppress** 抑圧する、（気持ちを）抑え込む

T

---

- take on ~** ~（性質・様相など）を帯びる
- take shape** 形を成す、具体化する
- through the course of ~** ~を通じて、~が進むにつれて

V

---

- values** 価値体系、価値観

※〔米〕はアメリカ式つづり



# 理解度チェック

インタビューの内容に一致するものは○Yes、一致しないものは○Noを選びましょう。

※質問の難易度の表示は、A=やさしい・B=普通・C=難しい、を表します

目標正答数 初級レベル：3問以上 中級レベル：6問以上 上級レベル：8問以上

Questions		難易度	Yes	No
1	ダニエル・ラドクリフは、昔の映画『或る夜の出来事』に感心しなかった。	A		
2	ラドクリフによると、彼が出演した映画（『もしも君に恋したら。』）は、お互いに気まずい思いを抱いている男女を描いている。	B		
3	ラドクリフの演じたウォレスは、前の彼女に裏切られた医学部の中退者である。	A		
4	ラドクリフは、男女がプラトニックな関係を続けることは不可能だと思っている。	B		
5	ラドクリフは、友人関係から恋愛に発展するケースとして、自分の両親を例に出している。	C		
6	ラドクリフは、この作品（『もしも君に恋したら。』）で描かれる恋愛はうそっぽくて好きになれない、と言っている。	A		
7	ラドクリフは、この作品には人の心に訴え掛ける力があるので、人々にはまたいつか見てほしいと思っている。	C		
8	さまざまな分野の専門家が力を合わせて一つの映画作品を作り上げることに、ラドクリフはいつも感心している。	B		
9	ラドクリフは、役柄によって役への取り組み方を変えている、と述べている。	A		
10	ラドクリフは「ハリー・ポッター」に出演することで得られた忠実なファンたちの存在に感謝している。	B		

答え ▶



理解度チェック

インタビューの内容に一致するものは○Yes、一致しないものは○Noを選びましょう。

※質問の難易度の表示は、A=やさしい・B=普通・C=難しい、を表します

目標正答数 初級レベル：3問以上 中級レベル：6問以上 上級レベル：8問以上

Questions		難易度	Yes	No
1	ダニエル・ラドクリフは、昔の映画『或る夜の出来事』に感心しなかった。	A		
2	ラドクリフによると、彼が出演した映画（『もしも君に恋したら。』）は、お互いに気まずい思いを抱いている男女を描いている。	B		
3	ラドクリフの演じたウォレスは、前の彼女に裏切られた医学部の中退者である。	A		
4	ラドクリフは、男女がプラトニックな関係を続けることは不可能だと思っている。	B		
5	ラドクリフは、友人関係から恋愛に発展するケースとして、自分の両親を例に出している。	C		
6	ラドクリフは、この作品（『もしも君に恋したら。』）で描かれる恋愛はうそっぽくて好きになれない、と言っている。	A		
7	ラドクリフは、この作品には人の心に訴え掛ける力があるので、人々にはまたいつか見てほしいと思っている。	C		
8	さまざまな分野の専門家が力を合わせて一つの映画作品を作り上げることに、ラドクリフはいつも感心している。	B		
9	ラドクリフは、役柄によって役への取り組み方を変えている、と述べている。	A		
10	ラドクリフは「ハリー・ポッター」に出演することで得られた忠実なファンたちの存在に感謝している。	B		



## ①Zoe Kazan

ゾーイ・カザン ★（1983-）。アメリカの女優、脚本家。代表作は『ルビー・スパークス』（2012）。『エデンの東』（1955）などを監督したエリア・カザンを祖父に持つ。

## ②Michael Dowse

マイケル・ドース ★（1973-）。カナダ出身の映画監督、脚本家。

## ③the movie

★2013年のトロント国際映画祭で*The F Word*のタイトルで上映され、'14年にアメリカなどで*What If*のタイトルで公開された、ロマンチック・コメディーを指す。邦題は『もしも君に恋したら。』。F(-)wordは「Fで始まる言葉」の意で、卑語を直接口にしないための言い方。当映画祭では、ラドクリフ主演のほか2作品 *Kill Your Darlings*、*Horns*（ともに原題）も出品された。

## ④Frank Capra

フランク・キャブラ ★（1897-1991）。イタリア出身の映画監督。社会風刺と人間味にあふれた作風で、3度のアカデミー監督賞を受賞。

## ⑤*It Happened One Night*

『或る夜の出来事』 ★（1934）。アカデミー作品賞、監督賞など主要5部門を獲得した、ロマンチック・コメディーの古典的名作。

## ⑥1937

★正しくは1935年。

## ①Wallace

★本作でラドクリフが演じた役名。



## ①placing fridge magnets

★アルファベットが一文字ずつバラバラのマグネットで、文を作り、並べて貼っている。fridgeは「冷蔵庫（=refrigerator）」の意。

---

## ②Chantry

★本作でカザンが演じた役名。

---



## ① Harry Potter

ハリー・ポッター ★J・K・ローリングによるファンタジー小説とその映画シリーズの主人公。2001年の映画第1作から'11年の最終作まで、ラドクリフが演じた。

---

## ② some very challenging plays

★ラドクリフは、2007年と'08年に上演された『エクウス』では精神的抑圧から異常行動を起こす若者役を、'13年と'14年に上演されたブラックコメディ『夢の島イニシュマーン』では体に障害を持つ孤児役を、それぞれ演じた。

---

## ③ one very, very fun musical

★ラドクリフは、2011年にブロードウェーで上演されたコメディ・ミュージカル『努力しないで出世する方法』に主演した。

---



① **rapport**

親密さ、信頼関係 ★発音は [ræpɔːt]。

② **co-star**

共演スター

③ **in and of itself**

それ自体として ★in itselfを強調した言い方。

④ **brilliant**

卓越した、見事な

⑤ **flirt**

（異性を）誘惑する、（～の）気を引く

⑥ **take the piss out of ~**

～をからかう、～をおちよくる

⑦ **jokey**

冗談めかした、ふざけた

⑧ **insult**

侮辱、失礼な言動

⑨ **banter**

からかう、冷やかす

⑩ **capture**

捉える、描き出す

⑪ **take shape**

形を成す、具体化する

⑫ **through the course of ~**

～を通じて、～が進むにつれて

⑬ **come together**

一緒になる、仲良くなる

① **moral**

倫理的な、道徳上の

② **grey area**

曖昧な状況、「グレーゾーン」、違反すれすれの行為 ★アメリカ式つづりはgray。



### ③scrub up well

（普段より）きれいな身なりをする、おめかしする

---

### ④awkward

ぎこちない、ぎくしゃくした、気まずい

---

### ⑤linger

長引く、居残る

---

### ⑥read too far into ~

～を深読みし過ぎる、～を考え過ぎる

---

### ⑦physicality

身体性、身体的接触、肉体的衝動

---

### ⑧take on ~

～（性質・様相など）を帯びる

---

### ⑨heightened

高められた、増大した

---

### ⑩intensely

熱烈に、激しく

---

### ⑪feel for ~

～に好意を感じる

---

### ⑫dance around ~

～の核心に触れないように取り繕う

---



**⑬ dropout**

落第生、中途退学者

**⑭ have one's heart broken**

心が傷つく、失恋する

**⑮ cheat on ~**

~をだまして浮気する

**⑯ quite a ~**

かなりの～、相当な～

**⑰ be left with a bad taste in one's mouth**

後味の悪い思いをしている、嫌な印象が残っている

**① go off ~**

～に興味を失う、～に嫌気が差す

**② suppress**

抑圧する、（気持ちを）抑え込む

**③ mate**

仲間、友達

**④ waters**

海域、水域 ★この意味では通例、複数形。

**⑤ qualify**

条件を付ける、限定する

**⑥ at some point**

どこかの時点で

**① platonic**

プラトニックな、（肉体関係を持たない）精神的な

**② mum**

ママ、お母さん ★アメリカ式つづりはmom。

**③ go out**

（一緒に）出掛ける、デートする、付き合う



#### ④get to do

～する機会を得る、～することができる

#### ⑤be keen on ～

～を強く望んでいる、～に乗り気である

#### ⑥genuine

本物の、純粋な、誠実な

#### ⑦authentic

真正の、正真正銘の

#### ⑧the whole way through

全体を通して、最初から最後までずっと

#### ①stick with ～

～のそばを離れない

#### ②definitely

確かに、間違いなく

#### ③is

★言い間違い、この後すぐにwasと言い直したと思われる。

#### ④exchange jokes

冗談を交わす、冗談を言い合う

#### ⑤lead to ～

～（ある結果）へ導く



## ⑥grateful

感謝して、ありがたく感じて

## ⑦plonk

（勢いよく）置く、放り出す ★アメリカ式つづりは **plunk**。

## ⑧sense of community

共同体意識、連帯感

## ⑨inspirational

インスピレーションを与えるような、感化するような

## ⑩set

（映画の）セット、撮影現場

## ⑪discipline

専門分野

## ⑫catering

ケータリング、食事の仕出し

## ⑬care to do

～したいと思う

## ⑭name

示す、挙げる

## ⑮go into ～

～に注ぎ込まれる、～に参入する

## ①go or step off set

映画のセットを後にする ★go off set、step off setはともに同じ意味を表す。

## ②method

メソッド演技法の ★演じる人物に同一化することで、内面からその人物に近付いた自然な動作・表現を目指す演技法。

## ③more or less

多かれ少なかれ、だいたい、事実上

## ④figure out ～

～を解明する、～を考え出す

## ⑤as a whole

全体として、総体的に

## ⑥line

せりふ



## ⑦ break down ~

～を分析する

---

## ⑧ genre

ジャンル、分野 ★発音は [ʒɑːnɹə]。

---

## ⑨ stick to ~

～をし続ける、～にこだわる

---

## ⑩ diversity

多様性 ★次行のdiverseは形容詞で「多様な、それぞれに異なる」の意。

---

## ⑪ look up to ~

～を尊敬する

---

## ⑫ body of work

一連の作品

---



① **be sick of ~**

～にうんざりする

---

② **sore point**

痛いところ、触れられたくない部分

---

③ **bring up ~**

～を（話題に）持ち出す

---

④ **onstage**

ステージ上の、舞台の

---

⑤ **loyal**

忠誠心の強い、義理堅い

---

⑥ **the thing**

要点、特徴

---

⑦ **on the whole**

全体的に見ると

---

⑧ **smart**

賢明な、頭のいい

---

⑨ **open-minded**

開放的な、視野の広い、偏見のない

---

⑩ **values**

価値体系、価値観

---





Daniel Craig

Everett Collection/ アフロ







Daniel Craig

“I get a big kick out of Bond movies so I wanna, kind of, leave something to remember.”

「ボンド映画からは素晴らしい刺激を受けるから、記憶に残るようなことをしたいんだ」

Supervising Editor's Comment

始めのうちはゆっくりと話し発音も明瞭だが、徐々に早口になり、話に乗ってきたあたりで、出身地北イングランドの訛りの影響が表れる。can'tがやや「キャント」に近い。すぐ下のSoも[so:]となっている。

[t]が聞こえなくなることも多い。これは、イギリスの大衆的な発音の特徴で、顕著なものは、A lot of them。なお、その次の1〜2行は、かなり音が崩れている。聞き取れなくても落胆は不要だ。

Interview Data	
収録日	2012年11月10日
収録地	ニューヨーク（アメリカ）
スピード	速い
語彙	普通
発音	やや訛りあり

ダニエル・クレイグ  
Daniel Craig  
1968年3月2日、イギリス、チェスター生まれ。舞台、テレビを経て、'92年に映画デビュー。『愛の悪魔／フランシス・ベイコンの歪んだ肖像』（'98）で高い演技力を評価されるとともに、『トゥームレイダー』（'01）や『ロード・トゥ・パーディション』（'02）などの大作にも出演。『007/カジノ・ロワイヤル』（'06）で6代目ジェームズ・ボンドに抜擢され、21世紀のクールなボンド像を見事に作り上げた。ダニエル版ボンドの最新作は『007/スペクター』（'15）。



**Reporter:** How did you prepare, <sup>①</sup>emotionally, to play **●**James Bond **●**for the third time?

**Daniel Craig:** It's a very long process. It's been two years I've been working on this film now. And, er, we <sup>②</sup>sit down and we <sup>③</sup>throw as many talented people into a space, and you <sup>④</sup>shake them around a bit and they <sup>⑤</sup>come up with ideas and I come up with a few ideas and, and <sup>⑥</sup>hopefully that's, sort of, enough to make the movie.

I mean, good writing is <sup>⑦</sup>crucial and I think we had a great <sup>⑧</sup>script here, and a funny, <sup>⑨</sup>lighthearted but, kind of, very serious and dark, everything, it has everything in it. And that really was my dream when we came to make this movie: was to, kind of, put everything in the <sup>⑩</sup>pot because, er, no one told me you couldn't. It, you can't make an action movie and <sup>⑪</sup>have emotion. I mean, I think it's, kind of, part of it. And I think we've got everything we need in this movie.

**Reporter:** And what do you think of Bond's <sup>⑫</sup>vanity? I think <sup>⑬</sup>it's fair to say he's quite vain, isn't he?

**Craig:** He is, but, and that's why there's a, kind of, I like about him — that's what I like about the <sup>⑭</sup>contradiction in that character. ‘Cause he's a <sup>⑮</sup>chauvinist. He <sup>⑯</sup>can't help himself, he's a chauvinist but he loves women.

And I, <sup>⑰</sup>the thing is that, than—hopefully, the attitude towards women has changed since **●**1962, which was 50 years ago for, when **●**Sean Connery, has now changed. We've <sup>⑱</sup>gone through a <sup>⑲</sup>seismic shift. A lot still needs to change, but it has. So it's <sup>⑳</sup>adapting that character, that still existed then, to now — keeping him James Bond, which is that he loves women and he likes to sleep with women and he doesn't <sup>㉑</sup>apologise about it, but also, kind of, adapting and putting him in the real world.

And I think the way that we've done that is to put strong women in front of him. And that, I think is in—an interesting <sup>㉒</sup>dynamic. And I think it's much, it's more modern, er, but it doesn't <sup>㉓</sup>take away from the fact he's still James Bond — when he's still gonna <sup>㉔</sup>go, “Mm, I quite like you.” And it's, kind of, I think ‘cause sex is still part of the story, it's a, kind of, important part of the story.



**Reporter:** ①Overall, what are your main concerns in ②portraying James Bond?

**Craig:** Er, just to make good movies. All I ever wanna do is make a good movie. And I ③get a big kick out of Bond movies so I wanna, kind of, leave something to remember. But, um, it's this thing. You know what I mean, we have ④a roomful of, er, c—⑤incredibly ⑥talented people on a Bond set who are just, you know, who ⑦are set standing there ⑧staring at me, and I'm staring at them and we're going, “Well, what are we gonna do?” And you, kind of, go, “OK . . .”

And you throw ideas and that process is, is so ⑨rewarding and so exciting to do, that I, kind of, you know, you just, um, it's all you can do. It's all you can do. I can't think of a, kind of, a better way of describing it, because it's . . . You, kind of, like, you think about the pressure of, ⑩say, 50 years, or this is the new Bond for the 21st century — you think about all those ⑪external pressures, that'll just ⑫cripple you and you don't wanna be crippled. You wanna be free to, kind of, do what you wanna do.

**Reporter:** But surely you can't really be free, because you're playing this ⑬iconic role. There are some rules that you just can't break, aren't there?

**Craig:** There are rules, there are rules, er, that we come, you, kind of, ⑭come across, kind of, that he's James Bond, er, he can be emotional, but he can't be ⑮that emotional. He can be, you know, there are rules, there are, kind of, ⑯parameters, let's say, better than rules. And you, kind of, ⑰you wanna ⑱fit into those, ‘cause otherwise it ⑲ceases to become a Bond movie. It stops it, because you're just ⑳picking up any other movie, and it has to be a Bond movie.

So, there are moments where you have to remind . . . And I think, you know, ㉑Thomas Newman's done such a great ㉒score and he reminds us that it's a Bond movie, you know, er, ㉓partway through, and with the music. And it's like those things are, kind of, important. So it's not like you're just free to just get, do whatever you want.



**Reporter:** Do you enjoy wearing the ①fitted suits or do you just take them off as soon as you can?

**Craig:** No, I love it. There was a great story — the designer of, um, um, I think it was ②*Goldfinger* who told Sean Connery to take the suit and go home and sleep in it. And it's true with a really good suit. I mean, it's ③absolutely true. If you actually do sleep in it, which I ④happen to do, sleep in mine, ‘cause I go and, sort of, like, go and get 10 minutes on set and ⑤go and ⑥lie down in it. And it kind of gets better. It, sort of, starts to fit you better.

I love ⑦tailoring, I love tailoring. And my grandfather was a tailor, so I, kind of, have little bit of a ⑧fascination about it.

**Reporter:** Do you get to keep the suits you wear ⑨on-screen?

**Craig:** I keep a few. What I'd do was I'd keep them for, as a w—have a collection of suits. Then I'd ⑩give them to charity, so we ⑪raise money for charity. I sign them so I can raise charity m— you know.

**Reporter:** And there was just a big ⑫auction.

**Craig:** There was. Yeah. It's just ⑬fantastic that we raised ⑭a ton of money. I think we raised a million and a half dollars, or something, er, something crazy. So, it was, er, a really successful evening.



**Reporter:** The role of James Bond must require you to <sup>①</sup>stay in pretty good shape. Do you <sup>②</sup>let yourself go, <sup>③</sup>physically, between movies?

**Craig:** I can't stay in the shape I am when I'm doing a Bond movie. It's impossible. I <sup>④</sup>work out every day and I don't want to work out every day. It's boring, really boring. So, I mean, I work out every day on a Bond set because I've got to. I've gotta <sup>⑤</sup>keep fit, 'cause otherwise I'll get injured. And, so, er, you know, but that's, in real life I don't have to <sup>⑥</sup>jump on the top of trains, much.

**Reporter:** You do your own <sup>⑦</sup>stunts, don't you?

**Craig:** A lot of them, but I don't, I mean, I don't wanna, kind of, <sup>⑧</sup>go around, like, saying, “Yeah, I did my own stunts,” but, I must say I <sup>⑨</sup>literally have a team of people who make me look good.

I mean, it's just like, and I do as much as I can. When you see me there, like I'm on top of the train <sup>⑩</sup>and things, that's me. But then there's other stuff — I don't wanna <sup>⑪</sup>give the secrets away — but it's like there's other stuff which I, just is, one, I would get hurt, if I was doing it, and two, I can't do it. So let's <sup>⑫</sup>get somebody who can in to do it.



**Reporter:** While you were making the film, were you thinking about the <sup>④</sup>significance of the fact that it was the 50th anniversary, or did you just have to <sup>⑥</sup>block that out?

**Craig:** Yeah, I think you do, I mean, you, all you do is you just block it out. You can't think about it. You can't think about, “Oh, well, you know . . .” What I remember saying to <sup>①</sup>Barbara and to <sup>②</sup>Sam and to everybody, and just said, “It's 50 years, we've gotta make the best Bond we can. And to have something that, sort of, really represents and, you know, we can go, ‘<sup>③</sup>Yep, we, kind of, we <sup>⑦</sup>marked it well.’” It would've been a shame, and I think it does <sup>⑧</sup>stand up. I think it's a beautiful movie, so I think it stands up and, er, with the rest of them.

**Reporter:** <sup>①</sup>Are you nervous about what <sup>②</sup>reception the film will get? Do you worry about that?

**Craig:** Of course you do. I mean, you <sup>③</sup>can't not. I mean, that's, the reason we make this movie is for people to go and see it. We don't make it to <sup>④</sup>stick in a box somewhere. It's gotta <sup>⑤</sup>go out there and people have gotta watch it.

So, I get, you know, nervous and just want, you know, I obviously I want there to be a good reaction. But, <sup>⑥</sup>at this stage, there's nothing I can do. I mean, I've done all I can. I've worked <sup>⑦</sup>as hard as I possibly could and we all did, as, worked as hard as we possibly could. So now it's just a question of seeing what happens.

translation ▶

*Coordinated by Jordan Riefe  
Narrated by Peter von Gomm*



# 矛盾するキャラクターの魅力

DL Track25

記者：3度目のジェームズ・ボンドを演じるに当たり、どのような心の準備をしましたか？

ダニエル・クレイグ： 非常に時間のかかるプロセスなんです。私はこの作品に、もう2年も取り組んできました。私たちはじつくりと腰を据えて、（できる限り）大勢の才能ある人々を一つの場所に放り込み、ちょっと揺さぶりをかけます。すると、その人たちからアイデアが出てきます。私も幾つかアイデアを出します。そして、理想としては、映画を作るにはそれで十分なのです。

つまり、いい脚本が決め手になりますが、この映画には素晴らしい脚本がありました、愉快で軽妙、それでいて非常にシリアスで暗い部分もあり——何もかもですね、何もかもが入っています。ですから、この映画を作ることになったのは、私にとってまさに夢のようなことでした、つまり、いわば何でもかんでも鍋に入れるようなことが。そんなことはできない、と私に言う人もいませんでしたし。アクション映画を作るのに、感情を扱わない、ということはできません。つまり、感情もその一部だと思うのです。それで、この映画には必要なものをすべて入れたのです。

記者：では、ボンドの虚栄心についてはどう思われますか？ 思うに、彼はかなりの自信家と言っていていいですよね？

クレイグ：そうですね、ただ、だからこそ、それがあるから、私は彼が好きなんです——そこが好きなんです、あのキャラクターの中の矛盾が。というのも、彼は男性優位主義者です。彼自身にもどうにもできない男性優位主義者ですが、それでいて彼は、女性が大好きです。

それが、実際のところ——そうなれば、というところもありますが、50年前の1962年、ショーン・コネリーの時から、（社会の）女性に対する態度は変わり続けてきました、今では変わりました。激震に近い大転換を経てきたのです。まだこれから変わらなければならないことも多々ありますが、変化もしています。その変化によってこのキャラクターに改変が加わっていますが、当時から存在し今に至るもの——彼をジェームズ・ボンドたらしめている、女好きで、女性と寝るのも好きで、それについて言い訳しない——そうしたものがあります。その一方で（今の）現実世界に合うように改変もしているのです。

思うに、そのためにわれわれが取った方法は、彼の前に強い女性たちを置くことでした。そして、それは興味深い原動力だと思います。はるかに現代的になったとは思いますが、それでもなお、彼がジェームズ・ボンドだという事実が失われることはありません——相変わらず「ねえ、君、いいね」と言いそうなところは。そしてまあ、セックスは相変わらずストーリーに含まれていますから。ストーリーの重要な部分を占めていますよ。

【原文】▶



# 素晴らしい映画を作る

 DL Track24

記者：総合的に見て、ジェームズ・ボンドの役作りでいちばん気を付けたことは何ですか？

クレイグ：いい映画を作ることだけです。私がこれまでずっと目指してきたのは、いい映画を作ることです。そして、ボンド映画からは素晴らしい刺激を受けますから、私は、何とというか、記憶に残るようなことがしたいのです。ただ、つまりこうです。わかっていただけるでしょうか、つまり、ボンド映画の撮影現場では、信じられないほどの才能を持った人たちがあふれんばかりにいて、準備万端で待機して私を見詰め、私の方も彼らを見詰めて、「さあ、これからどうする？」となります。そして「よし……」という感じです。

そしてアイデアを出し合うのですが、そのプロセスはとても得るものが多く、非常に刺激的なやりとりで、何とというか、持っている力の全部を出します。力を出し尽くします。もつとうまい言い方が思い付かないのですが、何しろ……。いわば、まあ、例えば50周年だとか、これが21世紀の新しいボンドだとかいう、プレッシャーのことを考えると——こうした外部からのプレッシャーを考えると、そのせいで自由な動きが妨げられてしまいそうですが、妨げられたくはありませんよね。自由でいたいものです、やりたいことができるように。

記者：ですが、きつと、完全に自由ではいられませんよね、何しろ、あなたが演じているのは、伝説的な役柄なのですから。破つてはいけないルールがあるのでしょうか？

クレイグ：ルールはあります、立ちはだかるルール、いわば、彼がジェームズ・ボンドたり得るというルールが。ボンドは、感情的になるのは構わないけれど、感情にとらわれてはいけません。彼に許されるのは、その、ルールがあつて、何とというか、許容範囲、という言い方をしましょう、ルールよりもいいので。そこで、その範囲内に収まらないといけません、そうでないとボンド映画ではなくなってしまうからです。もはやボンド映画ではなく、何かほかの映画を（選んで）やっていることになってしまいますが、これはボンド映画でなくてはいけないのです。

ですから、（自分に）思い出させなければならぬときもありますね——その点、トーマス・ニューマンが素晴らしい音楽を付けて、これがボンド映画であることをわれわれに思い出させてくれていると思います、ほら、作中、音楽の力で。つまり、こうしたことが重要なのです。ですから、ただ自由に好きなことが何でもできるというわけではありません。

【原文】▶



# 仕立てられたスーツへの思い入れ

 DL Track25

記者：体に合わせて仕立てられたスーツを着るのは、気分がいいものですか、それとも、早々に脱いでしまいますか？

クレイグ：いえ、とても気に入っています。素晴らしいエピソードがあつて——『ゴールドフィンガー』のデザイナーだったと思いますが、ショーン・コネリーに、スーツを家に持ち帰って、着て寝るようにと言ったそうです。そして、本当にいいスーツだと確かにそうなんです。つまり、まったくそのとおりです。実際にそれを着て寝ると、私も自分のスーツで寝ることがありますが、というのもまあ、撮影現場で10分時間が空いたら、服のまま横になりに行くので。そうするとしっくりしてきます。何というか、体になじんでくるのです。

仕立服は大好きです、仕立服は大好きですよ。祖父が仕立職人だったので、私もちょっとばかり特別な思い入れがあります。

記者： 作品の中で着用した衣装は、手元に置いておくのですか？

クレイグ：数着は持っています。どうするかというと、取っておいて、衣装が手元に集まったら、チャリティーに出します、お金にして寄付します。サインをすると、チャリティーでお金が集まりますからね。

記者： そういえば、盛大なオークションが、ちょうど開催されましたね。

クレイグ：ありました。ええ。多額のお金が集まったのは実に素晴らしいことです。確か（全体で）150万ドルくらいの、途方もない収益があつたと思います。そんなわけで、大盛況な夜でした。

【原文】▶



# ボンドを演じるための体形

1DL 1Track26

記者：ジェームズ・ボンド役は、かなり、体形を保つことが要求されるはずです。映画撮影のない時期は、体形へのこだわりは忘れて過ごすのでしょうか？

クレイグ：ボンド映画を撮影しているときの体形を（常に）保つことはできません。不可能です。トレーニングは毎日していますが、毎日のトレーニングは嫌いです。退屈なんです、実に退屈です。ですから、つまり、ボンド映画の撮影現場では必要に駆られて、毎日、運動しているんですよ。体を鍛えておく必要があるのです、でないと、けがをしてしまうでしょうから。ですから、ほら、でも、実生活では列車の屋根に飛び乗る必要は、あまりありませんからね。

記者：スタントシーンは、ご自身で演じられていますよね。

クレイグ：かなりの部分はね。でもしませんよ、つまり、「ええ、スタントシーンは自分でやりました」なんて、吹聴するつもりはありません。でも、実際に、私がうまく映るようにしてくれる人たちがいるということは、言っておかないとならないでしょう。

その、言ってみれば、私も自分でできる限りのことをします。私の姿が（スクリーンで）はつきり見えるとき、例えば列車の屋根の上にいるときなどは、それは私本人です。ですが、そうもいかないこともあつて――秘密を明かしたくはないのですが――そうもいかないことがあつて、それは、1つ目は、私がやるとけがをしそうな場合、2つ目は、私にはできない場合です。それなら、できる人を連れてこよう、というわけです。

【原文】▶



# 観客の反応を見守る

 DL  Track27

記者：この作品の撮影中、シリーズ50周年であるという事実の重さを考えていましたか、それとも、それを考えないようにする必要がありましたか？

クレイグ：ええ、考えないようにします。つまり、締め出すしかないんです。考えてはいけません。「ああ、そうだ、ほら……」とは、考えてはいけないのです。バーバラやサムや皆に言った記憶があります、これだけは言いました、「50周年だ。僕らが作り得る限り最高のボンド（映画）にしなくては。そして、まさに代表作になる作品を作り、『うん、きちんと50周年を祝えた』と言えるようにしなくては」と。（でなければ）恥ずかしいことになったでしょうからね。この映画は、堂々とした出来だと思います。美しい作品だと思いますし、シリーズのほかの作品と、堂々と肩を並べていると思います。

記者：この作品がどんな評判を取るか、気になりますか？　そういったことを心配しますか？

クレイグ：もちろんします。だって、せずにはいられませんよ。つまり、この映画を作る理由は、皆さんに見に来てもらうためです。どこかの箱にしまい込んでおくために作るわけではありません。公開して皆さんに見てもらわなくてはなりません。

ですから気にしますし、当然、いい反応を得ることを願います。ただ、この段階では、私にできることは何もありません。つまり、できるだけことはやり終えたのです。私も全力で頑張りましたし、全員が全力で頑張りました。ですから今は、状況を見守るだけです。

【原文】▶



## Vocabulary List

### A

---

- absolutely** まったく、絶対に
- adapt** 脚色する、順応させる
- as ~ as one possibly can** できる限り～
- auction** オークション

### B

---

- be nervous about ~** ～に神経質になる、～を気にする
- block ~ out** ～を遮断する、～が意識に入ってこないようにする

### C

---

- can't help oneself** 自分を抑えられない、自分ではどうにもできない
- cease to do** ～するのをやめる
- chauvinist** （特定の集団・性差別などに関する）熱狂的な主張者、（熱狂的な）愛国主義者
- come across ~** ～に遭遇する
- come up with ~** ～を思い付く
- contradiction** 矛盾
- cripple** 手足の自由を奪う、（活動や機能などを）損なう
- crucial** 極めて重要な、命運を左右する

### D

---

- dynamic** 力、原動力

### E

---

- emotionally** 感情的に、心情的に

### F

---

- fantastic** 素晴らしい、夢のような
- fascination** 魅了、強い興味
- fit into ~** ～に適合する、～に収まる

### G

---

- get ~ in** ～を呼ぶ、～に来てもらう
- give ~ away** ～（情報）を漏らす、～（秘密）を明かす
- go around doing** ～して回る、あちこちで～する
- go through ~** ～を経る、～を経験する

### H

---

- happen to do** たまたま～する、図らずも～する

### I

---

- iconic** 偶像化された、伝説的な

### K

---

- keep fit** 体調・体形を保つ

### L

---

- let oneself go** 気楽にする、身なりを構うのをやめる
- lie down** 横になる
- lighthearted** 軽妙な、愉快的な

### M

---

- mark** 記念する、（行事を）祝う

### O

---

- overall** 総合的に言えば、概して

### P

---

- physically** 肉体的に、身体的に



□**portray** 表現する、演じる

R

---

□**raise money** 資金を集める、募金活動をする

□**rewarding** 得るものが大きい、やりがいのある

S

---

□**seismic** （変化が）激しい、激震のような ★発音は[sáizmik]

□**significance** 重要性、意義

□**stay in good shape** 体形を保つ、良い体調を保つ

□**stunt** スタント、離れ業、危険な激しいアクション

T

---

□**tailor** 服を仕立てる、服をあつらえる、洋服屋、仕立屋

□**talented** 才能のある、優れた

V

---

□**vanity** 虚栄心、うぬぼれの強さ

W

---

□**work out** 運動する、体を鍛える



# 理解度チェック

インタビューの内容に一致するものは○Yes、一致しないものは○Noを選びましょう。

※質問の難易度の表示は、A=やさしい、B=普通、C=難しい、を表します

目標正答数 初級レベル：3問以上 中級レベル：6問以上 上級レベル：8問以上

Questions		難易度	Yes	No
1	ダニエル・クレイグは、ジェームズ・ボンドに2年間取り組んできた、と述べている。	B		
2	クレイグは、ボンドの嫌いなところは、虚栄心が強いところだ、と言っている。	A		
3	クレイグによると、ボンドに強い女性キャラクターを組み合わせることで、ボンド役は現代的になってきている。	C		
4	クレイグがボンドの役作りで目指しているのは、良い映画を作ることに尽きる。	A		
5	外部からのプレッシャーは映画製作にプラスに働くとクレイグは思っている。	C		
6	クレイグは、ボンドの映画を作る際、いかなるルールも許容範囲もない、と語っている。	A		
7	クレイグは、役で仕立服を着ることを楽しんでいる。	A		
8	クレイグは、毎日トレーニングするのは退屈だと思っている。	A		
9	クレイグは、この作品がボンドシリーズの50周年記念作だ、ということを気にし過ぎないようにした。	B		
10	クレイグは、自分がベストを尽くしさえすれば、映画がどのような評判を得ようと関係はない、と語っている。	A		

答え ▶



# 理解度チェック

インタビューの内容に一致するものは○Yes、一致しないものは○Noを選びましょう。

※質問の難易度の表示は、A=やさしい、B=普通、C=難しい、を表します

目標正答数 初級レベル：3問以上 中級レベル：6問以上 上級レベル：8問以上

Questions		難易度	Yes	No
1	ダニエル・クレイグは、ジェームズ・ボンドに2年間取り組んできた、と述べている。	B		
2	クレイグは、ボンドの嫌いなところは、虚栄心が強いところだ、と言っている。	A		
3	クレイグによると、ボンドに強い女性キャラクターを組み合わせることで、ボンド役は現代的になってきている。	C		
4	クレイグがボンドの役作りで目指しているのは、良い映画を作ることに尽きる。	A		
5	外部からのプレッシャーは映画製作にプラスに働くとクレイグは思っている。	C		
6	クレイグは、ボンドの映画を作る際、いかなるルールも許容範囲もない、と語っている。	A		
7	クレイグは、役で仕立服を着ることを楽しんでいる。	A		
8	クレイグは、毎日トレーニングするのは退屈だと思っている。	A		
9	クレイグは、この作品がボンドシリーズの50周年記念作だ、ということを気にし過ぎないようにした。	B		
10	クレイグは、自分がベストを尽くしさえすれば、映画がどのような評判を得ようと関係はない、と語っている。	A		



## ①James Bond

ジェームズ・ボンド ★映画「007」シリーズの主人公で、イギリスの諜報機関MI6のスパイ。

---

## ②for the third time

★クレイグは『007/カジノ・ロワイヤル』（2006）から6代目ボンドを演じており、このインタビューでは「007」シリーズ生誕50周年、ダニエル版ボンドの3作目となった『007/スカイフォール』（2012年。イギリス・アメリカ映画）について語っている。本作はアカデミー賞、英国アカデミー賞ともに複数部門で受賞、シリーズとしての快挙を遂げた。

---

## ①1962

★シリーズ第1作『007/ドクター・ノオ』（公開時の邦題は『007は殺しの番号』）が公開された年を指す。

---

## ②Sean Connery

ショーン・コネリー ★（1930- ）。初代ボンドを演じた、イギリス、スコットランド出身の俳優。

---



## ① Thomas Newman

トーマス・ニューマン ★（1955- ）。アメリカの作曲家。『ショーシャンクの空に』（'94）、『アメリカン・ビューティー』（'99）などで、たびたびアカデミー賞作曲賞や音楽賞にノミネートされ、本作では英国アカデミー賞作曲賞を受賞した。

---



## ① *Goldfinger*

『007/ゴールドフィンガー』 ★（1964）。ショーン・コネリー主演の「007」シリーズ第3作。

---



①Barbara (Broccoli)

バーバラ（・ブロッコリ） ★（1960- ） 。本作の共同プロデューサー。本作で英国アカデミー賞作品賞を受賞した。シリーズ第1作からのプロデューサーであった故アルバート・ブロッコリの娘。

②Sam (Mendes)

サム・メンデス ★（1965- ） 。イギリスの映画監督。本作の監督で、代表作は、アカデミー賞で監督賞を含む5部門を受賞した『アメリカン・ビューティー』（'99）、『ロード・トゥ・パーディション』（2002）など。



①emotionally

感情的に、心情的に

②sit down and do

腰を落ち着けて～する、じっくり～に取り組む

③throw A into B

AをBに投げ込む ★ここでは、比喩的に使われている。

④shake ~ around

～を振り回す、～を揺さぶる

⑤come up with ~

～を思い付く

⑥hopefully

願わくば、希望としては

⑦crucial

極めて重要な、命運を左右する

⑧script

脚本、台本

⑨lighthearted

軽妙な、愉快的な

⑩pot

深鍋 ★③同様、比喩的表現。

⑪have emotion

★ not have emotion、またはhave no emotionという意図だと思われる。

⑫vanity

虚栄心、うぬぼれの強さ ★次行のvainは形容詞で「虚栄心の強い、うぬぼれの強い」の意。

⑬it's fair to say . . .

.....と言って間違いない、.....と言えるだろう

①contradiction

矛盾

②chauvinist

（特定の集団・性差別などに関する）熱狂的な主張者、（熱狂的な）愛国主義者 ★発音は[ˈʃəʊvənɪst]。ここでは、male chauvinist（男性優位主義者）の意味だと思われる。



### ③can't help oneself

自分を抑えられない、自分ではどうにもできない

---

### ④the thing is . . .

大事なことは.....、実際のところ.....

---

### ⑤go through ~

~を経る、~を経験する

---

### ⑥seismic

(変化が) 激しい、激震のような ★発音は[sáizmik]。

---

### ⑦adapt

脚色する、順応させる

---

### ⑧apologise

★アメリカ式つづりはapologize。

---

### ⑨dynamic

力、原動力

---

### ⑩take away from ~

~(評判など)を傷つける、~の効果を減じる

---

### ⑪go

言う

---



① **overall**

総合的に言えば、概して

② **portray**

表現する、演じる

③ **get a kick out of ~**

～から特別の刺激を得る、～に大きな喜びを感じる

④ **a roomful of ~**

部屋いっぱいの～

⑤ **incredibly**

信じられないほど、素晴らしく

⑥ **talented**

才能のある、優れた

⑦ **be set**

準備ができている

⑧ **stare at ~**

～を凝視する、～を見詰める

⑨ **rewarding**

得るものが大きい、やりがいのある

⑩ **say**

言ってみれば、例えば、まあ

⑪ **external pressure**

外圧

⑫ **cripple**

手足の自由を奪う、（活動や機能などを）損なう

① **iconic**

偶像化された、伝説的な

② **come across ~**

～に遭遇する

③ **that**

それほど ★副詞。

④ **parameters**

変動の限界、許容範囲 ★この意味では通例、複数形。



⑤ **you wanna do**

～しなければいけない

---

⑥ **fit into ~**

～に適合する、～に収まる

---

⑦ **cease to do**

～するのをやめる

---

⑧ **picking up**

★choosing（選ぶ）の意味で言っていると思われる。

---

⑨ **score**

映画音楽、楽譜

---

⑩ **partway through**

途中で

---



### ⑪fitted

体に合わせて仕立てられた、体にぴったり合った

### ①absolutely

まったく、絶対に

### ②happen to do

たまたま～する、図らずも～する

### ③go and do

～しに行く

### ④lie down

横になる

### ⑤tailor

服を仕立てる、服をあつらえる ★次の文のa tailorは名詞で「洋服屋、仕立屋」の意。

### ⑥fascination

魅了、強い興味

### ⑦on-screen

画面上で、（映画の）作品の中で

### ⑧give ~ to charity

～を寄付する ★charityは、「施し物、慈善基金・団体」の意。

### ⑨raise money

資金を集める、募金活動をする

### ⑩auction

オークション ★「007」シリーズ公開50周年記念日に当たる2012年10月5日にオークションが開かれ、映画で使用された衣装や小道具など、50点が出品された。

### ⑪fantastic

素晴らしい、夢のような

### ⑫a ton of ~

大量の～、山ほどの～



### ①stay in good shape

体形を保つ、良い体調を保つ

### ②let oneself go

気楽にする、身なりを構うのをやめる

### ③physically

肉体的に、身体的に

### ④work out

運動する、体を鍛える

### ⑤keep fit

体調・体形を保つ

### ⑥jump on the top of trains

列車の屋根に飛び乗る ★本作冒頭のアクションシーンを指す。

### ⑦stunt

スタント、離れ業、危険な激しいアクション

### ⑧go around doing

～して回る、あちこちで～する

### ⑨literally

本当に、誇張なしに

### ①～ and things

～など

### ②give ～ away

～（情報）を漏らす、～（秘密）を明かす

### ③get ～ in

～を呼ぶ、～に来てもらう



#### ④significance

重要性、意義

#### ⑤block ~ out

～を遮断する、～が意識に入ってこないようにする

#### ⑥yep

★ yes のくだけた言い方。

#### ⑦mark

記念する、（行事を）祝う

#### ⑧stand up

（批評などに）耐え得る

#### ①be nervous about ~

～に神経質になる、～を気にする

#### ②reception

（世間の）反応、評判

#### ③can't not (do)

（～）せずにいられない、（～）するしかない ★口語的用法。

#### ④stick

置く、入れる

#### ⑤go out there

外に出る、日の目を見る、公開される

#### ⑥at this stage

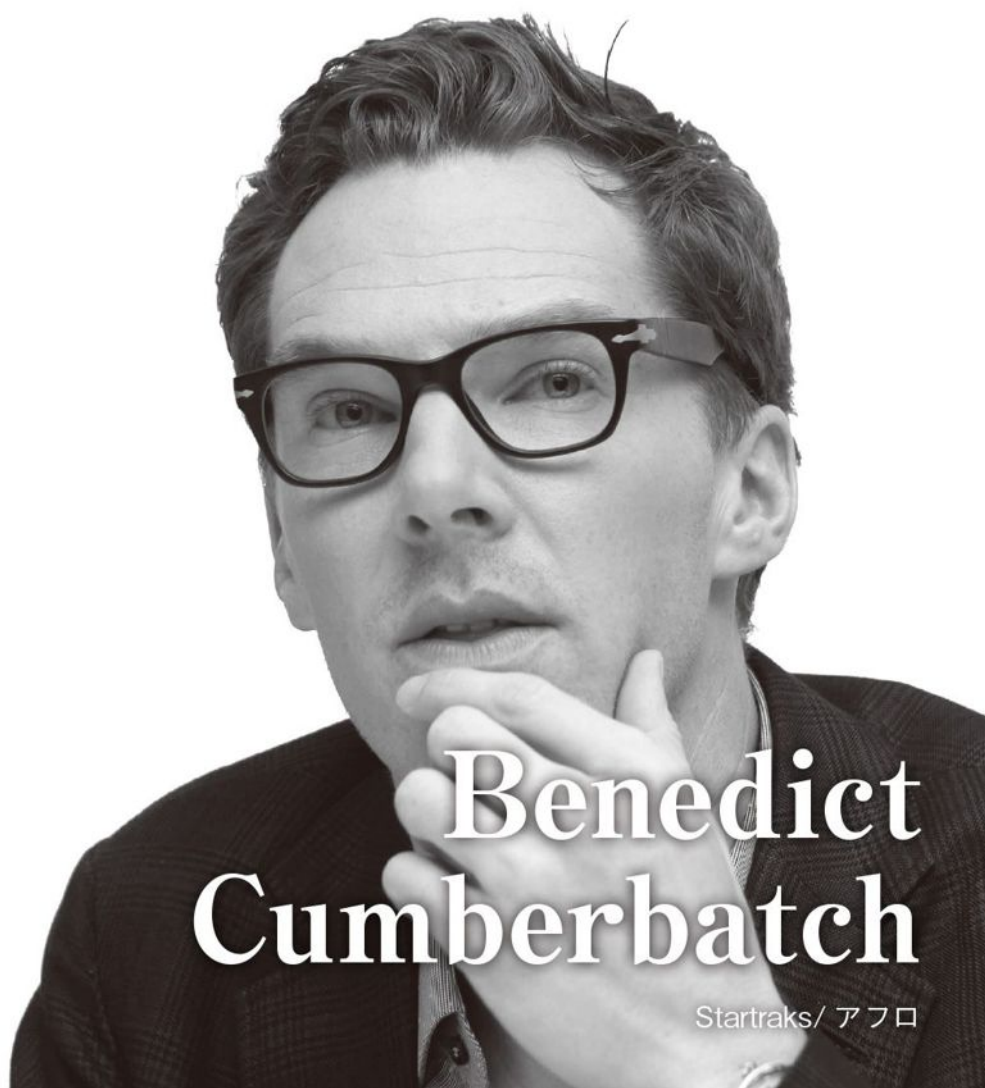
この段階で、この局面で

#### ⑦as ~ as one possibly can

できる限り～

※公開インタビューのため、当事者以外の音声が入っている箇所がございます。悪しからずご了承ください。





# Benedict Cumberbatch

Startraks/ アフロ







Benedict Cumberbatch

“There's a lot that I can use that's modern that's gonna make it feel as if it is a fresh take on Holmes.”

「ホームズに新しい解釈を施したように見える現代的な要素を、いろいろ取り入れることはできるんです」

Supervising Editor's Comment

    訛りのない、落ち着いた話しぶりだ。つぶやくような話し方だが、聞き取りにくいというわけではない。ただ、話す内容に抽象的・理念的な部分が多く、文も複雑だ。中には、本人も収拾できないような、混乱した構文の個所もある。そのため、聞いてもぴんとこないかもしれない。内容をしっかり把握するには、日本語訳とスクリプトの助けが必要だろう。

Interview Data	
収録日	2012年5月15日
収録地	ロサンゼルス（アメリカ）
スピード	速い
語彙	難しい
発音	明瞭

ベネディクト・カンバーバッチ

**Benedict Cumberbatch**

1976年7月19日、イギリス、ロンドン生まれ。両親は俳優。マンチェスター大学、ロンドン音楽演劇アカデミーで演劇を学ぶ。2006年に映画デビューし、『ブーリン家の姉妹』（'08）などに出演。BBCのTVドラマ「SHERLOCK/シャーロック」（'10）の現代版ホームズ役で大ブレイク、一気に知名度を上げる。『イミテーション・ゲーム／エニグマと天才数学者の秘密』（'14）でアカデミー賞主演男優賞にノミネートされた。



●Jesse Thorn: ●Sherlock Holmes has been in hundreds of films and television . . .

Benedict Cumberbatch: Yeah.

Thorn: . . . ①programmes, ②portrayed by dozens of actors. And when you auditioned for this role, how can you do anything that's not just a ③pastiche of your ideas of what this guy is? How do you find something that's actual in that?

Cumberbatch: That's a good question. Um, well, what did I do? I saw the strengths of their ④script. I saw what they were wanting to ⑤bring to life. But yeah, you're entering a ⑥pantheon of, what, 70<sup>⑦</sup>-plus actors have already ⑧trodden in the footsteps, but you can't—you just ⑨disassociate with all that.

It's a little bit like going for any audition. You walk into the room, and you forget the fact that you've just left a waiting room with five other people who are ⑩equally, if not better, suited for the part than you. And you think, “I'm the only person they're seeing today, and that's all that matters, is what happens now.” ‘Cause you can't ⑪take on that ⑫baggage.

Er, you know, any level of performance and ⑬craft in the ⑭performing arts is about being present in the moment. And I think while there are some ⑮massive technical, er, things to master with Holmes — ⑯feats of memory and ⑰line learning, which I always struggle with, and the physical ⑱technicalities of ⑲hitting a mark, speaking at that pace and the ⑳alacrity of his movement and, as well as his ㉑intellect. You know, all of that requires a certain amount of technical skill — but you still, the best ㉒takes, the ones that ㉓work, are the ones where you, y—that just ㉔happens. And it's there, and it's a ㉕given and something fresh occurs.

㉖Christ, I mean, we had a bit of a blank ㉗canvas with this one. It's 21st century after all, and while m—Holmes is a modern man and was, you know, ㉘up to his eyeballs in ㉙cutting-edge, um, science and, um, the ㉚burgeoning technology of, er, ●criminal pathology in ㉛his original state, you know, there's a lot that I can use that's modern that's gonna make it feel ㉜as if it is ㉝a fresh take on Holmes.

And also, I think what they thought I'd ㉞lend to it — which is true, because of the way I look and I have ㉟a high neck and, you know, have done stuff in ㊱period costumes before — is that, you know, I've got a slightly old-world, old ㊲soul, ㊳otherworldly quality. Which, sort of, ㊴marries that ㊵junction between someone who is ●Victorian — who we are ㊶honouring as a Victorian hero even though he's ㊷playing with an iPhone and ㊸surfing the Net and, you know, performing a million sort of, social and modern media functions ㊹in the blink of an eye.

I guess ㊺that was it, really. I guess that was it. It was just going in with confidence — the confidence that that character required, and the script, and the ㊻updating of it required.



**Thorn:** The confidence of Sherlock Holmes is more than just confidence. It comes from the fact that he ④essentially lives in a different world than everyone else who surrounds him. Even ⑤the person that he ⑥relates to most, which is ⑦Dr Watson, he still is in his own world. And his confidence is really just a matter of almost ⑦floating above, or ⑧dazzling above, everyone else. It's like a crazy, ⑨headlong dash through space.

**Cumberbatch:** Yeah. It is. It's something, sort of, slightly other than human. I mean, what it is really is that he's making ⑩synaptical connections faster than we can think, but he's ⑪verbalising them at the same time. So he is speaking at a, at the speed of thought, which is pretty ⑫daunting to most people, ⑬let alone that he can ⑭structure language around it to communicate in it, explain it.

And I think what he ①ciphers out of his life, much ②to the cost . . . and that's a lot of what, um, ③this second series, the story arc of, of his ④development is — is these ⑤obstructions, as he sees them, to being ⑥robotic in his ability to solve things logically, and have control and power through being able to organise and understand the world logically.

And what he achieves, Sherlock, is almost ⑦superhuman, but, actually, what I love about him as a hero is the fact that it's achievable. It was based on ⑧a doctor that ⑨Conan Doyle knew, who formed these massive, well, ⑩narratives, really, out of ⑪sporadic detail that were ⑫sewn together to form fact, of ⑬deduction, to ⑭bring together a point of view, or an understanding.

You know, an A-to-B ①commute with Sherlock Holmes in London is suddenly a ②pop-up book of adventure and possibility. It's, he turns the world into something rich with narrative. And that's why he ③works. That's why he still works. That's why ④story writers love to use him, because he's a gift to story writers. He carries around so many stories in what he sees.

What I do like about the superhuman quality is, actually, in a ⑤weird way, ⑥a) how being human is his ⑦gravity. And, actually, what I think this series is also about is, is discovering that's a strength — that feelings, emotions, things that he has ⑧ostracised himself from in order to protect, maintain and master this cold, ⑨calculating, logical machine that he wants to be, are actually sources of strength for that cold, calculating, logical machine. Because he still has to have an understanding of ⑩humanity in order to control it or save it, or whatever it is that he, he is, er, as an ⑪ego wants to achieve.



**Thorn:** One of the things that I found the most <sup>③</sup>compelling about the relationship between Watson and Holmes is that Watson, as, as portrayed by <sup>●</sup>Martin Freeman, is a <sup>④</sup>veteran. He's an army doctor . . .

**Cumberbatch:** Yes.

**Thorn:** . . . as in the stories.

**Cumberbatch:** Yeah.

**Thorn:** And he's struggling with <sup>●</sup>post-traumatic stress disorder, post-traumatic stress syndrome.

**Cumberbatch:** Yeah.

**Thorn:** And watching these two characters who, each in their own way, are struggling to find a way to relate to each other . . .

**Cumberbatch:** Mm.

**Thorn:** . . . and to the world, . . .

**Cumberbatch:** Mm.

**Thorn:** . . . um, is . . .

**Cumberbatch:** It's kind of <sup>①</sup>moving, isn't it? I mean, it's kind of moving. I, I agree with, I think, what you, you were pointing out, which is that they are two men trying to find a <sup>②</sup>context in society. And both have — er, one through something <sup>③</sup>imposed, I guess, by the <sup>④</sup>trauma of being in, in the <sup>⑤</sup>theatre of war and the other self-imposed — have these <sup>⑥</sup>elements that make them both <sup>⑦</sup>outsiders. So they find a community with each other and a source of strength from each other. And that's very <sup>⑧</sup>touching to me.

And, I think, you know, an awful lot of people <sup>①</sup>coming back from service in <sup>●</sup>the wars that we're fighting at the moment and have been fighting over the last 10 years, have a huge problem with <sup>②</sup>assimilating back into a society that views them as doing a necessary job but is a little bit <sup>③</sup>off-put by the idea that, you know, they might've killed people or experienced things which are <sup>④</sup>beyond their understanding, and, you know, w—was it really a legal war, and all the politics that confuse the basic pure fact of being a soldier, which is just — well, from my point of view — <sup>⑤</sup>unfathomably hard. I don't know how people do it.

And people talk about <sup>⑥</sup>heroics and lists of people and all sorts of nonsense which is going on at the moment with me. And I, I just think it's <sup>⑦</sup>embarrassing. Because you think of the people who deliver our security — whether they're fighting abroad, whether they're <sup>⑧</sup>policing our borders here, whether people who take care of the elderly, who are single mums, people who are teaching <sup>⑨</sup>the underprivileged in our world, who are <sup>⑩</sup>doctoring areas in the, er, there's a huge body of heroism going on all the time. So, um, it's very nice that we have a character <sup>⑪</sup>that's fully ingrained in that world, and that Sherlock has a real respect and understanding of Watson's military background, er, capabilities.



現代版シャーロック・ホームズ

DL Track29

ジェシー・ソーン：シャーロック・ホームズは、これまで数多くの映画やテレビの.....

ベネディクト・カンバーバッチ：ええ。

ソーン：.....番組に登場して、何十人もの俳優が演じてきました。では、この役のオーディションを受けるに当たって、この人物像についてのよくあるイメージをただなぞる以上のことをするには、どうすればいいのでしょうか？ その中でこれは、というものを、どうつかみ取るのでしょうか？

カンバーバッチ：いいご質問ですね。ええと、何をしたかな。脚本の魅力に目を向けました。彼らは何を具現化させようとしているのかに、目を向けました。でも確かに、ざっと70人以上の俳優たちがこれまで次々と足を踏み入れてきた殿堂に入ろうとしているわけです。でも、自分は——自分は、それら一切から絶縁するのです。

普通のオーディションを受けるのと、似たようなものです。部屋に入っていき、忘れるのです、自分以上ではないとしても、自分と同程度には適役な人がほかに5人いる控え室に、さつきまでいたという事実を。そしてこう考えます、「今日彼ら（審査員）が会うのは僕だけだ、大事なのは、今この場で起こることだけだ」と。そんな重荷は背負い込めませんから。

つまり、舞台芸術におけるどんなレベルの演技や技術も、その時、その場での勝負です。それに、確かに、ホームズを演じるにはマスターしなければいけない技術のようなものがどっさりあります——ずば抜けた記憶力やせりふの暗記、（立ち位置に）びたりと決める動作、あの（速い）スピードで話すこと、それに彼の思考並みに敏 捷 な動きといった、ホームズならではの身体的な約束事——こうしたことにいつも苦闘しています。こうしたことには、ある程度の技術力が要求されるのです——ただ、それでもなお、最高のテイク、うまく撮れたテイクは、その場で自然に生まれるものです。それはそこ（現場）にあつて、天からの授かりもので、これまでになかった何かが起こるのです。

ええと、つまり、この役に関しては、ちょっとした真っ白なキャンバスだったのです。何しろ21世紀を舞台にされていて、ホームズは現代人であり、それに原作でも、最新の科学と、どんどん進化する法医学の技術にどっぷり漬かっていた人物ですから、ホームズに新しい解釈を施したように見せる現代的な要素を、いろいろ取り入れることはできます。

それと、新しいホームズ像になるだろうと期待されたいののが——確かにそうなのですが、僕の容姿からしても、首が長いですし、前にも時代物の衣装を着た役をやったことがありますから——僕にはまあ、ちょっと昔風の、古風な雰囲気、異世界的な風情があるということです。それがどこか、ビクトリア時代の人物（であるホームズ）と融合させる接点になるのです——iPhoneをいじくり、ネットサーフィンをし、ソーシャルで現代的なあらゆる種類のメディア機能を瞬時に操りながらも、ビクトリア時代のヒーローとして私たちがたたえる人物を。

言ってみれば、それがすべてでした、実のところ。それがすべてでしたね。自信を持って（オーディションの部屋に）入っていくだけのことでした——あのキャラクターが求める自信、そして脚本が、新しくなった脚本が求める自信を持って、です。

【原文】▶



# 冷たく、抜け目なく、かつ人を引き付ける

 [DL](#) [Track30](#)

ゾーン：シャーロック・ホームズの自信は、単なる自信を超えています。それは、彼が本質的に、周囲のほかの人々とは違う世界に住んでいることから来ています。最も付き合いの深い人物であるワトソン博士（と一緒にいるとき）であつても、やはり彼は、自分の世界にいます。そして、彼の自信には実際、ほかの皆をほとんど見下ろすほどの高みに浮かび上がり、あるいは高みできrameいているようなところがあります。まるで、常軌を逸した、とんでもない勢いで、宇宙を飛んでいるようです。

カンバーバッチ：そうですね。確かに。どことなく、ちょっと人間離れたところがあります。つまり、実のところ、彼はわれわれの思考能力を超えたスピードで思考しているのですが、同時に彼はそれを言葉にします。つまり、彼は考えるのと同じスピードで話しています。これにたいていの人は圧倒されてしまうのですが、しかも彼は、思考を伝達し説明するための、言葉を組み立てることができるのです。

思うに、彼が大きな代償を払って人生から見出だすのは……それは、この第2シーズンの大きな、彼が成長するストーリー展開の大きな部分を占めるのですが――彼が障害物と見なすようなものののです。論理的に物事を解決する能力を、（頭の中で）世界を論理的にまとめ、理解し得ることで持ち得る統制力と支配力を、ロボットのよう

に発揮する上で妨げとなる。ですが、彼が成し遂げることは、シャーロックは、超人的と言つてもいいのですが、実は、ヒーローたる彼に関して僕が好きな点は、それが現実に可能だということです。モデルとなったのはコナン・ドイルの知り合いの医師で、その人は実際、散在するささいな情報をつなぎ合わせて、推論上の事実を組み上げ、一つの視点、つまり一つの解釈を作り上げて、壮大な物語を作ってみせたのです。

ロンドンのある場所から別の場所への通勤移動も、シャーロック・ホームズと一緒になら、あつという間に冒険と可能性に満ちた飛び出す絵本になります。彼が世界を、物語にあふれた場所に変えるのです。そしてだからこそ、シャーロックは成功するのです。だからこそ、今なお、成功しているのです。だからこそ、作家たちは彼を使いたがります、彼は作家にとって神からの贈り物ですから。彼は、目にするものの中に、実に多くの物語を運んでくるのです。

あの超人的な資質について、私が好きなのは、実は、おかしなことですが、何より、人間であることがいかに彼を魅力的にしているか、ということです。そして、それが力になっているというのを探り出すのが、今シーズンのテーマでもあると思っています――自らそうあろうとしている、冷たく、抜け目のない論理マシンを守り、維持し、制御するために彼が距離を置いてきた感情や情緒が、実はその冷たい論理計算機の力の源である、ということが。なぜなら、彼もやはり人間性を理解する必要があるからです、彼自身の自我が求める何かしらを、コントロールし、セーブするためにも。

[【原文】](#) ▶



# 親愛なるワトソン

 [Track31](#)

ソーン：ワトソンとホームズの関係で、私が最も興味を引かれたことの一つは、マーティン・フリーマン演じるワトソンが退役軍人であることです。彼は陸軍医です.....

カンバーバッチ：はい。

ソーン：.....原作どおりに。

カンバーバッチ：ええ。

ソーン：そして彼は、心的外傷後ストレス障害に苦しんでいます。

カンバーバッチ：はい。

ソーン：この二人を見ていると、二人ともそれぞれの方法で、関わり方を模索して、もがいています、お互いとの関わりや.....

カンバーバッチ：ええ。

ソーン：.....世間との関わりや.....

カンバーバッチ：ええ。

ソーン：.....それで.....

カンバーバッチ：なかなか感動的ですね？　なかなか感動的です。僕も、あなたの指摘なされたことに同意します。つまりこの二人の男性は、社会における立ち位置を見つけようとしているのです。そして二人とも——一人は戦地にいたことでの精神的な傷によって負わされ、もう一人は自ら課しているのですが——どちらも、（社会の）異端児となる要素を持っています。そこで二人は二人で共同体を作り、互いを力の源と見なします。そこに、僕はとても心を動かされるのです。

今この瞬間も戦闘が行われ、この10年にわたって戦ってきた戦争から、任を解かれ帰国している大勢の人たちは、社会に再び溶け込むことに非常な困難を覚えていると思います。社会は彼らを、必要な任務をした人たちと見ながらも、少し敬遠しています。つまり、彼らは人を殺してきたかもしれないし、自分たちにはとても理解できないような経験をしてきたかもしれない、しかも、ほら、あれは法的に正当な戦争だったのか、という思いがあるからです。政治というものが、兵役に就くという基本的で純粋な事実を、混乱させています。それ（兵役に就くこと）はもう——僕にとっては、ですが——計り知れないほど困難なことです。人々がどんなふう to それをこなすのか、僕にはわかりません。

それに、英雄的行為や、一連の（英雄的）人物や、そして、僕の周りで今、起こっているありとあらゆるばかげたことについて、人々はいろいろと話します。これには閉口してしまいます。というのも、僕たちに安全をもたらしてくれる人々のことを考えるなら——国外で戦っている人であろうと、国境を警備している人であろうと、高齢者の介護をする人であろうと、シングルマザーも、同じ世界の恵まれない人々に勉強を教えている人も、地域で医療に従事している人も、おびたしい英雄的行為が、常に行われているのです。ですから、そうした世界にしっかり根差したキャラクターがいることは、そしてシャーロックがワトソンの軍務経験や能力にきちんと敬意を払い、理解していることは、とてもうれしいことです。

【原文】▶



# Vocabulary List

## A

□**a fresh take on** ~    ~（について）の新解釈

## B

- be ingrained in** ~    ~に根付いた、～に深く浸透した
- baggage**    重荷、心理的負担
- beyond one's understanding**    理解を超えた
- bring ~ to life**    ~に命を吹き込む、～を現実のものにする
- bring together** ~    ~をまとめ上げる
- burgeon**    急成長する、急発展する    ★発音は[bé:rdʒən]

## C

- calculating**    計算ずくの、抜け目のない
- commute**    通勤
- compelling**    説得力のある、興味を引き付ける
- context**    文脈、前後のつながり
- craft**    技術、技能

## D

□**development**    進歩、成長

## E

- ego**    自我、自身    ★発音は[i:gou]
- element**    要素、要因
- embarrassing**    気まずい、居心地の悪い、当惑するような

## F

- feat**    妙技、（特別な）技能、芸当
- float**    浮かぶ、漂う

## G

□**given**    天から与えられたもの

## H

□**honour**    称賛する、高く評価する    ★〔米〕honor

## I

- impose**    強要する、強制的に負わせる
- intellect**    知性、思考力
- in the blink of an eye**    一瞬のうちに、あっという間に

## J

□**junction**    分岐点、接点

## L

- lend to** ~    ~に役立つ
- let alone** ~    ~はもとより、ましてや～

## M

- massive**    大量の、多大な
- moving**    心を動かす、感動的な

## N

□**narrative**    物語

## O

- obstruction**    障害（物）、妨害（物）
- otherworldly**    別世界の、異世界の
- outsider**    部外者、異端者



P

---

□**pantheon** 神殿、殿堂

S

---

□**story writer** 小説家、物語作者

□**surf the net** ネットサーフィンする、インターネットであちこち見て回る

□**superhuman** 超人的な

T

---

□**take on ~** ~（重荷など）を背負い込む

□**theatre** （物事が起こっている）舞台、現場、（軍事作戦が展開される）戦域。★〔米〕**theater**

□**the underprivileged** （経済的・社会的に）恵まれない人々

□**touching** 心の琴線に触れる、感動的な

V

---

□**veteran** 退役軍人

W

---

□**weird** 奇妙な、変な

※〔米〕はアメリカ式つづり



# 理解度チェック

インタビューの内容に一致するものは○Yes、一致しないものは○Noを選びましょう。

※質問の難易度の表示は、A=やさしい、B=普通、C=難しい、を表します

目標正答数 初級レベル：3問以上 中級レベル：6問以上 上級レベル：8問以上

Questions		難易度	Yes	No
1	ベネディクト・カンバーバッチは、シャーロック・ホームズのオーディションは他のどのオーディションとも違っていた、と述べている。	A		
2	カンバーバッチにとって、ホームズのせりふを覚えることは努力を要するものである。	B		
3	カンバーバッチは、新しいホームズに見せるために使える現代的な要素はたくさんあった、と語っている。	B		
4	カンバーバッチによると、ホームズは考えるのと同じスピードで話す。	B		
5	カンバーバッチは、ホームズの成し遂げることは超人的過ぎるので親しみを感じていない。	A		
6	カンバーバッチによると、ホームズのモデルは、原作者アーサー・コナン・ドイルの知り合いの私立探偵である。	B		
7	作家たちにとってシャーロック・ホームズは贈り物だ、とカンバーバッチは語っている。	A		
8	カンバーバッチは、ホームズとワトソンが互いに力の源となっていることに心を動かされる、と語っている。	B		
9	カンバーバッチは、戦闘任務を終えて帰国した兵士が社会に再び溶け込む際に直面するであろう困難に思いをはせている。	C		
10	カンバーバッチは、ホームズがワトソンの軍での経験に敬意と理解を示していることに好感を持っている。	B		

答え ▶



理解度チェック

インタビューの内容に一致するものは○Yes、一致しないものは○Noを選びましょう。

※質問の難易度の表示は、A=やさしい、B=普通、C=難しい、を表します

目標正答数 初級レベル：3問以上 中級レベル：6問以上 上級レベル：8問以上

Questions		難易度	Yes	No
1	ベネディクト・カンバーバッチは、シャーロック・ホームズのオーディションは他のどのオーディションとも違っていた、と述べている。	A		
2	カンバーバッチにとって、ホームズのせりふを覚えることは努力を要するものである。	B		
3	カンバーバッチは、新しいホームズに見せるために使える現代的な要素はたくさんあった、と語っている。	B		
4	カンバーバッチによると、ホームズは考えるのと同じスピードで話す。	B		
5	カンバーバッチは、ホームズの成し遂げることは超人的過ぎるので親しみを感じていない。	A		
6	カンバーバッチによると、ホームズのモデルは、原作者アーサー・コナン・ドイルの知り合いの私立探偵である。	B		
7	作家たちにとってシャーロック・ホームズは贈り物だ、とカンバーバッチは語っている。	A		
8	カンバーバッチは、ホームズとワトソンが互いに力の源となっていることに心を動かされる、と語っている。	B		
9	カンバーバッチは、戦闘任務を終えて帰国した兵士が社会に再び溶け込む際に直面するであろう困難に思いをはせている。	C		
10	カンバーバッチは、ホームズがワトソンの軍での経験に敬意と理解を示していることに好感を持っている。	B		



## ① Jesse Thorn

ジェシー・ソーン ★（1981-）。ラジオ番組制作会社Maximum Funが制作する、インタビュー番組*Bullseye*のプレゼンター。

---

## ② Sherlock Holmes

シャーロック・ホームズ ★イギリスの作家アーサー・コナン・ドイルの小説の主人公。カンバーバッチはBBCドラマ「SHERLOCK/シャーロック」で、21世紀に時代を移した現代版ホームズ役を演じている。

---

## ① criminal pathology

法医学 ★正しくはforensic pathology。pathologyは「病理（学）、病状」の意。犯罪捜査に必要な医学的事項を扱う学問分野。ホームズが作中で行う科学的な推理を指している。

---

## ② Victorian

ビクトリア朝の、ビクトリア時代の ★ビクトリア女王がイギリスを統治していた1837～1901年の期間。

---



## ①Dr (John) Watson

(ジョン・) ワトソン博士 ★ホームズのルームメイトで、共に事件捜査に携わる。元軍医。

---

## ②synaptical connection

シナプス結合 ★= synaptic connection。神経細胞同士で情報伝達を行う際の接合を指す。ここでは、make synaptical connections（シナプス結合する）で「神経反射並みの俊敏な思考をする」ことを言っている。

---

## ①this second series

★本ドラマは2010年に放映開始、'15年現在第9シーズンまで制作されているが、このインタビューは、第2シーズンのアメリカでの放映に合わせて行われた。

---

## ②a doctor

★ホームズのモデルとなったのは、ドイル（③参照）の医学部時代の恩師である外科医とされている。

---

## ③(Arthur) Conan Doyle

(アーサー・) コナン・ドイル ★(1859-1930)。イギリスの作家。1887年の『緋色の研究』を皮切りに、シャーロック・ホームズを主人公とした小説シリーズを数多く発表し、現代の推理小説の生みの親とされる。

---



## ①Martin Freeman

マーティン・フリーマン ★（1971- ）。イギリスの俳優。本ドラマのワトソン役で大ブレイクしたほか、映画『銀河ヒッチハイク・ガイド』（2005）や「ホビット」シリーズにも主演している。

---

## ②post-traumatic stress disorder

心的外傷後ストレス障害、PTSD ★生命の危険や著しい精神的苦痛を体験したことが原因で、その体験から時間がたってもストレス性の諸症状が引き起こされる障害。直接のpost-traumatic stress syndrome（心的外傷後ストレス症候群）も同じ。

---

## ①the wars

★イギリスが派兵しているアフガニスタン紛争（2001- ）や、イラク戦争（2003-11）と、その後の内戦などを指す。

---



① **programme**

★イギリス式つづり。アメリカ式はprogram。

② **portray**

描写する、演じる

③ **pastiche**

模倣、（既成作品の要素の）寄せ集め ★発音は[pæstɪs]。

④ **script**

台本、脚本

⑤ **bring ~ to life**

～に命を吹き込む、～を現実のものにする

⑥ **pantheon**

神殿、殿堂

⑦ **-plus**

～以上の、～強の

⑧ **tread in someone's footsteps**

～の後について歩く、～の先例に倣う ★troddenはtread（踏む、歩く）の過去分詞形。

⑨ **disassociate with ~**

～との関係を絶つ

⑩ **equally, if not better, suited for the part than ~**

★as good (as) if not better than ~（～より優れていると言わないまでも、同じぐらい良い）という定型句の、as good (as)をequally suited for the part（同じぐらい役にふさわしい）に置き換えている。

⑪ **take on ~**

～（重荷など）を背負い込む

⑫ **baggage**

重荷、心理的負担

① **craft**

技術、技能

② **performing art**

舞台芸術

③ **massive**

大量の、多大な



#### ④ feat

妙技、（特別な）技能、芸当

#### ⑤ line

せりふ

#### ⑥ technicality

専門的事項、細かな決まり事 ★行動や話が人並み外れて速い、ホームズの特徴のこと。

#### ⑦ hit a mark

的に当てる、的を射る ★ここでは役者の立ち位置を示すマークを指すとも考えられる。

#### ⑧ alacrity

素早さ、敏捷性

#### ⑨ intellect

知性、思考力

#### ⑩ take

（撮影の）テイク、撮影ショット

#### ⑪ work

うまくいく、功を奏する

#### ⑫ happens

★正しくはhappen。

#### ⑬ given

天から与えられたもの

#### ⑭ Christ

くそつ、ああもう ★いら立ちや驚きを表す間投詞。

#### ⑮ canvas

（絵を描く）カンバス、画布

#### ⑯ up to one's eyeballs in ~

～にどっぷり漬かって

#### ⑰ cutting-edge

最先端の、最新鋭の

#### ⑱ burgeon

急成長する、急発展する ★発音は[bˠɜːdʒən]。

#### ⑲ his original state

彼のももとの状態 ★原作のホームズを指す。



## ㉔as if . . .

まるで.....かのように

## ㉕a fresh take on ~

～（について）の新解釈

## ㉖lend to ~

～に役立つ ★直後のitは、直前の文のa fresh take on Holmesを指す。

## ㉗a high neck

★通常はa long neck。high-neckedは「（衣服などが）ハイネックの」の意。

## ㉘period costume

時代を再現した衣装 ★カンバーバッチは舞台の古典劇の経験が多く、歴史ドラマや歴史映画にも出演している。

## ㉙soul

魂、精神 ★ここでは「存在感、雰囲気」といった意味。

## ㉚otherworldly

別世界の、異世界の

## ㉛marry

結合させる

## ㉜junction

分岐点、接点

## ㉝honour

称賛する、高く評価する ★アメリカ式つづりはhonor。

## ㉞play with ~

～をもてあそぶ、～をいじる

## ㉟surf the net

ネットサーフィンする、インターネットであちこち見て回る

## ①in the blink of an eye

一瞬のうちに、あっという間に

## ②that's it

それがすべてだ、それだけのことだ ★ここでは過去形で使われている。

## ③updating

（情報の）更新 ★ここでは、ビクトリア朝を背景とする原作の舞台を21世紀に移すこと。



#### ④essentially

本質的に、本来

#### ⑤the person

★正しくは、with the person。

#### ⑥relate to ~

～と関わりを持つ、～と付き合う

#### ⑦float

浮かぶ、漂う

#### ⑧dazzle

（目がくらむような光で）きらきらと輝く

#### ⑨headlong

真っ逆さまの、向こう見ずな

#### ⑩verbalise

言語化する、口に出して言う ★アメリカ式つづりはverbalize。

#### ⑪daunting

圧倒するような、ひるませるような

#### ⑫let alone ~

～はもとより、ましてや～

#### ⑬structure

構築する

#### ①cipher ~

～を解く、～を暗号化する ★ここでは「（人生から）導き出す」といった意味で使っていると思われる。発音は[sáɪfə]。

#### ②to the cost

代償を払って

#### ③arc

弧、（ストーリーの）展開、進展

#### ④development

進歩、成長

#### ⑤obstruction

障害（物）、妨害（物）

#### ⑥robotic

ロボットのよう



## ⑦superhuman

超人的な

## ⑧narrative

物語

## ⑨sporadic

散発的な、散在する

## ⑩sew together ~

～を縫い合わせる ★sewの発音は[sóu]。sewnはsewの過去分詞形。

## ⑪deduction

えんえき  
演繹、推論

## ⑫bring together ~

～をまとめ上げる

## ⑬commute

通勤

## ⑭pop-up book

飛び出す絵本

## ⑮work

★「成功する、うまくいく」といった意味で、次行のworkも同じ。

## ⑯story writer

小説家、物語作者

## ⑰weird

奇妙な、変な

## ⑱a)

★リストを読み上げるイメージで、「まず何よりも」という意味で使っている。

## ⑲gravity

引力、引き付ける魅力

## ⑳ostracise

疎外する、仲間はずれにする ★アメリカ式つづりはostracize。

## ㉑calculating

計算ずくの、抜け目のない

## ①humanity

人間性



## ②ego

自我、自身 ★発音は[i:gou]。



### ③ **compelling**

説得力のある、興味を引き付ける

### ④ **veteran**

退役軍人 ★ワトソンは、原作でも本ドラマでも、元陸軍医という設定になっている。

### ① **moving**

心を動かす、感動的な

### ② **context**

文脈、前後のつながり ★ここでは「周囲との関係、（置かれた状況での）立場」という意味で使われている。

### ③ **impose**

強要する、強制的に負わせる

### ④ **trauma**

（心的）外傷

### ⑤ **theatre**

（物事が起こっている）舞台、現場、（軍事作戦が展開される）戦域。アメリカ式つづりはtheater。

### ⑥ **element**

要素、要因

### ⑦ **outsider**

部外者、異端者

### ⑧ **touching**

心の琴線に触れる、感動的な

### ① **come back from service**

兵役から戻る、退役する ★serviceは「軍隊、兵役」の意。

### ② **assimilate into ~**

〜と同化する、〜に順応する

### ③ **off-put**

遠ざけて、不快感を覚えて ★イギリス英語の表現。

### ④ **beyond one's understanding**

理解を超えた

### ⑤ **unfathomably**

計り知れないほど、不可解なほど

### ⑥ **heroics**

英雄的行為 ★heroismは「英雄的なこと、勇敢さ」。



**⑦embarrassing**

気まずい、居心地の悪い、当惑するような

---

**⑧police**

取り締まる、警備する

---

**⑨the underprivileged**

（経済的・社会的に）恵まれない人々

---

**⑩doctor**

治療する

---

**⑪be ingrained in ~**

～に根付いた、～に深く浸透した

---





Keira Knightley

AP / アフロ







破滅愛に生きる悲劇のヒロイン役に挑んだ清純派女優

Keira Knightley

“That's why I'm really interested in playing characters who are perhaps people that when I meet them, I wouldn't like them.”

「だからこそ、とても興味を引かれるの。もし実際に会ったら、好きになれないような人物を演じることに」

Supervising Editor's Comment

姓のKnightleyの-leyは、[ŋ]と発音する。parsley（「パセリ」）などと同様。  
発音は訛りがなく明瞭。ずっと強い調子で話し続けていて、大きな切れ目があまりない。情報の整理ができないと、手ごわい英語だ。  
このインタビューではnaturalisticとstylisedという語が、対をなすキーワードと言える。前者は「演出を加えずリアルに描いて」、後者は「芝居がかった人工的な演出を加えて」という意味。これを理解して聞くと、わかりやすくなる。

Interview Data	
収録日	2012年9月7日
収録地	トロント（カナダ）
スピード	速い
語彙	普通
発音	明瞭

キーラ・ナイトレイ  
Keira Knightley  
1985年3月26日、イギリス、ロンドン生まれ。舞台俳優の父と劇作家の母を持ち、9歳で映画デビュー。『スター・ウォーズ エピソード1』（1999）のパドメ（アミダラ女王）の影武者役でハリウッドに進出、『パイレーツ・オブ・カリビアン／呪われた海賊たち』（2003）のヒロインとして一躍知名度を上げる。『プライドと偏見』（'05）でアカデミー賞主演女優賞に、『つぐない』（'07）でゴールデングローブ賞主演女優賞にノミネートされた。



**Reporter:** As we all know, ①Tolstoy's ②*Anna Karenina* is a true classic, but I understand ③the movie changed drastically from the original concept.

**Keira Knightley:** It's a very ④naturalistic piece. We were gonna ⑤go and do it in ⑥St. Petersburg. It was going to be as close to what was described in the novel as possible, and then it started evolving.

I think ⑦Joe always wanted to make it quite ⑧stylised, and I think as he started researching more into, kind of, Russian society and that, kind of, 18th, 19th century, he, sort of, found out this interesting thing that, you know, the ⑨aristocrats couldn't even speak Russian. They'd speak French or they'd speak Italian.

The, er, design of the cities was based on European designs, so St. Petersburg was based on a, kind of, ⑩Parisian design. The houses, the interior of the houses, would all be French, the clothes were French, a lot of the food was French, but they'd often in the houses have these, kind of, Russian rooms that would be kept completely secret and often behind secret panels that they would never show to anyone else, so almost like this ⑪dirty secret.

So, it was this idea that these people are constantly playing a game, ⑫playing a, a role, and ⑬suppressing this, kind of, this other side of themselves. And, and that ⑭grew into this more stylised version where, “OK, if they're playing a role, then maybe they're on a stage.” So this, kind of, this, sort of, fantastical ⑮stage thing evolved.



**Reporter:** So, did your research for the character of Anna evolve as well, or did you just <sup>①</sup>stick with Tolstoy's novel?

**Knightley:** Well, I think really it was just based on the book, <sup>②</sup>majorly. I read the book and I read <sup>③</sup>Orlando Figes book called <sup>④</sup>*Natasha's Dance*, which is a cultural history of Russia, as well. So, it was based on those two things.

I mean, <sup>⑤</sup>as far as the costumes go, you know, I was working with <sup>⑥</sup>Jacqueline Durran, who designed the clothes for <sup>⑦</sup>*Atonement* and for <sup>⑧</sup>*Pride and Prejudice* before. And she's wonderful because she works . . . A lot of costume designers, kind of, <sup>⑨</sup>go, “This is the concept.” And, as an actor, you, sort of, <sup>⑩</sup>fit yourself into it and you <sup>⑪</sup>try and make it <sup>⑫</sup>make sense. Jacqueline works from a very character <sup>⑬</sup>point of view. So, you go and you meet her and you sit for hours and you just talk about character.

So, with Anna, it was this idea that she's this bird caught in a <sup>⑭</sup>cage. So, we used a lot of <sup>⑮</sup>fur that, it's like she's <sup>⑯</sup>surrounded by death. There were dead birds' wings that, again, can't fly because they're dead. There was the <sup>⑰</sup>veils that are like a cage. There was <sup>⑱</sup>the actual cage of the <sup>⑲</sup>underskirt, of the costume. It's amazing.

And there's, er, like, a lot of <sup>⑳</sup>lingerie, kind of, <sup>㉑</sup>references. So, the dresses were, sort of, kind of, made of fabrics that you might make lingerie from or, like, or bedsheets. So, it was this idea of sex and death being a <sup>㉒</sup>constant the entire time that we, sort of, built up.

Also, the character is incredibly <sup>㉓</sup>vain — you know, if you read the novel, Tolstoy talks about her vanity <sup>㉔</sup>an awful lot — so vanity <sup>㉕</sup>coming into it. So, the look of it, kind of, became incredibly important from that <sup>㉖</sup>standpoint as well.



**Reporter:** The director, Joe Wright, pays <sup>④</sup>tremendous attention to historical detail. For example, there's <sup>●</sup>that little silver box in the bedroom. Does that kind of detail help you?

**Knightley:** I love the detail. I mean, I always love detail. It makes it even more magical. I mean, I think the wonderful thing about doing <sup>①</sup>period pieces is, <sup>②</sup>weirdly, it gives you more freedom <sup>③</sup>as to your <sup>④</sup>interpretation of that <sup>⑤</sup>time period. I mean, particularly with something like this that is stylised anyway. You know, the rules <sup>⑥</sup>go out the window.

If you're doing something modern, we know what our society is. We know what the political situations are. We know how we behave, we know how we dress. It can be quite <sup>⑦</sup>claustrophobic that, strangely.

And I think it's maybe one of the functions of period pieces. You know, I've been asking for years, “Why do I keep going back? <sup>⑧</sup>Why is it that my <sup>⑨</sup>taste likes this? What is it that this <sup>⑩</sup>does for me?” And I think it's that I can <sup>⑪</sup>leave myself behind entirely.

You know, I look at a period film, and I don't judge it with the eyes that I judge everything around me. I leave myself totally behind, and I look at an emotional situation, a human situation, and I see it with a very <sup>⑫</sup>harsh light on it.

So as a <sup>⑬</sup>device, as a <sup>⑭</sup>theatrical or an <sup>⑮</sup>imaginary device, I think that that's kind of what <sup>⑯</sup>costume dramas, <sup>⑰</sup>if you like, or what <sup>⑱</sup>futuristic fantasy films, do — is they actually allow us to look at the human condition in a way that we can't when we <sup>⑲</sup>are simply presented with what we know.

As far as the detail within that, I think that's the lovely <sup>①</sup>bit that <sup>②</sup>comes with it. Where you go, “God, that's a <sup>③</sup>weird box,” or “That's a weird . . .” whatever it is. That's, kind of, the fun stuff that you can <sup>④</sup>put in if it's useful, but you can always <sup>⑤</sup>leave it out because nobody knows, which is quite useful as well, ha-ha.



**Reporter:** Anna and **●**Vronsky <sup>⑥</sup>are both responsible for their <sup>⑦</sup>relationship, but do you think there is equal <sup>⑧</sup>blame?

**Knightley:** I think there's always equal blame. But I think what you're dealing with is emotional <sup>⑨</sup>beings who aren't thinking — who are <sup>⑩</sup>following that emotional line. And, and that's, kind of, what makes humans so interesting. If everybody was <sup>⑪</sup>rational, then sure, we wouldn't make particular choices, but <sup>⑫</sup>we're not.

And this isn't a rational thing. They <sup>⑬</sup>have no choice but to follow this. Yes, one of them <sup>⑭</sup>gets off lighter than the other, as I think happens all the time. But as far as who is more to blame than the other, I'm not sure that blame <sup>⑮</sup>comes into it.

**Reporter:** Were you able to <sup>⑯</sup>empathise with Anna? What sort of person are you in real life?

**Knightley:** I think I'm on a <sup>⑰</sup>journey to try and be more <sup>⑱</sup>empathetic. I don't think we are very empathetic to other people.

You know, and I think that's why I'm really interested in playing characters who are perhaps people that when I meet them, I wouldn't like them because I wouldn't necessarily have empathy to them <sup>⑲</sup>at face value. Like <sup>⑳</sup>neediness, for example, is a very difficult thing to look at in somebody else, and yet it's something that we all feel. We feel alone, therefore we feel needy, you know.

And yet, actually, when you're presented with somebody being needy to you, or on film as Anna Karenina is needy in this, it's actually been one of the things that people find most difficult about the character — is her neediness — and yet it's one of those things that is so completely <sup>㉑</sup>understandable. Am I <sup>㉒</sup>as good a person as to, kind of, meet somebody who I <sup>㉓</sup>perceive as being <sup>㉔</sup>horrible to me and go, “Oh no, I can understand you”? No, because I have an emotional response to it.

I think what's interesting about the book, and hopefully the film, is that you go, “I'm having this, kind of, ‘I don't like that, I don't like her neediness, I don't like the <sup>㉕</sup>deception.’ But, actually, when you look at it, am I any different? Do I have a right to judge that? No. Would I do any <sup>㉖</sup>different in that <sup>㉗</sup>scenario?” You'd love to think that you'd never <sup>㉘</sup>cheat on your husband. You'd love to think that you'd never <sup>㉙</sup>leave your son, which is one of the things that I found really difficult, you know.

I have no idea, and therefore I have no right to judge. But I do judge because I'm human, which is what I think makes the whole thing so interesting.



# 自然主義から幻想舞台へ

DL Track33

記者：周知のとおり、トルストイの『アンナ・カレーニナ』は正真正銘の名作ですが、この映画は、原作のコンセプトから思い切って離れたと伺っています。

キーラ・ナイトレイ：あれは、とても自然主義的な作品でした。私たちはサンクトペテルブルクまで撮影をしに行くことになっていました。小説の描写にできるだけ近付ける予定だったのですが、そこから徐々に変化が起こり始めたのです。

ジョーは、前々からこれをかなり様式化したものにするつもりだったようです。確か、彼がロシア社会、それも18世紀、19世紀の社会についてリサーチを進めていくうちに、面白いことがわかりまして、つまり、貴族はロシア語を話すことすらできなかったのです。フランス語かイタリア語を話していました。

都市の街並みもヨーロッパの街並みをモデルにしている、（サンクト）ペテルブルクはバリの街並みを基にしていました。建物や建物内のインテリアはすべてフランス風、衣服もフランス風、食事の多くもフランス料理でした。ただ、建物内にロシア風の部屋を造ることも多く、それはたいてい完全に隠され、ほかの人に見せることのない、人目につかない壁板の奥にあり、まるで後ろ暗い秘密といった体でした。

ですから考え方としては、この当時の人たちは、常に駆け引きをし、役柄を演じていて、この、自分自身の別の面を抑え付けていたのです。そしてそこから、「よし、役を演じているのなら、舞台に立っているようなものじゃないか」と、今回のかなり様式的な形に発展していきました。そんなふうに、今回のような、幻想的な舞台演劇風の作品に進化していったのです。

【原文】▶



# 籠の中の鳥

DL Track34

記者：では、アンナという人物に対するあなたの研究も同様に進化していったのでしょうか、それとも、トルストイの原作に忠実であり続けましたか？

ナイトレイ：そうですね、実際のところ、原作に沿っていたと思います、大いに。原作を読み、さらに、オーランド・ファイジズの『ナターシャのダンス』という本を読みました。これはロシアの文化史（に関する本）です。ですから、この2冊が基になりました。

つまり、衣装に関して言うと、以前にも『つぐない』や『プライドと偏見』で衣装デザインを担当した、ジャクリーン・デュランと組みました。彼女が素晴らしいのは.....多くの衣装デザイナーは、「これがコンセプトですから」といった言い方をします。そして、俳優側がそこに自分をはめ込む感じで、つじつまを合わせる努力をします。（一方）ジャクリーンは、まさに登場人物の視点から取り組んでくれます。ですから、彼女との打ち合わせをしに行くと、腰を据えて何時間も、登場人物のことをとにかく話し合うのです。

そしてアンナについては、鳥籠に閉じ込められた鳥なのだという考えになりました。そこで、私たちは毛皮をたくさん使って、彼女が死に取り囲まれているようにしました。死んだ鳥の翼（を模した羽飾り）もありましたが、これも死んでいるから飛べないわけです。鳥籠みたいなベールもありました。衣装には、スカートの下に着ける本当に鳥籠形をした下着もあったんです。すごいですよ。

それと、下着を連想させるような部分もたくさんあります。つまり、下着を作るような生地やベッドシーツのようなもので、ドレスが作られていました。そんなわけで、私たちが作り上げたのは、性と死が普遍の存在として常にそこにある、という考え方でした。

さらに、作中のアンナはとてつもない虚栄心を抱えています——ご存じでしょうが、原作を読むと、トルストイは彼女の虚栄心について、おびたしい個所で言及しています——そこで、虚栄心も関わってきます。ですから、彼女の見た目ということが、そうした観点からも非常に重要になりました。

【原文】▶



# 細やかな演出と感情表現

DL Track35

記者：ジョー・ライト監督は、時代を表す細部に大変こだわっていますね。例えば、寝室に例の銀の小箱があったりします。こうしたディテールは、あなたにとって役立ちましたか？

ナイトレイ：ディテールが大好きです。ディテールはいつだって大好きです。そのおかげで、魔法のような魅力が増しますから。つまり、時代物の作品の素晴らしいところは、変な話ですが、その時代に関する解釈の自由度が高くなることなんです。つまり、少なくとも、今回のような様式化された作品では、特にそうです。ルールなんて、ないも同然ですから。

現代劇に出演している場合、私たちは自分たちの社会がどんなものかわかっています。政治状況がどうなのかわかっています。行動の仕方もわかっていますし、服装もわかっています。それがかなり息苦しくなることもあるんです、おかしなことに。

ですから、もしかしたら、そこが時代劇の効能の一つなのかなとも思います。実は、ここ何年も自問していたんです、「どうして私はいつも（時代物に）戻るのかしら？　こういったものが私の好みなのは、なぜかしら？　これって私にとって何をもたらしてくれるのかしら？」と。そして思うのです、それは、自分自身を完全に脱ぎ捨てることができるからだ、と。

ほら、時代物の映画を見ても、自分の身近なものを見て判定するような目では判定しないんですよ。自分というものからすっきり離れて、感情的な状況や人間的な状況に目をやります、そこに情け容赦なく光を当てて、それを見るのです。

ですから、仕掛けとして、演劇的あるいは想像的な仕掛けとしては、それこそがまあ、こう言ってよければ、時代劇だとか未来的な空想映画の果たす役割で――単になじみのあるものを見せられたときにはできないような見方で、人間のありようを見ることを、実際に可能にしてくれるのです。

作中の細部については、作品に添えられた楽しい趣向だと思います。そこで皆さんは言いますよね、「おや、あれは妙な箱だな」とか「あれは妙な……」と、それが何だかわからないので。役立つなら作品に入れておいてもいい楽しい部分ですが、誰にもわからないのですから、いつでも省いて構いません。それ（省けること）もまた、とても便利です。

【原文】▶



# 情緒的な人物への共感

記者：アンナとヴロンスキーの両者に、不倫関係の責任がありますが、責任の重さは同じだと思われますか？

ナイトレイ：常に、同等の責任があると思います。ただ、ここで取り上げられているのは情緒的な人たちで、彼らはよく考えずに――あのように情緒に流されて進んでいます。それが人間をとて面白い存在にしているともいえます。もし誰もが理性的であつたなら、もちろん、ある種の選択はしないはずですが、実際はそうではないのです。

そして、この話も理性的ではありません。二人はこの方向に進まずにいられないのです。そう、一方は他方ほど重い代償を払いません、よくある話だとは思いますが。ただ、どちらがより多く責めを負うべきかに関しては、責める、という話ではないように思います。

記者：アンナに共感できましたか？　ご自身は実生活でどんなタイプですか？

ナイトレイ：より共感的でありたいという努力の途上にあるように思います。人は他人に、それほど共感できるものでもないと思いますし。

まあ、だからこそ、とても興味を引かれるのでしょうか、もしかして実際に会ったら好きになれないような人物を演じることに。表面的要素に、必ずしも共感できないことがありますから。例えば、愛情の渴望などは、他人の内面にあるのを見て取るのは非常に難しいものですが、それは私たちの誰もが感じるものでもあります。私たちは寂しさを感じ、だからこそ愛を求める気持ちになりますよね。

ところが、実際に愛に飢えた人が目の前や映画の中に現れると――というのも、この作品のアンナ・カレーニナも愛に飢えていますから――それが実際には、観客にとってその人物の最も理解しにくい点の一つと感じられてきました――つまりアンナの愛に飢えた気持ちです。それでいて、それはとてもよく理解できることの一つでもあるのです。私自身、私にひどいことをするように思える人と会って、「いいいえ、あなたのことは理解できますよ」と言うほど立派な人間でしょうか？　いいえ、だって感情的な反応をしてしまいますから。

この小説の、それに願わくはこの映画の、面白いところは、こんなふうに思うことです、「何となく『嫌だな、彼女が愛情にガツガツしているところも嫌だし、人をだますのも嫌だ』とを感じる。でも実際、そこに目を向けてみると、自分は少しでも違うだろうか？　批評する権利なんてあるだろうか？　いや、ない。あの状況に置かれたら少しでも違う行動を取るだろうか？」と。人は、自分なら夫を絶対に裏切ったりしないと思っていたがるものです。息子を捨てるなんて絶対にしない、と思っていたがるものです。そこは私も本当に理解し難いと思った部分の一つですが。

私にはまったくわからない、ということは、私には批評する権利はありません。それでも批評してしまうのは私が人間だからで、それがすべてをとて興味深いものになっているのだと思います。



# Vocabulary List

## A

- aristocrat** 貴族
- as far as ~ goes** ~に関する限りでは ★**as far as ~で**「～の限りでは」の意。
- at face value** 額面どおりに、隠れた部分を考慮せずに

## B

- be presented with ~** ~を提示される
- be responsible for ~** ~に対して責任がある
- being** 存在、生き物
- bit** （小さな）部分

## C

- cheat on ~** ~を裏切る、～（配偶者や恋人）に隠れて浮気する
- come with ~** ~に付随する、～に伴う
- constant** 不変のもの、普遍
- costume drama** 時代劇

## D

- deception** 偽り、欺瞞
- device** 仕掛け、装置
- dirty** 不正な、いかがわしい、後ろ暗い

## E

- empathetic** 共感できる、同情的な
- empathise with ~** ~に共感する、～に感情移入する ★〔米〕empathize

## F

- follow a line** 方針に従う、軌道を進む

## G

- go out the window** 消えうせる、無用になる
- grow into ~** ~へと育っていく、～に発展する

## H

- harsh** 厳しい、（光などが）きつい
- have no choice but to do** ~する以外に選択の余地がない、～するしかない
- horrible** ひどく不快な、とても嫌な

## I

- if you like** そう言いたければ、いつてみれば
- imaginary** 想像の、空想の
- interpretation** 解釈

## L

- leave ~ behind** ~を置き去りにする、捨てる
- leave ~ out** ~を除外する、～を省く
- lingerie** ランジェリー、女性用下着、寝間着類 ★発音は[là.nʒəˈʁe.i]

## M

- make sense** 意味をなす、つじつまが合う

## N

- naturalistic** 自然主義的な、自然を模した

## P

- perceive A as B** AをBだと認識する、AをBだと考える
- play a role** 役柄を演じる、役割を果たす
- point of view** 観点、視点

## R



- rational** 理性的な、合理的な
- reference** 言及、参照、関連

S

---

- scenario** シナリオ、状況
- standpoint** 立場、見地
- stick with ~** ~から逸脱しない、~に忠実である
- stylise** 様式化する、型にはめる   ★〔米〕**stylize**
- surround** 取り囲む

T

---

- taste** 好み、センス
- theatrical** 演劇の、劇場の
- tremendous** 多大な、おびただしい

V

---

- vain** 虚栄心の強い、うぬぼれた

※〔米〕はアメリカ式つづり



理解度チェック

インタビューの内容に一致するものは○Yes、一致しないものは○Noを選びましょう。

※質問の難易度の表示は、A=やさしい、B=普通、C=難しい、を表します

目標正答数 初級レベル：3問以上 中級レベル：6問以上 上級レベル：8問以上

Questions		難易度	Yes	No
1	キーラ・ナイトレイによると、映画製作者は当初、『アンナ・カレーニナ』をバリで撮影しようと考えていた。	C		
2	ナイトレイによると、昔のロシア貴族の家は、外観はロシア風でも、フランス風の秘密の部屋があることもあった。	B		
3	ナイトレイは、アンナ・カレーニナの役作りには、原作小説だけを基にしたと言っている。	C		
4	ナイトレイは、アンナ・カレーニナはかなり虚栄心が強い、と思っている。	A		
5	ナイトレイは、細やかな演出が大好きだと語っている。	A		
6	ナイトレイによると、時代物の作品は、その時代についての自由な解釈が許されない。	B		
7	時代物の映画を見るときは、自分の身の回りを判断するような目では見ない、とナイトレイは語っている。	B		
8	ナイトレイは、人間は情緒的だからこそ面白い、と言っている。	A		
9	ナイトレイは、実生活で出会ったら、好きになるとは限らないような人物を演じることに興味がある、と語っている。	A		
10	ナイトレイは、アンナ・カレーニナを非常に愛に飢えた人物だと考えている。	A		

答え ▶



# 理解度チェック

インタビューの内容に一致するものは○Yes、一致しないものは○Noを選びましょう。

※質問の難易度の表示は、A=やさしい、B=普通、C=難しい、を表します

目標正答数 初級レベル：3問以上 中級レベル：6問以上 上級レベル：8問以上

Questions		難易度	Yes	No
1	キーラ・ナイトレイによると、映画製作者は当初、『アンナ・カレーニナ』をバリで撮影しようと考えていた。	C		
2	ナイトレイによると、昔のロシア貴族の家は、外観はロシア風でも、フランス風の秘密の部屋があることもあった。	B		
3	ナイトレイは、アンナ・カレーニナの役作りには、原作小説だけを基にしたと言っている。	C		
4	ナイトレイは、アンナ・カレーニナはかなり虚栄心が強い、と思っている。	A		
5	ナイトレイは、細やかな演出が大好きだと語っている。	A		
6	ナイトレイによると、時代物の作品は、その時代についての自由な解釈が許されない。	B		
7	時代物の映画を見るときは、自分の身の回りを判断するような目では見ない、とナイトレイは語っている。	B		
8	ナイトレイは、人間は情緒的だからこそ面白い、と言っている。	A		
9	ナイトレイは、実生活で出会ったら、好きになるとは限らないような人物を演じることに興味がある、と語っている。	A		
10	ナイトレイは、アンナ・カレーニナを非常に愛に飢えた人物だと考えている。	A		



## ①(Leo) Tolstoy

(レオ・)トルストイ ★(1828-1910)。『戦争と平和』『復活』などの代表作を持つロシアの文豪。ロシア語ではLeoはLev(レフ)と表記される。

---

## ②Anna Karenina

『アンナ・カレニナ』 ★1870年代のロシアが舞台の、トルストイの代表作の一つ。年上の地位ある夫との結婚生活を送るアンナ・カレニナが、若い将校ヴロンスキーと恋に落ち、破滅への道をたどる。

---

## ③the movie

★ナイトレイ主演の映画『アンナ・カレニナ』(2012)を指す。

---

## ④St. Petersburg

サンクトペテルブルク ★バルト海沿岸のロシア第2の都市。帝政ロシア時代にはペテルブルクと呼ばれ、首都であった。本作はペテルブルクとモスクワが舞台だが、イギリスにセットを造り、撮影された。

---

## ⑤Joe (Wright)

ジョー(・ライト) ★(1972-)。本作の監督。イギリス出身。代表作は『つぐない』『プライドと偏見』など。

---

## ①stage thing

★本作では、ステージ幕や背景画で場面転換するなど、舞台演劇と写実を織り交ぜたユニークな演出がなされている。

---



## ② Orlando Figes

オーランド・ファイジズ ★（1959-）。イギリスのロシア史研究家で、ロンドン大学教授。本作の史実監修を務める。

## ③ *Natasha's Dance*

★2002年に出版されたファイジズの著書。ピョートル大帝時代（17世紀後半～18世紀前半）のペテルブルクを中心に、ロシアの歴史と文化を紹介する。  
Natashaは『戦争と平和』のヒロインの名前。

## ④ Jacqueline Durran

ジャクリーン・デュラン ★衣装デザイナー。本作でアカデミー賞衣装デザイン賞を受賞した。

## ⑤ *Atonement*

『つぐない』★（2007）。思春期の少女のついたうそが姉と恋人の人生を変えてしまい、妹はその 贖<sup>しよくざい</sup>罪の道を探る。イアン・マキューアンの小説『贖罪』の映画化。ライト監督作品。ナイトレイは恋人と引き裂かれる姉役を演じた。atonementは「罪滅ぼし、贖罪」の意。

## ⑥ *Pride and Prejudice*

『プライドと偏見』★（2005）。18世紀末のイギリスを舞台にしたジェーン・オースティン原作の恋愛映画。ライト監督作品で、ナイトレイがヒロインを演じた。



## ① that little silver box

★作中でアンナの夫が就寝前に寝室の引き出しから取り出す小箱を指す。中には当時の避妊具が入っている。

---



## ① Vronsky

ヴロンスキー ★作中で夫のあるアンナと恋に落ちる若い将校。

---



① **naturalistic**

自然主義的な、自然を模した

② **go and do**

～しに行く ★このdoは「映画を製作する」の意。

③ **stylise**

様式化する、型にはめる ★アメリカ式つづりはstylize。

④ **aristocrat**

貴族

⑤ **Parisian**

パリの、パリ風の

⑥ **dirty**

不正な、いかがわしい、後ろ暗い

⑦ **play a role**

役柄を演じる、役割を果たす

⑧ **suppress**

抑圧する、抑え込む

⑨ **grow into ~**

～へと育っていく、～に発展する



## ①stick with ~

～から逸脱しない、～に忠実である

## ②majorly

とても、極めて

## ③as far as ~ goes

～に関する限りでは ★as far as ~で「～の限りでは」の意。

## ④go

言う ★「自分自身に言う、心の中で思う」というニュアンスで使われることもある。

## ⑤fit A into B

AをBにはめ込む、AをBに合わせる

## ⑥try and do

～しようとする

## ⑦make sense

意味をなす、つじつまが合う

## ⑧point of view

観点、視点

## ①cage

鳥籠、おり

## ②fur

★毛皮は殺された動物、死を連想させる。

## ③surround

取り囲む

## ④veil

（顔を覆う）ベール ★作中でアンナが顔に着ける、黒いレースのベールを指す。

## ⑤the actual cage

★ドレスのスカート部分を形良く膨らませるための鳥籠形の装具（コルセット）を指す。

## ⑥underskirt

（スカートの下に着ける）下着

## ⑦lingerie

ランジェリー、女性用下着、寝間着類 ★発音は[là:nʒəréi]。

## ⑧reference

言及、参照、関連



### ⑨constant

不変のもの、普遍

---

### ⑩vain

虚栄心の強い、うぬぼれた ★次行のvanityは名詞で「虚栄心、うぬぼれ」の意。

---

### ⑪an awful lot

恐ろしくたくさん、おびただしく

---

### ⑫come into ~

～に入ってくる、～に関わってくる

---

### ⑬standpoint

立場、見地

---



## ⑭tremendous

多大な、おびただしい

## ①period piece

(映画などの)時代物 ★pieceは「作品」の意。

## ②weirdly

奇妙に、おかしなことに

## ③as to ~

～に関して

## ④interpretation

解釈

## ⑤time period

時期、時代

## ⑥go out the window

消えうせる、無用になる

## ⑦claustrophobic

閉所恐怖症の(起こるような)、狭苦しい、窮屈な ★-phobicは接尾辞で、「～恐怖症の(人)」の意。

## ⑧Why is it that ...?

.....なのはなぜなのか ★直後のWhat is it that ...?は「.....なのは何なのか、何が.....であるのか」の意。

## ⑨taste

好み、センス

## ⑩does

★「良い影響・効果をもたらす」といった意味で使われている。

## ⑪leave ~ behind

～を置き去りにする、～を捨てる

## ⑫harsh

厳しい、(光などが)きつい ★ここでは、スポットライトを当てて、あるがままを見る、といった意味合いだと思われる。

## ⑬device

仕掛け、装置

## ⑭theatrical

演劇の、劇場の

## ⑮imaginary

想像の、空想の



**⑩costume drama**

時代劇

---

**⑪if you like**

そう言いたければ、いってみれば

---

**⑩futuristic**

未来的な

---

**⑪be presented with ~**

～を提示される

---

**①bit**

(小さな) 部分

---

**②come with ~**

～に付随する、～に伴う

---

**③weird**

奇妙な、おかしい

---

**④put in ~**

～を入れる、～を含める

---

**⑤leave ~ out**

～を除外する、～を省く

---



## ⑥ be responsible for ~

～に対して責任がある

## ⑦ relationship

恋愛関係

## ⑧ blame

責任、責め ★blameには動詞で「責める、責任を負わせる」の意味もある。

## ⑨ being

存在、生き物 ★ここではアンナとヴロンスキーの二人を指す。

## ⑩ follow a line

方針に従う、軌道を進む

## ⑪ rational

理性的な、合理的な

## ⑫ we're not

★文末にrationalが省略されている。

## ⑬ have no choice but to do

～する以外に選択の余地がない、～するしかない

## ⑭ get off light(ly)

軽い罰で済む、大した影響を被らない ★ここでは、独身者のヴロンスキーと、既婚者で子どももいたアンナとで、周囲からの批判や失ったものの大きさが違い、アンナの方が特に悲惨な末路を迎えるのに対して、ヴロンスキーは軽い代償で済むことを言っている。

## ⑮ come into ~

（考えが）～（の心）にふと浮かぶ、～にわいてくる

## ① empathise with ~

～に共感する、～に感情移入する ★アメリカ式つづりはempathize。

## ② journey

遍歴、（長い）行程

## ③ empathetic

共感できる、同情的な ★empathyには名詞で「共感、感情移入」の意味もある。

## ④ at face value

額面どおりに、隠れた部分を考慮せずに

## ⑤ neediness

困窮、（愛情に）飢えた状態 ★needyには形容詞で「貧しい、愛情に飢えた」の意味もある。

## ⑥ understandable

理解可能な



## ⑦as good as to do

～するほど善良である、～するほど（道徳的に）優れている ★as A（形容詞）as to doで「～するほどAである」の意。

## ⑧perceive A as B

AをBだと認識する、AをBだと考える

## ⑨horrible

ひどく不快な、とても嫌な

## ①deception

ぎまん  
偽り、欺瞞

## ②different

★ここでは副詞（differently）的に用いられている。1行上のdifferentは形容詞。

## ③scenario

シナリオ、状況

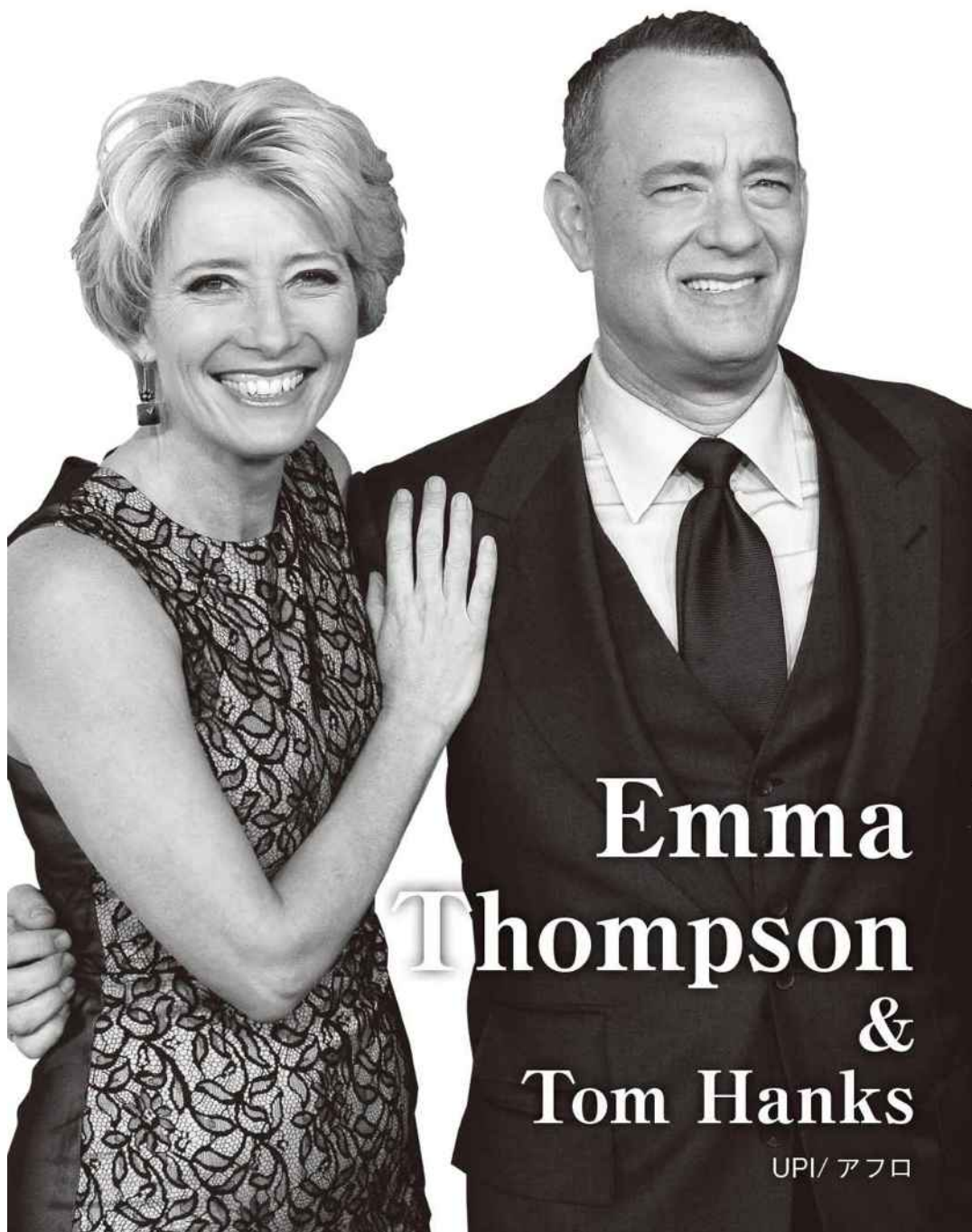
## ④cheat on ～

～を裏切る、～（配偶者や恋人）に隠れて浮気する

## ⑤leave

置き去りにする、見捨てる











素晴らしいアンサンブル演技を見せた英米を代表するベテラン俳優

Emma Thompson & Tom Hanks

“Scenes without words are bliss to do. Reacting scenes are wonderful to do.”

「せりふのないシーンを演じるのは最高よ。リアクションで表現する場面を演じるのはすてきなことなの」

Supervising Editor's Comment

ロンドンで生まれ、ケンブリッジ大で学んだ女優だけに、ほぼ教科書とおりの明快なRP（Received Pronunciation。容認発音）だ。イギリス英語らしい発音を挙げておこう。oftenは[ˈfɛn]で、-tが発音される。whatは、[wɪt]（「ッオット」）。日本で習う「ホワット」（[hwɪt]）のような発音はアメリカ式だ。

Holmesの発音は[hʊmz]、下のSoの母音も[əʊ]。彼女の[əʊ]は、比較的「オウ」に近いが、それでも完全な「オウ」ではない。

Interview Data	
収録日	2013年11月8日
収録地	ロサンゼルス（アメリカ）
スピード	普通
語彙	普通
発音	明瞭

エマ・トンプソン／トム・ハンクス

Emma Thompson / Tom Hanks

エマ・トンプソン

1959年4月15日、イギリス、ロンドン生まれ。父は舞台演出家、母は女優という、演劇一家に生まれる。大学在学中から舞台を中心に演劇活動を開始し、『彼女がステキな理由』（1989）で映画デビュー。E・M・フォスター原作の『ハワーズ・エンド』（'92）でアカデミー賞主演女優賞を受賞。ジェーン・オースティン原作の『いつか晴れた日に』（'95）では脚本を手掛けてアカデミー賞脚色賞を受賞した。

トム・ハンクス

1956年7月9日、アメリカ、カリフォルニア州生まれ。1980年に映画デビュー。コメディーからシリアスな作品まで幅広く活躍。『フィラデルフィア』（'93）、『フォレスト・ガンプ／一期一会』（'94）で2年連続アカデミー主演男優賞を受賞。



**Reporter:** Emma, the film <sup>①</sup>*Saving Mr. Banks* looks at the making of the film <sup>②</sup>*Mary Poppins*, which was based on a book by <sup>③</sup>P.L. Travers. What did you find out about P.L. Travers in the course of your research for playing her?

**Emma Thompson:** It was very <sup>①</sup>breadcrumby, my search for her. But she went everywhere you can imagine. She was like going into a <sup>②</sup>maze. And round some corners, you'd find <sup>③</sup>this terrible monster. And round another corner, you'd find a, sort of, beaten child.

So, she was the most <sup>④</sup>extraordinary combination of things. And I suppose that was the scary thing. Because, in films, I don't know whether the, my <sup>⑤</sup>colleagues would agree, but we often <sup>⑥</sup>get to play people who are emotionally, or at least <sup>⑦</sup>morally, <sup>⑧</sup>consistent in some way, and she wasn't i—consistent in any way. So, you would not know what you would get <sup>⑨</sup>from one moment to the next.

**Reporter:** And, Tom, what did you find out about the other central character in the film, <sup>①</sup>Walt Disney, that you were able to use?

**Tom Hanks:** There is a bit of a <sup>②</sup>vocal <sup>③</sup>cadence and a rhythm, er, that Mr. Disney had that took a while to figure out. But a lot of the little <sup>④</sup>anecdotes we found, <sup>⑤</sup>specifically from <sup>⑥</sup>the likes of, er, <sup>⑦</sup>Richard Sherman, and were already in the <sup>⑧</sup>screenplay.

For example, like, er, Walt's cough. And Walt smoked three packs a day. And Richard Sherman writes in the screenplay as well, is that you, you knew, he said, “You kn—always knew when Walt was coming to, er, visit your office, ‘cause you could hear him coughing <sup>⑨</sup>from down by the elevator. So, you're able to put that kind of stuff into it, and it just <sup>⑩</sup>ends up being, you know, one of the delightful <sup>⑪</sup>cards in the deck.



**Reporter:** In the film, P.L.Travers ⑩ comes across as a very interesting character. How did you find her, Emma?

**Thompson:** I'll tell you what is interesting: P.L. Travers ⑩ likened, well, she used to talk a lot about ⑨ Buffalo Bill. And while I was researching her, I found out that she referred to ⑨ Mary Poppins in very similar ways.

I think that because women have traditionally been ① locked out of the ② superstructures or the ③ power structures that we all live in, Buffalo Bill's a very good example. Because I've always thought that ④ *Nanny McPhee* was ④ essentially a ⑤ Western, only ⑥ set in a ⑦ domestic environment. And she felt the same way about *Mary Poppins*.

So there's a very real connection, ⑧ in the sense that, you know, the ⑧ outsider comes into the place where there is difficulty and solves the problem using ⑧ unorthodox methods, and then must leave. That's a Western. And because women don't have that kind of power, the Western form, which is a ⑧ myth, an essential myth — what she would have called an essential myth — ⑨ emerges in the female world in the ⑩ nursery.

**Reporter:** Tom, what were the challenges of playing such an ⑩ iconic individual, and how did your research inform your performance?

**Hanks:** There was a lot of ⑩ anecdotal information that kept coming to us. There were people, er, who knew Walt, and they still ⑩ have access to the studio. They ⑩ searched us out.

Richard Sherman was ⑩ a ⑩ never-ending, ⑩ literally never-ending, fountain of stories, of facts, of anecdotes, of ⑩ bits and pieces of everything that had happened.

The only ① handicap ② there was a lot of it is ③ Walt Disney playing Walt Disney. But even in some of that, and plenty of others, there's ④ an ocean of cadence to the man, and ⑤ that true sense that he had great, he believed everything that he said about his projects. So, he completely ⑥ embraced the possibilities of wonder in, in the movies that he was going to make as well as the ⑦ rides he was going to ⑧ come up with and, er, the things that he was going to build. So, I had a great ⑨ road map, in order to search it out.



**Reporter:** Emma, what do you think P.L. Travers would have thought about this film of her life?

**Thompson:** I reckon this is a woman who kept on saying, “I don't want anything. I don't want a biography. I don't want anything like that. I don't want to, anyone to do or know anything about me.” Meanwhile, she kept everything she wrote and sent it to, for the archives at Brisbane University. So, she felt, I'm certain, that she was an important contributor to the artistic, to the culture, and wanted, I think, to have it preserved.

And I think that's what she would say about this is, “Absolutely ridiculous film! Uh, n—n—n—no relationship, whatsoever, to what was happening. Er, but, you know, er, it's about me. And, er, um, at, at last. Er, and I thought the, the clothes were really rather nice.” I think that's what she would have said. Ha-ha.

**Reporter:** One of the movie's memorable closing scenes has no dialogue. Do you find scenes without words easier or harder to do?

**Thompson:** Scenes without words are bliss to do. Reacting scenes are wonderful to do. I think we'd all feel the same way about that. I mean, not because one is frightened of words, or learning words, or using words — of course not — but just because, um, it's a different kind of, you're not so active somehow.

Yes, it's not even that you're passive, but you're just responding and that's, the scene that you're talking about, at the end, John, we didn't know how to do that quite. ‘Cause it is quite a, she's having a huge reaction, I mean, huge. It's like an elemental reaction she's never had before in her life. So, what was interesting to me about it was, the thing that made it work was the clips from *Mary Poppins*. That's what did it.



**Reporter:** I think it's fair to say that, at least in the film, P.L. Travers and Walt Disney <sup>①</sup>were both pretty obsessed with this fictional character Mary Poppins. In your own lives, are there any fictional characters that you've been obsessed with?

**Thompson:** Just <sup>②</sup>off the top of my head, which is probably the best place to start, for me as a child, it was always <sup>③</sup>Sherlock Holmes, with whom I was deeply in love and who I wanted really to be. But that's the problem, isn't it, if you're a female?

That a lot of the <sup>④</sup>heroic models are, in fact, male. So, you know, one of my first questions to everybody, as I was getting older, is, “What's, who's the female hero? Who is she? What does she do? What does she actually do?”

**Hanks:** I, uh, always wanted to play <sup>⑤</sup>Lestrade of <sup>⑥</sup>Scotland Yard, um, just ‘cause he's, kind of, a <sup>⑦</sup>buffoon that <sup>⑧</sup>gets to wear a uniform. And I thought, well, that would be fun, so maybe we've got <sup>⑨</sup>something.

**Thompson:** Yeah, let's do it.

translation ▶

*Coordinated by Jordan Riefe  
Narrated by Guy Perryman*



# 役柄の追求

DL Track38

記者：エマ、『ウォルトディズニーの約束』はP.Lトラヴァースの本『メアリー・ポピンズ』の映画製作を題材にしていますが、彼女の役作りをする過程でどのような発見がありましたか？

エマ・トンプソン：彼女（トラヴァース）を追い求めるのは、まさに、パンくずをたどるようなものでした。でも、彼女は思い付く限りの場所に行きました。彼女はまるで迷路に入り込んでいくかのようでした。それも、ある角を曲がると、このとんでもないモンスターが待ち受けていましたし、別の角を曲がると、どこか打ちひしがれたような幼子に出会うのです。

つまり、彼女は、とんでもなく多様な要素が組み合わさった存在でした。そこが（演じる上で）怖いところだったと思います。何しろ、映画では、俳優仲間が同意してくれるかどうか分かりませんが、私たちは、情緒面で、あるいは少なくとも道徳面で、ある程度、一貫性のある役を演じることが多いのです。ところが彼女はどの面においても一貫性がありませんでした。ですから、その瞬間瞬間で、何が起こるか予想もつきませんでした。

記者：では、トム、映画におけるもう一人の中心人物、ウォルト・ディズニーについては、役作りにいかせるどんな発見がありましたか？

トム・ハンクス：ディズニー氏にはちょっとした声の抑揚とリズムがあるので、それをつかむまで少し時間がかかりました。でも、ちょっとした逸話をたくさん見つけました、特にリチャード・シャーマンのような人たちから。（そうした逸話は）脚本にもすでに取り入れられていましたが。

例えば、ウォルトの咳のように。ウォルトは1日3箱のタバコを吸っていました。リチャード・シャーマンが脚本にも書いていますが、（彼だと）わかったというのです。彼は言っていました、「ウォルトがオフィスに来るときには必ずわかった。エレベーターを降りた辺りから、彼の咳が聞こえてきたから」と。ですから、そうした要素を映画に取り入れることができ、最終的には、一そろいの楽しいトランプの一枚になるわけです。

【原文】▶



# 子ども部屋のカウボーイ

ナレーション：映画の中で、P.Lトラヴァースは非常に面白い人物に見えますが、あなたは彼女をどのように思いますか、エマ？

トンプソン：面白いことをお話ししましょう。P・L・トラヴァースはなぞらえていました、バッファロー・ビルのお話をよくしていました。そして、彼女（トラヴァース）についてのリサーチ中に、彼女がメアリー・ポピンズについても、実に似たようなことを語っていたことに私は気付きました。

思うに、女性は長らく、世の中の上部構造や権力構造から締め出されてきていて、バッファロー・ビルはとてもいい例なのです。というのも、私は前々から、『ナニー・マクフィーの魔法のステッキ』は、舞台を家庭環境に移しただけで、本質的には西部劇だと思っています。そして彼女（トラヴァース）も『メアリー・ポピンズ』について同じように感じていたのです。

つまり、実際に関連性があります。問題のある場所によそ者がやって来て、型破りな手段を使って問題を解決し、そして去っていかなければならない、という点で。これは西部劇です。そして、女性にはそうした力がないので、西部劇形式、すなわち神話、本質的な神話——彼女なら本質的神話と呼んだであろうもの——は、女性の世界では子ども部屋で起こるのです。

記者：トム、非常に偶像化された人物であるウォルト・ディズニーという役を演じることには、どのような難しさがありましたか？ また、彼について調べたことはどのように演技にいかせましたか？

ハックス：たくさんの逸話情報が次々に舞い込んできました。ウォルトと知り合いだった人たちがいて、その人たちは今もスタジオに出入りしています。彼らが私たち（の演じた人物）を徹底的に洗い出してくれました。

リチャード・シャーマンは、尽きることのない、文字どおり尽きることのない、湧き出る泉でした、話や、事実や、逸話や、起こったことすべてに関するあれやこれやの情報の。

そして、唯一のハンディは、その中では、ウォルト・ディズニーがウォルト・ディズニーを演じていることが多かった点です。でも、その中の幾つかでさえ、また、ほかのいろいろなものにも、あの人物特有の口調があふれていますし、自分の語った計画をすべて本気で信じていたという彼の特徴が伝わってきます。彼は、自分が作る映画の素晴らしい可能性を心から信じていましたし、やがて思い付くことになる（ディズニーランドの）乗り物や、建設することになるいろいろなものについても、そうでした。ですから私には、（ディズニーのキャラクターを）探索するための素晴らしいロードマップがあったのです。

【原文】▶



複雑な作家

DL Track40

記者：エマ、トラヴァースは彼女の人生についてのこの映画をどのように思ったと思いますか？

トンプソン：私の見るところ、この人はこう言い続けた女性です、「私は何もいらないのよ。伝記なんていらない。そんなもの一つもいらない。私は誰にも、何もしてほしくないし、私のことを知ってもらいたくもない」と。そう言いながら、彼女は、自分の書いたものをすべて取っておいて、ブリスベン（の）大学の資料館に送っていました。ですから、私は確信しています、彼女は自分のことを芸術や文化に重要な貢献をした人物だと感じていて、自分の書いたものを保存してもらいたがっていたのだと、そう思います。

ですから、この映画のことも、こう言っただろうと思います、「まったくばかげた映画だわ！ ほんの少しも関係はありませんからね、事実とは。ああ、でもまあ、私の話ではあるのよね。まあ、遅過ぎたけど。まあそれに、衣装は確かに、なかなかすてきだと思いましたよ」。こんなふうに言っただろうと思います。ハハハ。

記者：映画の最後で記憶に残るシーンの一つにはせりふがまったくありません。せりふのない場面は演じやすいですか、それとも演じにくいものでしょうか？

トンプソン：せりふのないシーンを演じるのはこの上ない喜びです。リアクションで表現する場面を演じるのはすてきなことです。それに関しては皆、同じように感じていると思います。つまり、せりふが怖いわけではないんです、せりふを覚えることやせりふでの表現が怖いのでは、もちろんありません——ただ、まったく違った表現だというだけ、何というか、動きがあまりないというだけです。

そう、だからといって消極的というわけでもなく、ちゃんと反応はしていて、それが、あなた（インタビューの質問者）がおっしゃっている最後のシーンでは、ジョンは、というか、私たちは、どうしていいかわかっていませんでした。というのも、あれはかなり、彼女はとても大きな反応をしています、まさしく、とても大きな。彼女がそれまでの人生で経験したことのないような、体の奥からの反応という感じです。そして、あのシーンで私が興味深かったのは、あのシーンを成功させたのが、映画『メリー・ポピンズ』の（実際の）映像だったということです。あれが、成功の理由です。

【原文】▶



# 夢の役柄

 DL  Track41

記者：少なくとも映画の中では、トラヴァースもウォルト・ディズニーも、架空の人物であるメリー・ポピンズに非常に夢中になっています。あなた方自身の人生ではどうでしょう、誰か執着している架空の人物はいるでしょうか？

トンプソン：ぱっと思いつくのは、たぶんそこから始めるのが一番でしょうが、私の子どものころは、ずっとシャーロック・ホームズでした。彼にすっかりほれ込んで、本気で彼になりたいと思っていました。でもそこが問題ですよ？ 自分が女性の場合は。

ヒーロー的な人物像は多くの場合、男性だというのが実情です。ですから、だんだん大きくなってきた私が周りの人に聞いた最初の質問の一つは、こういうものでした。「女の人のヒーローには誰がいるの？ それは誰？ どんなことをする人？ その女の人は、いったいどんなことをするの？」と。

ハックス：私は、常々、スコットランド・ヤードのレストレード警部を演じたいと思ってました。何となく三枚目で制服を着られるというだけの理由ですが。で、思ったのですが、面白いものになりそうですから、なかなかいいアイデアかもしれませんね。

トンプソン：そうね、やりましょう。

[【原文】▶](#)



# Vocabulary List

## A

- anecdote** 逸話、秘話、エピソード
- artistic** 芸術の、芸術的な

## B

- be frightened of ~** ~を恐れる
- be obsessed with ~** ~に夢中である、~に執着している
- biography** 伝記
- bits and pieces** こまごましたこと、（情報などの）断片
- bliss** 至福、この上ない喜び

## C

- cadence** 抑揚、調子、口調
- clip** （切り取った）映像、（映画などからの）抜粋場面
- colleague** 仕事仲間、同業者
- come across as~** ~に見える、~の印象を与える
- consistent** 一貫性のある、不変の
- contributor** 寄与者、貢献者

## D

- domestic** 家庭の、家事の

## E

- embrace** （進んで）受け入れる、信奉する
- emerge** 浮かび上がる、出現する
- end up ~** 最後には~になる
- extraordinary** 非凡な、異常な

## H

- handicap** ハンディキャップ、不利な条件
- have access to ~** ~に（自由に）出入りできる

## I

- iconic** 象徴的な、伝説的な
- in the sense that ...** .....という意味で

## L

- liken** なぞらえる ★発音は[láikən]

## M

- maze** 迷路
- memorable** 記憶に残る、忘れ難い
- morally** 道德面で、道義面で
- myth** 神話、伝説

## N

- never-ending** 終わりのない、果てしない
- nursery** 育児室、子ども部屋

## O

- off the top of one's head** その場で思い付いて、ぱっと思い浮かんで

## P

- passive** 受け身の、消極的な
- power structure** 権力構造
- preserve** 保存する

## R

- react** 反応する、リアクションをする



- reckon**   （〜と）考える、（〜と）見なす
- ride**    （遊園地の）乗り物、アトラクション
- ridiculous**   ばかげた、ばかばかしい
- road map**    ロードマップ、計画図、指針

S

---

- search out** ~   〜を探し出す
- screenplay**   映画脚本
- somehow**    どういうわけか、何らかの形で
- something**    ちょっとしたもの、いい話
- specifically**   特に、具体的に言うと
- superstructure**   上部構造、（社会・組織の）上層部

T

---

- the likes of** ~   〜のような人たち

V

---

- vocal**    声の



# 理解度チェック

インタビューの内容に一致するものは○Yes、一致しないものは○Noを選びましょう。

※質問の難易度の表示は、A=やさしい、B=普通、C=難しい、を表します

目標正答数 初級レベル：3問以上 中級レベル：6問以上 上級レベル：8問以上

Questions		難易度	Yes	No
1	エマ・トンプソンによると、俳優は情緒面で一貫性のある役を演じることが多い。	A		
2	ウォルト・ディズニーの声には全然癖がない、とトム・ハンクスは語っている。	B		
3	ハンクスによると、ウォルト・ディズニーは1日に3箱タバコを吸い、よく咳をしていた。	A		
4	トンプソンは、トラヴァースが『メアリー・ポピンズ』をバッファロー・ビルになぞらえたことをとても興味深いと思っている。	C		
5	女性は長い間、権力構造から締め出されてきた、とトンプソンは語っている。	A		
6	トンプソンは、西部劇と『メアリー・ポピンズ』に共通点は何もないと思っている。	C		
7	トンプソンは、トラヴァースが自身についての資料を一切残していないことを残念に思っている。	A		
8	せりふのないシーンを演じることはトンプソンにとって大きな喜びである。	C		
9	トンプソンはシャーロック・ホームズが大好きで、本気でホームズになりたいと思っていた。	A		
10	ハンクスはシャーロック・ホームズのワトソン役をずっとやりたいと思っていた。	B		

答え ▶



# 理解度チェック

インタビューの内容に一致するものは○Yes、一致しないものは○Noを選びましょう。

※質問の難易度の表示は、A=やさしい、B=普通、C=難しい、を表します

目標正答数 初級レベル：3問以上 中級レベル：6問以上 上級レベル：8問以上

Questions		難易度	Yes	No
1	エマ・トンプソンによると、俳優は情緒面で一貫性のある役を演じることが多い。	A		
2	ウォルト・ディズニーの声には全然癖がない、とトム・ハンクスは語っている。	B		
3	ハンクスによると、ウォルト・ディズニーは1日に3箱タバコを吸い、よく咳をしていた。	A		
4	トンプソンは、トラヴァースが『メアリー・ポピンズ』をバッファロー・ビルになぞらえたことをとても興味深いと思っている。	C		
5	女性は長い間、権力構造から締め出されてきた、とトンプソンは語っている。	A		
6	トンプソンは、西部劇と『メアリー・ポピンズ』に共通点は何もないと思っている。	C		
7	トンプソンは、トラヴァースが自身についての資料を一切残していないことを残念に思っている。	A		
8	せりふのないシーンを演じることはトンプソンにとって大きな喜びである。	C		
9	トンプソンはシャーロック・ホームズが大好きで、本気でホームズになりたいと思っていた。	A		
10	ハンクスはシャーロック・ホームズのワトソン役をずっとやりたいと思っていた。	B		



## ① *Saving Mr. Banks*

『ウォルト・ディズニーの約束』 ★（2013）。ディズニーのミュージカル映画『メリー・ポピンズ』（1964）を実現させるまでのドラマを描いた作品。  
Mr. Banksは『メリー・ポピンズ』に登場する一家の父親。

## ② *Mary Poppins*

『メアリー・ポピンズ』 ★トラヴァース（③参照）の書いた児童小説。子どもたちの面倒を見るために風に乗ってやってくる、不思議な力を持った乳母（書名と同名）が主人公。

## ③ P.L. Travers

パメラ・リンドン・トラヴァース ★（1899-1996）。『メアリー・ポピンズ』（②参照）を代表作とするイギリスの児童文学作家。オーストラリア生まれ。本作（①参照）では、小説の映画化を進めるディズニーに対し、自らのこだわりをつきつける、気難しい女性作家としてのトラヴァースをトンプソンが好演している。

## ④ *this terrible monster . . . beaten child*

★いずれもトラヴァースを表現した比喩。beatenは「打ちのめされた、打ちしおれた」の意。

## ⑤ Walt Disney

ウォルト・ディズニー ★（1901-1966）。本作でハンクスが演じたアニメーター、実業家。

## ① Richard Sherman

リチャード・シャーマン ★（1928-）。兄ロバート（1925-2012）とともに多くのディズニー作品の音楽を作詞・作曲した。



## ②Buffalo Bill

バッファロー・ビル ★（1846-1917）。本名はWilliam Frederick Cody。西部開拓時代のアメリカのガンマン。西部のヒーローとして後年、自らショーを主催し、多くの大衆小説や映画などに取り上げられた。

---

## ③Marry Poppins

★ここでは作品名でなく、主人公を指している。

---

## ①Nanny McPhee

『ナニー・マクフィーの魔法のステッキ』 ★（2005）。魔法使いのナニー（イギリス英語で「乳母」の意）を主人公とする、児童小説（日本語タイトルは『マチルダばあやといたずらきょうだい』）が原作のファンタジー映画。トンプソンが脚本・主演を務めた。

---



## ①Brisbane University

★オーストラリアのクイーンズランド州都ブリスベンにある、クイーンズランド大学のことと思われる。トラヴァースはクイーンズランド州生まれ。

---

## ①Absolutely . . .

★ここでの口調は作中のトラヴァース役を真似ている。

---

## ②the scene that you're talking about

★完成した映画『メリー・ポピンズ』を鑑賞中の、トラヴァースの顔の表情を映し出すシーンのこと。心を揺さぶられている様子が伝わってくる。

---

## ③John (Lee Hancock)

ジョン（・リー・ハンコック） ★（1956- ）。本作の監督。その他の監督作は『オールド・ルーキー』（2002）、『しあわせの隠れ場所』（'09）など。

---



## ①Sherlock Holmes

シャーロック・ホームズ ★イギリスの作家コナン・ドイルが生み出した名探偵。

---

## ②Lestrade

レストレード ★「シャーロック・ホームズ」シリーズに登場する警部。いつもシャーロック・ホームズに出し抜かれる。

---

## ③Scotland Yard

スコットランド・ヤード ★ロンドン警視庁のニックネーム。

---



① **breadcrumb**

パンくずをたどるような ★発音は[brédkr̥mi]。breadcrumbは「パンくず、パン粉」で、童話『ヘンゼルとグレーテル』の「（道順をたどる）目印」から。

② **maze**

迷路

③ **extraordinary**

非凡な、異常な

④ **colleague**

仕事仲間、同業者

⑤ **get to do**

～する機会を得る、～することができる

⑥ **morally**

道徳面で、道義面で

⑦ **consistent**

一貫性のある、不変の

⑧ **from one moment to the next**

ある瞬間から次の瞬間へ、瞬間瞬間で

① **vocal**

声の

② **cadence**

抑揚、調子、口調

③ **anecdote**

逸話、秘話、エピソード

④ **specifically**

特に、具体的に言うと

⑤ **the likes of ~**

～のような人たち

⑥ **screenplay**

映画脚本

⑦ **from down by the elevator**

★downは「離れた場所で」、by ~は「～のそばで」の意。



## ⑧end up ~

最後には～になる

---

## ⑨cards in the deck

★役作りの過程で得たウォルト・ディズニーのさまざまな特徴を、トランプに例えている。deckは「（トランプの）一組」の意。

---



## ⑩ come across as~

～に見える、～の印象を与える

## ⑪ liken

なぞらえる ★発音は[láikən]。

## ① lock A out of B

AをBから締め出す

## ② superstructure

上部構造、（社会・組織の）上層部

## ③ power structure

権力構造

## ④ essentially

本質的に、根本的に ★essentialは形容詞形で「本質的な、根本的な」の意。

## ⑤ Western

西部劇

## ⑥ set A in B

A（場面・舞台）をBに設定する

## ⑦ domestic

家庭の、家事の

## ⑧ in the sense that ...

.....という意味で

## ⑨ outsider

部外者、よそ者

## ⑩ unorthodox

正統でない、異端の、型破りな

## ⑪ myth

神話、伝説 ★ここでは、西部劇に見られる武勇伝的な物語の要素を指している。

## ⑫ emerge

浮かび上がる、出現する

## ⑬ nursery

育児室、子ども部屋

## ⑭ iconic

象徴的な、伝説的な



**⑮ anecdotal**

逸話の、事例的な

---

**⑯ have access to ~**

～に（自由に）出入りできる

---

**⑰ search out ~**

～を探し出す

---

**⑱ a fountain of ~**

～の泉、～の源

---

**⑲ never-ending**

終わりのない、果てしない

---

**⑳ literally**

文字どおり、まさに ★シャーマンが話の長い人物であることを、皮肉を込めて表していると思われる。

---

**㉑ bits and pieces**

こまごましたこと、（情報などの）断片

---

**① handicap**

ハンディキャップ、不利な条件

---

**② there**

★編集上カットした音声部分に含まれる、映像などの資料を指すと思われる。

---

**③ an ocean of ~**

たっぶりの～、膨大な量の～

---

**④ Walt Disney playing . . .**

★ディズニーが人前では自らを演じていたということ。

---

**⑤ that true sense**

★the trait（特質、特徴）といった意味で言っていると思われる。

---

**⑥ embrace**

（進んで）受け入れる、信奉する

---

**⑦ ride**

（遊園地の）乗り物、アトラクション

---

**⑧ come up with ~**

～を思い付く、～を考え出す

---

**⑨ road map**

ロードマップ、計画図、指針

---







## ⑩reckon

(〜と)考える、(〜と)見なす

## ⑪biography

伝記

## ⑫meanwhile

その一方で

## ⑬contributor

寄与者、貢献者

## ⑭artistic

芸術の、芸術的な

## ⑮preserve

保存する

## ①ridiculous

ばかげた、ばかばかしい

## ②whatsoever

何であれ、いかなるものでも ★whateverをさらに強調した語。no ~ whatsoeverで「まったく〜ない」の意。

## ③at last

やっと、ついに ★ここでは、自分(トラヴァース)のことを描くのが遅かったことを表現している。

## ④memorable

記憶に残る、忘れ難い

## ⑤bliss

至福、この上ない喜び

## ⑥react

反応する、リアクションをする

## ⑦be frightened of ~

〜を恐れる

## ⑧somehow

どういうわけか、何らかの形で

## ⑨passive

受け身の、消極的な

## ⑩elemental

(感情が)単純であるが強烈な、(自然力のように)すさまじい



## ⑪ make ~ work

～を成功させる、～をうまくいかせる

---

## ⑫ clip

（切り取った）映像、（映画などからの）抜粋場面

---



### ① **be obsessed with ~**

～に夢中である、～に執着している

---

### ② **off the top of one's head**

その場で思い付いて、ぱっと思い浮かんで

---

### ③ **heroic**

英雄的な、ヒーローの

---

### ④ **buffoon**

道化師、三枚目

---

### ⑤ **gets to wear a uniform**

制服を着ることができる ★レストレード警部は制服を着用しておらず、ハックスの勘違いと思われる。

---

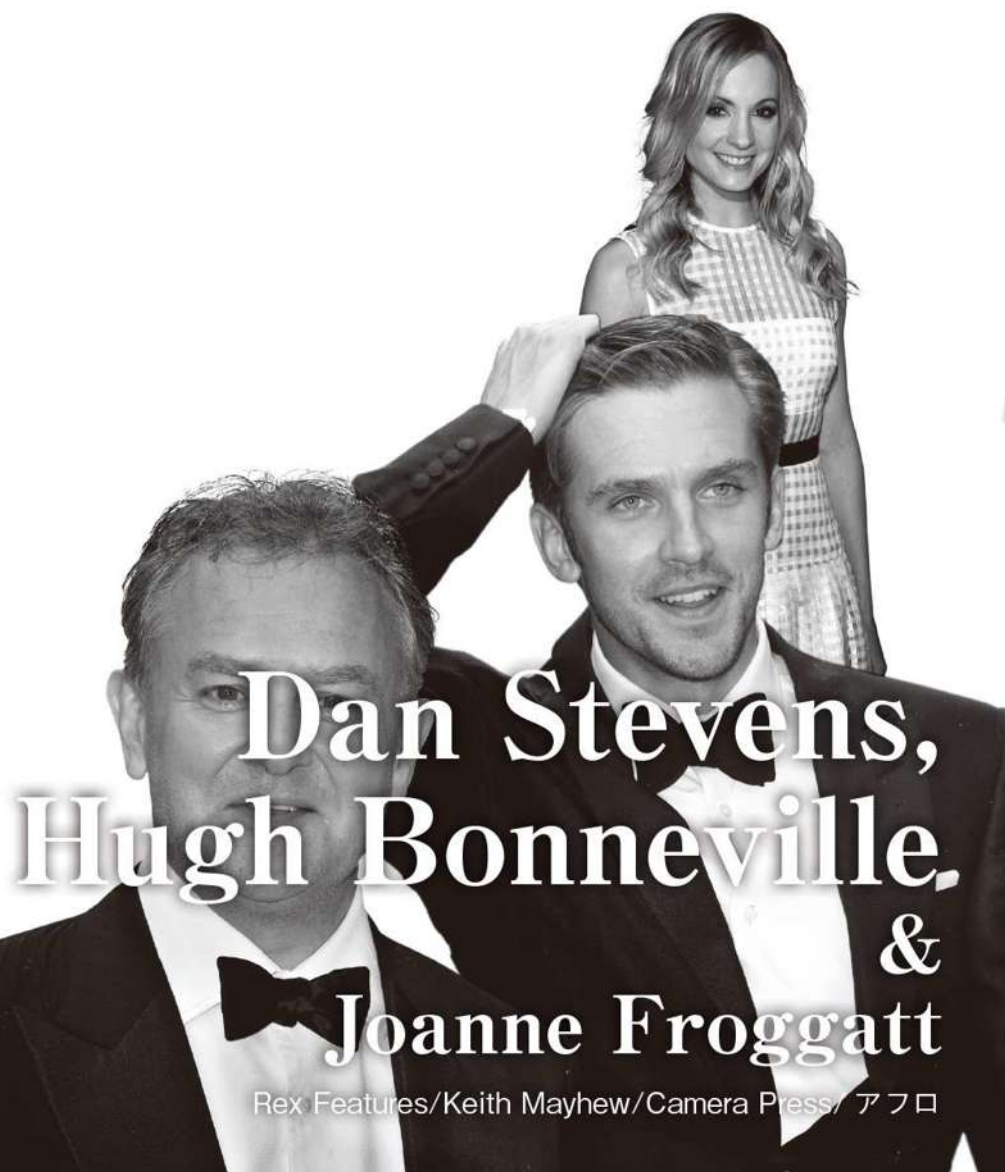
### ⑥ **something**

ちょっとしたもの、いい話

---

※合同インタビューのため、当事者以外の音声が入っている箇所がございます。悪しからずご了承ください。





Rex Features/Keith Mayhew/Camera Press/ アフロ







「ダウントン・アビー」のキャストが語るドラマの魅力

Dan Stevens, Hugh Bonneville & Joanne Froggatt

“I suppose what appealed was also what made him difficult to play, in a way.”

「気に入ったのは、ある意味で、演じるのが難しいという点だったんだ」

Supervising Editor's Comment

ダン は全体的には標準的な発音だが、現代イギリス英語の特徴で語末の[t]が落ちることがある。  
ヒュー は典型的なRP（Received Pronunciation。容認発音）で、発音も明瞭。落ち着いた知的な話しぶりだ。  
ジョアン は時々かなり早口になり、音が崩れる。somebodyは弱く素早い[sʰmɪdɪ]だ。出身地北イングランドの訛りも現れ、[ʌ]が[u]となる。せりふに出てくるbutton、love、funが典型。

Interview Data	
収録日	2012年1月3日
収録地	ロサンゼルス（アメリカ）
ダン・スティーヴンス	
スピード	普通
語彙	普通
発音	明瞭
ヒュー・ボネヴィル	
スピード	速い
語彙	普通
発音	明瞭
ジョアン・フロガット	
スピード	速い
語彙	普通
発音	明瞭だがやや訛りあり

ダン・スティーヴンス〔写真中央〕／ヒュー・ボネヴィル〔同左〕／ジョアン・フロガット〔同右〕  
Dan Stevens / Hugh Bonneville / Joanne Froggatt

ダン・スティーヴンス  
1982年10月10日生まれ。イギリス、ロンドン生まれ。英文学を学んだ後、コメディークラークに参加。TV映画や舞台に出演していたが、TVドラマ「ダウントン・アビー」のマシュー役で一躍脚光を浴び、ハリウッドにも進出。『ナイト ミュージアム／エジプト王の秘密』（'14）でランスロット役を演じるなど、活躍の場を広げている。

ヒュー・ボネヴィル  
1963年11月10日、イギリス、ロンドン生まれ。ウェバー・ダグラス・アカデミー・オブ・ドラマティック・アートで演技を学んだ後、TV、映画、舞台で活躍。

ジョアン・フロガット  
1980年8月23日、イギリス、ノース・ヨークシャー生まれ。「ダウントン・アビー」のメイドのアンナ役でゴールデングローブ助演女優賞（テレビ部門）を2015年に受賞。



●**Jesse Thorn:** Series Two of ●the show takes place ①at the dawn of ●World War I. I think it was a very interesting choice, and I wonder if it was part of the attraction for the three of you that this is a ②costume drama, but it is a costume drama that is set just ③at the very knife's edge.

**Hugh Bonneville:** Absolutely. I think that that's a very, that's a ④crucial point, and perhaps one of its attractions — why it's worked so well. Because it is ⑤on the cusp of the modern era.

There was a massive shift, obviously, with the First World War, the impact of that — the ⑥wiping out of a generation, the rise of the role of women in society, in British society, certainly. That they were, having been employed in men's jobs throughout the war because the men were away, why should they ⑦relinquish those jobs, that role, in society? And so, ⑧votes for women were absolutely ⑨low-key before the war, but they were absolutely, you know, became ⑩paramount after it.

And, if you like, ⑪the long, hot summers of, er, the prewar era, and that ⑫certainty, that confidence that Britain, certainly, had in itself about its role in the world, the empire, and the structure of a house like ●Downton — that absolute confidence of everyone knowing their place — that was ⑬shattered.

And it's the world where the telephone is introduced, where communication and travel are ⑭accelerating, and, er, are hints or ⑮foreshadowing the world that we live in now in a much more ⑯tangible way than perhaps other ⑰period dramas are.

So there's a sense, I think, that people think they're relaxing into a world of ⑱cosy costume drama, but, in fact, no one knows what's gonna happen next.



**Thorn:** Dan, maybe you can start by telling me a little bit about what it was about the character of <sup>①</sup>Matthew, who is, essentially, he's an <sup>②</sup>interloper here. He is not part of this cosy world. He's sort of a visitor from modernity. What was it that appealed to you about that character?

**Dan Stevens:** Well, I suppose what appealed was also what made him difficult to play, in a way. And what <sup>③</sup>intrigued me was, you know, with everybody else in Downton, you see where they fit into the whole system and what role they play in the <sup>④</sup>estate. And with Matthew, you're not quite sure where he comes from.

He is from a different world to them, and so it was up to me to, sort of, <sup>⑤</sup>pick my way through the part and learn about where his place was, and, and what this estate was all about.

And Matthew has to, sort of, learn some lessons, and he <sup>⑥</sup>passes judgement on a few things, but is, sort of, <sup>⑦</sup>taught a lesson at the same time. And so he explores Downton in the way that we do. We come into this world and try and figure it out, and whether we think certain things are right and certain things are wrong.



---

## A Hard-Working Housemaid

 DL Track45

用語解説

語注

---

**Thorn:** Joanne, ♀your character on Downton Abbey is like the, just the ④paragon of kindness and ⑤virtue. Can you ⑥relate to her, sort of, relative ⑦comfort with her place in this system?

**Joanne Froggatt:** Yeah, absolutely. I think, um, obviously for a, a female in that day and age, life was very, very different than the modern woman and how we live now. So, but also for a ⑧working-class girl to be a servant and to ⑨be in service was actually a real asset. And it was a job to be proud of. It was a profession to be proud of.

So, and especially for somebody like Anna, who's actually quite young and she's got quite a ①high place in the house — ‘cause she's the head ②housemaid, and she also is ③lady's maid to ♀the girls as well.

So she's done very, very well at her career, and ④she's very content with that. She is ambitious, but she's a hard worker, and she just knows her world, and things like travelling to different countries and doing things like that just weren't part of that world.

So, I think, to somebody like Anna, it probably never occurred to her that she's missing anything, because this is all she knows and, actually, she's doing very well for herself.

translation ▶



**Thorn:** Hugh and Dan, part of the social protocol of an upper-class home in 1915, you know, you have a ②valet, or valet, whose job it is to make sure that you're wearing the right clothes at the right time and basically put them on you. And I wonder if there's some relationship between the clothes that you put on and the choices that you make as an actor, or the way that you feel on the set.

**Stevens:** I think there definitely is. I think the girls would certainly say that, you know, the ①corsets make you sit and stand straighter. But, er, Hugh and I are very often in these ②horribly stiff shirts with very, very stiff ③collars that, sort of, cut into your neck. And so you do just naturally find yourself standing a little more ④upright and a little more correct. And, um, I'm sure that has a ⑤bearing on how we act and behave in the show.

**Bonneville:** And there's a certain amount of ⑥uniformity to it. Er, the girls, it, well, the girls of the ⑦upstairs part of the story probably got changed three or four times a day — mainly because they hadn't got much else to do. Um, and there's a certain uniformity about the ⑧dress code for dinner. You know, you will always ⑨dress for dinner. And so the, for the men, that's a question of wearing white tie and ⑩tails.

But I think I'm gonna let you into a little secret here — a little bit of a Season Two ⑪spoiler: the ⑫tuxedo makes an appearance in Season Two.

**Thorn:** Ha!

**Bonneville:** It's the new—

**Froggatt:** ⑬Ta-da!

**Bonneville:** A ⑭newfangled invention . . .

**Thorn:** (*whispered*) Shock, horror!

**Bonneville:** . . . which we agreed that I will only wear on very, very informal occasions. It's the ①equivalent of wearing a sort of ②dressing gown, really, um, ③in terms of its ④informality and its, of course, ⑤looked down upon by certain members of the family.



---

## Hidden Messages

 DL  Track347


[用語解説](#) [語注](#)

---

**Thorn:** There's something interesting, this general sense of ⑥reserve, where so little can be said ⑦explicitly, except in secret.

**Froggatt:** Yeah, I think, well that's also, you know, often what you're saying in a scene is not what you're actually saying. And as an actor, as well, that makes it more interesting to play, because, you know, I may be talking to ⑨Mr. Bates about polishing buttons, but actually, we're, kind of, saying, “I think I'm falling in love with you.”

So, as an actor, that's interesting ‘cause you have to find the nuances yourself and find the ⑧highs and lows in the scene. And it's, um, it's fun to do that.

translation 

*Interview reproduced with the permission of Maximum Fun, Inc.*



# 現代の夜明け

 [Track43](#)

ジェシー・ソーン：このドラマ（「ダウントン・アビー」）のシーズン2の時代背景は、第1次世界大戦の初期に設定されています。そこが非常に面白い選択だと思うのですが、皆さん三人にとっても、この点は魅力の一つでしょうか？　つまり、コスチューム・ドラマだとは言っても、社会情勢が非常に不安定な時代を描いたコスチューム・ドラマだ、という点が。

ヒュー・ボネヴィル：そのとおりです。このドラマの重要な点で、魅力の一つでもあるかもしれませんが――成功している理由だと思います。現代への転換期ですから。

第1次世界大戦で、言うまでもなく、非常に大きな変化がありました。ある世代が（戦争で）死滅し、社会、間違いなく英国社会での女性の地位が向上しました。戦時中、女性は、以前は男性が行っていた仕事に就いていました、男性は（戦地に赴いて）国内にいませんでしたから。（戦後、）社会におけるそうした仕事、役割をどうして手放すことができましょう。女性の投票権も戦前はまったく注目されていませんでした。でも、戦後は最重要事項になったのです。

そしてこう言ってよければ、戦前の長く暑い夏、イギリスが、世界における大英帝国の役割について疑いなく持っていた確信や自信、そしてダウントンのような邸宅の在り方――誰もがそこを知っているという絶対的な自信――は粉々に打ち砕かれたのです。

電話が生活に取り入れられ、通信と移動手段はどんどん発展していく、そんな世界です。私たちが今生きている世の中が暗示され、その兆候が示されています。たぶん、ほかの歴史ドラマよりも、ずっと明確な形で。

ですから、見ている人たちは、居心地の良いコスチューム・ドラマの世界でくつろいでいる、そんな感覚があると思いますが、実際のところ、この先何が起きるか誰にもわからないのです。

[【原文】▶](#)



# ダウントンの部外者

 DL  Track44

ゾーン：ダンさん、（あなたの演じる）マシューという登場人物について、最初に少しお話いただけますか？　彼は、ここダウントンでは、本質的に侵入者です。この心地良い世界に属しているわけではありません。いわば現代からの来訪者です。あなたにとって、この登場人物の魅力的な点は何だったのでしょうか？

ダン・スティーヴンス：そうですね、気に入った点は、ある意味で、演じるのが難しい点でもありました。興味を引かれたのは、ダウントンに暮らす誰もが、屋敷の決め事や、そこで果たす役割になじんでいるのです。ですがマシューとはいえば、彼はどこから来たのかよくわからない。

　ダウントンの住人にとって、彼は違う世界から来た人間です。だから、言ってみれば、この役をどう演じ、彼の立ち位置や、この（ダウントンという）広大な屋敷とはいったい何なのかを知っていくかは、僕次第でした。

　マシューは、経験を通し、いわば学ぶ必要がありますし、幾つかのことについて判断を下しますが、同時に、何と云うか、思い知らされる側面もあります。ですから、彼は、私たちと同じように、ダウントンを探検するのです。この世界にやって来て解き明かそうとします、これは正しいだろうか、そしてこれは間違っているだろうかと。

【原文】▶



# 働き者のメイド

 DL  Track5

ソーン：ジョアンさん、「ダウントン・アビー」であなたが演じる登場人物は、優しさや美徳を体現しているように思います。彼女に共感できますか？ この屋敷の中の、彼女の地位に対して、ある程度満足していることに？

ジョアン・フロガット：ええ、まさに共感します。あの時代の女性の生活は、現代の女性、今の私たちの暮らしぶりとは全然違います。ただ、労働者階級の女性にとっては、使用人である、お屋敷に雇われているのは、実際、素晴らしく価値のあることでもありました。誇るべき仕事、誇らしく思う専門職だったんです。

特にアンナのような人物にとっては（そうだったと思います）、とても若くて、お屋敷の（使用人の）中でかなり高い地位にあつて——というのは、彼女はメイド長であると同時に、お嬢さまたち付きのメイドでもありましたから。

彼女はメイドとしてとてもいい仕事をし、それに満足しています。夢はありますが、働き者ですし、自分のいる世界のことしか知りません。さまざまな国を旅するだとか、そういったことは、彼女の世界にはないんです。

ですから、アンナのような人物にとっては、きっと、自分が何か（そうした楽しみ）を逃しているなんて思いもよらないと思います。この世界が彼女にはすべてで、自分の力でとてもうまくやっていますから。

【原文】▶



# 衣装に導かれて

DL Track46

ソーン：ヒューさん、ダンさん、1915年（当時）の上流階級家庭での慣習の一つとして、あなた方（の役）には、ヴァレット（従者）が付いています。彼らの仕事は、あなた方がいつ何を着るべきかを心得ていて、主に、それらを着るのを手伝う、というものです。それで思ったのですが、身に付けているものと、演技方やセットにいるときの気分には、何か関連はありますか？

スティーヴンス：ええ、確かにあると思います。女性たちは、きつこう言うでしょう、コルセットをしていると、座ったり立ったりしているときに背筋が伸びるって。一方、ヒューと僕は、首に食い込むほど堅い襟の付いたすごく窮屈なシャツを着ることがよくあつて。自然と普段より少し姿勢よく、きちんとした立ち方になります。着るものは、ドラマの中でどう演じ、振る舞うかに関係があると思いますね。

ボネヴィル：それにある種の統一性があるというか、その、女性たち、この物語の階上の女性たちは、1日に3回か4回、着替えます。まあ、ほかにあまりやることがないからでしょうが。夕食のときのドレスコードには、共通した決まりがあります。夕食のために常に正装するのです。男性は白の蝶ネクタイにえんぴ服を着るということです。

ちよつと秘密をお教えしましょう、シーズン2のちよつとしたネタバレです。シーズン2では、タキシードが登場しますよ。

ソーン：おお！

ボネヴィル：新しい――

フロガット：ジャジャーン！

ボネヴィル：流行の新しく考案された洋服が.....

ソーン：（小声で）なんてこった！

ボネヴィル：その流行の洋服を、とてもくだけた機会にだけ着ることにしようと皆で決めたのです。略式という点で、部屋着を着ているようなものです。もちろん、家族の特定の人々には、眉をひそめられます。

【原文】▶



# 隠れたメッセージ

 DL  Track47

ソーン：興味深いことに、このドラマには全体的に、控えめな感覚があるというか、あからさまに何かを言うことはほとんどありませんね、内緒話は別として。

フロガット：そうですね、あるシーンで、しゃべっている内容が、実際にその人が言いたいことではない、ということがよくあります。役者として、その方が演じていて面白くできますし、例えば、私（アンナ）がベイツ氏にボタン磨きのことで話し掛けていても、実際には、「あなたを好きになっているみたい」と伝えている、という感じです。

ですから、役者として面白いですね。そのせりふに込められたニュアンスを自分で感じ取らなければなりませんし、そのシーンに必要なありとあらゆることを見つけ出す必要がありますから。そうやって演じるのは楽しいです。

【原文】▶



## Vocabulary List

### A

- accelerate** 加速させる、促進する
- at the dawn of** ~ ~の夜明けで、～の初めに

### B

- bearing** 関係
- be content with** ~ ~に満足している
- be in service** 雇われている

### C

- certainty** 確実性、確信
- collar** 襟
- cosy** 居心地が良い ★〔米〕cozy

### D

- dress** 正装する、（きちんとした服に）着替える
- dress code** 服装規定、ドレスコード

### E

- equivalent of** ~ ~と同等の、～に相当する
- explicitly** あからさまに

### F

- foreshadow** （～の）兆候を示す

### H

- high place** 高い地位
- horribly** ひどく
- housemaid** 女中、メイド

### I

- in terms of** ~ ~という点で
- informality** 略式、非公式
- interloper** 侵入者
- intrigue** （～の）興味を引く

### L

- lady's maid** 侍女
- looked down upon** 見下される
- low-key** 目立たない、重要でない

### N

- newfangled** 流行の

### O

- on the cusp of** ~ ~の転換期に、～の変わり目に

### P

- paragon** 模範、典型
- paramount** 最高の、主要な
- pass judgement on** ~ ~について判断する ★〔米〕judgment
- period drama** 時代劇、歴史ドラマ

### R

- relate to** ~ ~を理解する、～に共感する
- relinquish** 放棄する、断念する

### S

- shatter** 粉碎する、粉々に打ち砕く



□spoiler 台無しにする人、ネタバレ

T

---

□Ta-da ジャジャーン ★擬音語

□tails えんぴ服 ★= tail coat

□tangible 明確な、明白な

□teach ~ a lesson ~（人）に思い知らせる

□tuxedo タキシード ★発音は[ʔksídou]

U

---

□uniformity 同一性、統一性

□upright （姿勢が）まっすぐに

V

---

□valet 従者 ★主人の身の回りの世話をする男性。[væléi]、[vleɪ]と両方のアクセントが英米で使われるが、1つ目は主にアメリカ式の発音。

□virtue 美德、高潔、長所 ★a paragon of virtueで「美德のかがみ」。

□vote 参政権、投票権

W

---

□working-class 労働者階級の

※〔米〕はアメリカ式つづり



# 理解度チェック

インタビューの内容に一致するものは○Yes、一致しないものは○Noを選びましょう。

※質問の難易度の表示は、A=やさしい、B=普通、C=難しい、を表します

目標正答数 初級レベル：3問以上 中級レベル：6問以上 上級レベル：8問以上

Questions		難易度	Yes	No
1	ヒュー・ボネヴィルによると、「ダウントン・アビー」の舞台が第一次世界大戦の初期に設定されている点がドラマの魅力の一つだ。	B		
2	ボネヴィルは、第一次世界大戦後にイギリスの女性の地位は低下したと述べている。	B		
3	ボネヴィルによると、大きな社会変動を背景に描かれる本ドラマは、先の展開が予測できないドラマである。	C		
4	ダン・スティーヴンスは、彼の演じたマシューはダウントンにとって別の世界から来た人物だと述べている。	B		
5	ジョアン・フロガットは、ドラマ当時の女性の生活は現代とまったく異なっている、と語っている。	A		
6	フロガットによると、彼女の演じたアンナは怠け者のメイドだった。	A		
7	身に付ける衣装と演技には関連がある、とスティーヴンスは述べている。	C		
8	ボネヴィルによると、ドラマの中の女性たちが一日に2、3回着替えをするのは、ほかにすることがなかったからだ。	A		
9	ボネヴィルは、「ダウントン・アビー」のシーズン2でナイトガウンが登場する、と打ち明けている。	B		
10	フロガットは、せりふに込められたニュアンスを見い出して演じることにやりがいを感じている。	B		

答え ▶



# 理解度チェック

インタビューの内容に一致するものは○Yes、一致しないものは○Noを選びましょう。

※質問の難易度の表示は、A=やさしい、B=普通、C=難しい、を表します

目標正答数 初級レベル：3問以上 中級レベル：6問以上 上級レベル：8問以上

Questions		難易度	Yes	No
1	ヒュー・ボネヴィルによると、「ダウントン・アビー」の舞台が第一次世界大戦の初期に設定されている点がドラマの魅力の一つだ。	B		
2	ボネヴィルは、第一次世界大戦後にイギリスの女性の地位は低下したと述べている。	B		
3	ボネヴィルによると、大きな社会変動を背景に描かれる本ドラマは、先の展開が予測できないドラマである。	C		
4	ダン・スティーヴンスは、彼の演じたマシューはダウントンにとって別の世界から来た人物だと述べている。	B		
5	ジョアン・フロガットは、ドラマ当時の女性の生活は現代とまったく異なっている、と語っている。	A		
6	フロガットによると、彼女の演じたアンナは怠け者のメイドだった。	A		
7	身に付ける衣装と演技には関連がある、とスティーヴンスは述べている。	C		
8	ボネヴィルによると、ドラマの中の女性たちが一日に2、3回着替えをするのは、ほかにすることがなかったからだ。	A		
9	ボネヴィルは、「ダウントン・アビー」のシーズン2でナイトガウンが登場する、と打ち明けている。	B		
10	フロガットは、せりふに込められたニュアンスを見い出して演じることにやりがいを感じている。	B		



## ① Jesse Thorn

★（1981- ）。インタビュー番組*Bullseye*のプレゼンター。

---

## ② the show

★英国のテレビドラマシリーズ「ダウントン・アビー」のこと。20世紀初頭の英国貴族の邸宅を舞台に繰り広げられる伯爵一家と使用人たちの人間模様を描く。2010年に放映開始、'15年現在シーズン6までが制作されている。ヒュー・ボネヴィルはグランサム伯爵役を演じている。

---

## ③ World War I

第1次世界大戦   ★1914年の「サラエボ事件」をきっかけに始まり1918年まで続いた世界大戦。

---

## ④ Downton

★=Downton Abbey。ドラマのタイトルで、作中に出てくる大邸宅の名称。abbeyは「大邸宅」の意。

---



## ①Matthew

★本作でダンが演じた役。中流階級出身ながら、「ダウントン・アビー」の相続人となり、貴族のしきたりに戸惑いつつも、一家と友好的な関係を築いていく。

---



## ①your character

★ジョアンの演じるメイド長アンナのこと。

---

## ①the girls

★伯爵家の三人姉妹を指す。

---



## ①Mr. Bates

★ボネヴィル演じるグランサム伯爵付き従者で、フロガット演じるアンナの恋人。

---



①at the dawn of ~

～の夜明けで、～の初めに

②costume drama

時代劇、コスチューム・ドラマ、登場人物が凝った衣装を着るドラマ

③at the very knife's edge

（物事の成り行きが）非常に不安定な状態で

④crucial

極めて重要な

⑤on the cusp of ~

～の転換期に、～の変わり目に

⑥wiping out of ~

～の死滅 ★大戦で出征した男性が数多く戦死したことを指す。

⑦relinquish

放棄する、断念する

⑧vote

参政権、投票権

⑨low-key

目立たない、重要でない

⑩paramount

最高の、主要な

⑪the long, hot summers

★何もせず優雅に暮らす様を表現している。

⑫certainty

確実性、確信

⑬shatter

粉碎する、粉々に打ち砕く

①accelerate

加速させる、促進する

②foreshadow

（～の）兆候を示す



### ③tangible

明確な、明白な

---

### ④period drama

時代劇、歴史ドラマ

---

### ⑤cosy

居心地が良い ★アメリカ式つづりはcozy。

---



## ⑥interloper

侵入者 ★伯爵家の家督相続人の海難事故死により、遠縁で中流階級のマッシューが急きょ相続人として呼び寄せられたことを言っている。

---

## ⑦intrigue

(～の) 興味を引く

---

## ⑧estate

屋敷、(広大な) 地所

---

## ①pick one's way through ～

～への道を見つける、～への道を選ぶ

---

## ②pass judgement on ～

～について判断する ★アメリカ式つづりは、judgment。

---

## ③teach ～ a lesson

～(人)に思い知らせる

---



#### ④paragon

模範、典型

#### ⑤virtue

美德、高潔、長所 ★a paragon of virtueで「美德のかがみ」。

#### ⑥relate to ~

～を理解する、～に共感する

#### ⑦comfort

満足

#### ⑧working-class

労働者階級の

#### ⑨be in service

雇われている

#### ①high place

高い地位

#### ②housemaid

女中、メイド

#### ③lady's maid

侍女

#### ④be content with ~

～に満足している



## ⑤valet

従者 ★主人の身の回りの世話をする男性。[væləi]、[vˈleɪ]と両方のアクセントが英米で使われるが、1つ目は主にアメリカ式の発音。

## ①corset

コルセット ★発音は[kɔːrsɪt]。

## ②horribly

ひどく

## ③collar

襟

## ④upright

（姿勢が）まっすぐに

## ⑤bearing

関係

## ⑥uniformity

同一性、統一性

## ⑦upstairs

階上、（使用人に対して）主人 ★downstairsは「階下、使用人」の意。

## ⑧dress code

服装規定、ドレスコード

## ⑨dress

正装する、（きちんとした服に）着替える

## ⑩tails

えんぴ服 ★= tailcoat。

## ⑪spoiler

台無しにする人、ネタバレ

## ⑫tuxedo

タキシード ★タキシードは略式の礼服として考案された。発音は[ˈtʌksɪˈdou]。

## ⑬Ta-da

ジャジャーン ★擬音語。

## ⑭newfangled

流行の

## ①equivalent of ~

～と同等の、～に相当する



## ② dressing gown

部屋着、（パジャマの上に着る）化粧着

---

## ③ in terms of ~

～という点で

---

## ④ informality

略式、非公式

---

## ⑤ looked down upon

見下される

---



## ⑥ reserve

控えめ

---

## ⑦ explicitly

あからさまに

---

## ⑧ highs and lows

考え付く限りすべて

---











「ホビット」シリーズを支える確かな演技力

## Martin Freeman & Ian McKellen

“I wouldn't've been without it in the last few years of my life, that's for sure.”

「この数年、この映画なしの僕なんて考えられない。それは間違いないね」

### Supervising Editor's Comment

マーティンはかなり早口の上に、ソフトな話し方で、聞き取りが困難なところもある。わずかに南イングランドの訛りがあり、basically、gaveの強勢母音がやや「アイ」に近い。

イアンは、出だしの力みのない話しぶりやどもりが、上品なRP話者の特徴。こうしたどもりは、考えながら話している印象を与えるため、肯定的に捉えられる。話が進むと、声量、速度、間を緩急自在に操る。ベテラン俳優の真骨頂だ。

Interview Data	
収録日	2014年12月2日
収録地	ロンドン（イギリス）
マーティン・フリーマン	
スピード	速い
語彙	普通
発音	やや聞き取りにくい
イアン・マッケラン	
スピード	普通
語彙	普通
発音	明瞭

マーティン・フリーマン／イアン・マッケラン  
Martin Freeman / Ian McKellen

マーティン・フリーマン  
1971年9月8日、イギリス、ハンプシャー生まれ。BBCのTVドラマ「ジ・オフィス」のティム役で人気を博す。2010年、BBCのTVドラマ「SHERLOCK/シャーロック」のジョン・ワトソン役で英国アカデミー賞助演男優賞受賞。映画「ホビット」3部作で主役のホビット族、ビルボ・バギンズを演じた。

イアン・マッケラン  
1939年5月25日、イギリス、ランカシャー生まれ。舞台や映画で長年、活躍。「ロード・オブ・ザ・リング」3部作、「ホビット」3部作で、主要キャラクターのガンダルフを演じた。「X-MEN」シリーズのマグニートー役でも知られる。1990年にナイトに叙勲され、サーの称号を持つ。



**Reporter:** ①The Hobbit series has not been your usual film experience ②in that it took a few years to make. Can you talk about what that allowed you to do?

**Martin Freeman:** Well, it gives you the opportunity to actually grow and ③expand inside what you're doing. So, I loved to expand inside ④Bilbo ⑤over a course of three years.

We have a long time to play and discover things that our characters do. We don't just have five minutes. You have a long time to, sort of, play this. And if you're not gonna—⑥it's not your time to—'cause I was always having the conversation with ⑦Peter, “When do I ⑧get to be angry?” Ha-ha, you know. Like, “When do I get to, sort of, show that different side?” And he would always be saying, “It's coming. It's coming.” You know, “Don't worry. ⑨Pace yourself.” You know. Um—

**Peter Jackson:** That was a ⑩shape.

**Freeman:** Exactly. You have to shape it out. And what you learn is to pace yourself, and you learn to, um, yeah, you learn patience, basically—that that time, though, where you wanna play that and you wanna show that about that character, it will come, but you just have to wait.

**Reporter:** Was it a journey of self-discovery for you, as it was for Bilbo?

**Freeman:** I didn't find it, er, really one of self-discovery, particularly. I ⑪thoroughly, thoroughly enjoyed it, and I think that's, kind of, it's own worth, in a way. You know, I mean, we do things in life, whether they're jobs or personal things that you just hope will give you enjoyment and, you know, ⑫enrichment in your life. And it certainly gave me that.

I think I'm still too close to it yet, to see how it's changed me — if it has changed me — or how it's ⑬informed me. I think maybe in 15 years I might know. I mean, ⑭genuinely though, v—very often you know, things you learn in life you don't know five minutes later; you know them much later.

So, all I know is that I'm very, very glad I did it. I'm very grateful that it was able to ⑮work out. And, um, yeah, I ⑯wouldn't've been without it in the last few years of my life, that's ⑰for sure.



**Reporter:** Looking back, how does it feel to finally be saying goodbye to Gandalf?

**Ian McKellen:** Well, you see, the thing is, no, I said goodbye to Gandalf in 2000, er, when I left New Zealand. Well, here we are, 2014, it goes on and on and on. But . . . and, and that it, and has, has been the blessing of my professional life. I'm like all of the actors, we think we're so bloody lucky. There's nothing about luck in the making of the films, of course — that's the planning and the brilliance — but the chance that we were selected, um, well, wonderful.

But I was just impressed last night by the age of, of, of the kids who'd slept out all night to, to come and, er, wish us well. And some of them weren't born in the last century when we, we started! Not born! So, our work is part of their lives and, you know, what are we doing it for other than to have an effect? And the, the effect could be that crucial to them. And they're, they're now going to show these films to their own kids.

To have been involved, er, in films that are now classics is overwhelming. You can't take any credit for it, but it, it's just happened. And, um, I just . . . So, so in the end — it's not the end; it's the beginning now, as people, er, see the film, and then will want to see the six of them. And that'll be a whole other new experience that none of us, so, er, has been able to have until this last Hobbit was made.



**McKellen:** Peter has made a series of classic films. It's not a <sup>⑥</sup>franchise. It's a series of stories that all, er, link together. I'd just like to say something else, because it seems to be <sup>⑦</sup>underneath so many of the questions. What is it like to be in <sup>⑨</sup>Middle Earth? And it's an understandable question because we're, er, I felt it last night. “Oh, I'd love to be there!” And then I said, “Oh, <sup>⑧</sup>hang about, I was there!”

Er, but I, actually, I wasn't there; it was the characters that were there. And Middle Earth actually is in our hearts. But it is up there on the screen, and aren't we lucky to have been, more than anybody else, I think? More than the director, who's looking at it, er, through their or on his video screen, we are actually there. It is snow falling on our boots. It's grass under our feet and the wind blowing in our faces. And, and we're in—

**Jackson:** And, and the <sup>①</sup>occasional <sup>②</sup>green screen.

**McKellen:** Well, there's much less green screen it's seems to me than, that people might <sup>③</sup>suspect. We are actually there. And, er, of course, everybody else wants to be there, too. And that's why they ask questions: “What was it like to be there?”

And, of course, the next development, I hope, is that Peter's going to <sup>④</sup>devise not more films, but a situation that you can all go to that is as much <sup>⑤</sup>theatrical as <sup>⑥</sup>cinematic — a <sup>⑦</sup>living museum where you will actually have the experience. As you sometimes do in the greatest, er, <sup>⑧</sup>exhibitions of that sort, in Hollywood: go into that and *be* there.



**Reporter:** Martin, do you feel a sense of pride that this story is essentially about the little man, <sup>①</sup>figuratively and <sup>②</sup>literally, who makes a big impact on the world?

**Freeman:** Yeah, I'm very proud of the films. I'm very proud of my <sup>①</sup>participation in it. I'm proud <sup>②</sup>on all our behalves, really. That's why I don't feel sad about this being the, you know, the third one. I just, I want people to see it and like it.

I think the message is pretty <sup>①</sup>straightforward. It's not the first story in the world that, kind of, had that sort of message in human history. But I think it, the reason it <sup>②</sup>recurs is because it's strong and it's also, er, it's <sup>③</sup>aspirational 'cause we want it to be true, but it is also true, you know.

Most actual heroes in the world are not six foot five and look like <sup>④</sup>Vikings, you know. Most everyday heroes do not look like that. We all know that to be true. Hollywood doesn't always tell us that truth. That's why we think it's surprising that Bilbo could be a hero.

Well, actually most people that we've ever met who we would consider heroic, or brave, or inspirational, don't look like <sup>⑤</sup>Dolph Lundgren. Do you know what I mean? I mean, don't <sup>⑥</sup>get me wrong — Dolph is a <sup>⑦</sup>lovely fella. He's a lovely fella.

**Jackson:** In fact they, in fact they <sup>⑧</sup>never ever do.

**Freeman:** No. Um, so, yeah, I think it's a, it's the, not the first, sort of, tale in human history that's told that, but I think it's one that's worth <sup>⑨</sup>retelling, yeah.

**McKellen:** And when you go around New Zealand, er, where you find a <sup>①</sup>war memorial to <sup>②</sup>the dead in every village, they're often represented by a statue — sometimes in concrete rather than <sup>③</sup>marble — but it's always of some perfectly ordinary-looking <sup>④</sup>lad, isn't it? Er, I find them extremely <sup>⑤</sup>moving.

And, um, in <sup>⑥</sup>Lord of the Rings, you know, <sup>⑦</sup>Frodo doesn't get back home — as most of those lads didn't. But Bilbo does. So, <sup>⑧</sup>in a sense, The Hobbit, er, is a, a movie with a happy ending.

**Reporter:** Martin, how do you hope the film, and your character in particular, might inspire people, particularly children?

**Freeman:** Any effect you can have on an audience, almost if it's good or bad — I mean, we'd rather have a good one — but, er, any effect you can have on people is a <sup>①</sup>plus. It's <sup>②</sup>ultimately why we're doing it. It's why we're not doing it just in our bedrooms. Er, you wanna touch people. You wanna communicate something in some way. Er, I d—I hope to inspire children to <sup>③</sup>be obsessed over <sup>④</sup>jewellery!

**Jackson:** Ha-ha.



# 忍耐と成長

 DL  Track49

記者：「ホビット」シリーズは、あなたの普段の映画（を撮るときの）体験とは異なり、制作に数年かかりました。そうした撮影で可能になったことについて、お話しいただけますか？

マーティン・フリーマン：そうですね、こういう（長い時間のかかる）映画は、演じる役の中で成長し、大きくなる機会を与えてくれます。ですから、3年間かけてビルボの内側で大きくなっていくのは、とても楽しかったですね。

（こういう作品の場合）役を演じ、そのキャラクターの行動を理解する時間が、たっぷりあります。5分しかない、という状況ではありません。長い時間をかけて、そのキャラクターを演じるわけです。そういう（役の違う側面を見せる）ときでなければ——というのも、ずっとピーターと話していましたから、「いつになったら僕（ビルボ）は怒れる？」なんて。ハハハ。ほかに「いつになったら違う側面を見せられる？」とか。そのたびにピーターはこう言ったものです、「もうすぐ、もうすぐだから」と。「心配するな。落ち着け」とね。それで——

ピーター・ジャクソン：それが一つの形でしたね。

フリーマン：まさにそうです。（キャラクターを）形作らなければならないので。そのうちに学ぶのは、急ぎ過ぎないということ、言ってみれば、忍耐強くなるのです。ただし、キャラクターのそういう（違った）側面を演じ、見せるタイミングは、いずれ訪れます。でも、まずは、待たなければいけません。

記者：ビルボにとってそうだったのと同じく、あなたにとっても自己発見の旅だったのでしょうか？

フリーマン：いえ、特に自己発見の旅というわけではありませんでしたね。とにかく、心ゆくまで楽しみました。それ自体が、ある意味で、何というか、価値あることだと思います。人生には、仕事であれ、プライベートなことであれ、とにかく楽しみになれば、人生を豊かにすればと願って、何かをするときがあるでしょう。この作品は間違いなく、それらを与えてくれました。

まだ今は（撮影から）あまり時間がたっていないので、この経験で自分がどう変わったかはわかりません——どこが変わっていたら、の話ですが——また（この作品が）自分にどのように影響を与えたのかも（わかりません）。15年もたてばわかるかもしれませんが。そう、本当に、人生には、5分後にはわからなくても、ずっと後になってから何を学んだかわかるということが、よくありますよね。

ですから、今の時点でわかるのは、この役を演じたことが、ものすごくうれしい、ということだけです。（この映画の製作が）うまくいったことに、本当に感謝しています。そして、ここ数年、この映画なしの僕なんて考えられない。それは間違いありません。

【原文】▶



# さよならではない

 DL  Track50

記者：振り返ると、ついにガンダルフに別れを告げるというのは、どういうお気持ちですか？

イアン・マッケラン：ああ、いや、実のところ、2000年にニュージーランドを離れるときにすでに、ガンダルフに別れを告げていますからね。それが、2014年の今も、まだ延々と続いているわけです。でも.....私の役者人生における宝でしたよ。私もほかのキャストと同じです、われわれは皆、途方もなく幸運だと感じています。もちろん、映画制作は運でどうにかなるものではありません——重要なのは計画性と際立った才能です——とはいえ、われわれキャストが選ばれためぐり合わせは、素晴らしいことです。

　　昨晚は、とにかく感動しました、（ワールドプレミアに参加するために）一晩中外で過ごして私たちの前途を祝ってくれた子どもたちの年齢に。中には、私たちが（「ロード・オブ・ザ・リング」シリーズを作り）始めた前世紀には、まだ生まれていなかった子どもたちもありましたからね！　生まれていなかったんです！　私たちの作品は、子どもたちの人生の一部になっていて.....私たちのしていることに、人に影響を与える以外の目的などあるでしょうか？　しかも、子どもたちにとっては、人生を変えるほど大きな影響になるかもしれません。今では、（この映画シリーズから影響を受けて育った）子どもたちが、それを自分の子どもたちに見せようとしています。

　　今や古典的名作となっている映画シリーズに関わってきたと考えると、圧倒されてしまいます。私の力というわけではなくて、たまたまそういうことになりました。私はただ.....結局——いや、これは終わりではありません。皆さんがこの映画をご覧になる今が、始まりなのです。（これを見れば）6作すべて見たくなることでしょう。（全編通して見るというのは）この「ホビット」最終章が作られるまでは誰も経験できなかった、まったく新しい経験になるのです。

【原文】▶



# 中つ国への憧れ

 DL  Track51

マッケラン：ピーターは、古典となるような名作シリーズを作り上げました。これは、フランチャイズ映画ではありません。互いに結び付いた、ひと続きの物語なのです。ここで少し、別の話をさせてください——というのも、これが、大半の質問の根底にあるような気がするのです。「中つ国で過ごすというのは、どんな感じか？」そう尋ねなくなるのも、うなずけます、何しろ私自身、昨晚こう思いましたから。「ああ、あそこに行けたら！」その後、こう言いましたけれど。「いや、待てよ、私はあそこにいたじゃないか！」

でも実際は、私があそこにいたわけではありません。あそこにいたのは、物語のキャラクターたちです。中つ国は、本当は私たちの心の中にあります。でもスクリーンに映し出されています。（中つ国に）いたことがあるなんて、私たちはほかの誰よりも幸運ですよ？ カメラの画面越しに、あるいは画面上で見ている監督よりも。私たちは、実際にあそこにいるのですから。靴に降る雪、足下の草、顔に吹きつける風。それに――

ジャクソン：時々、グリーンスクリーン（での撮影）も。

マッケラン：皆さんが思うより全然、グリーンスクリーンのシーンは多くなかったと思いますよ。私たちは確かにあの場所にいるんです。もちろん、皆さんも行ってみたいですよ。だからこう尋ねるのでしょう。「あそこで過ごすのは、どんな感じでしたか」と。

ですからもちろん、次の展開として、ピーターには、さらなる（続きの）映画ではなく、誰にでも行けて、映画のであり劇場的でもある場所——作品そのままの記念館を考案してほしいですね、あの体験をしてもらえるような。ハリウッドの特に優れた展示がそうであるように、（物語の世界に）入り込み、そこで過ごせるような場所です。

[【原文】▶](#)



語り直す価値のある物語

記者：マーティン、これが、比喩的にも文字どおりの意味でも、「小さな」男が世界に大きな影響を与える物語であることに誇りを感じますか？

フリーマン：ええ。この映画シリーズを、すごく誇りに思っていますよ。参加できたことをとてもうれしく思います。全員を代表してそう思っています、本当に。だから、これが（3部作の）3作目であることは、悲しくありません。とにかく皆さんに、見て、気に入ってもらいたいですね。

作品のメッセージは極めて明白です。人類史上初めて、そういうメッセージを伝えようとした物語というわけではありません。けれど、（同じテーマが）何度も登場するのは、このメッセージが力強く、また強い願望を反映しているからだと思います、誰もがそうであってほしいと願っていて、しかも、真実でもありますよね。

この世界に実在する英雄のほとんどは、身の丈6フィート5インチ（約195センチ）ではないし、バイキングのよう（に筋骨隆々）、というわけでもありません。日常の英雄の大半は、そういう姿ではない。それが真実だと誰もが知っています。しかし、ハリウッド映画は必ずしもその真実を伝えるわけではありません。だから、ビルボが英雄になれることにわれわれは驚いてしまうのです。

私たちが実際に会ったことのある人で、英雄的、または勇敢、または触発してくれると思うような人たちの多くは、ドルフ・ラングレンみたいじゃありません。私の言いたいこと、わかりますよね？ いや、誤解しないでください——ドルフはいい男ですよ。素晴らしい人物です。

ジャクソン：現実には、ああいう（見た目の）英雄はいない。

フリーマン：ええ。それで、別に、この作品が人類史上、初めてそれを描いた物語というわけではありません。でも、何度も語り直す価値のあることだと思います。

マッケラン：ニュージーランドを回って、それぞれの村の戦没者記念碑を見ると、戦没者たちはたいてい、一つの像に象徴されていて——大理石ではなく、コンクリートのこともあります——必ず、どこからどう見ても普通の見た目の若者かたどを象っています、そうでしょう？ こうしたものにとても心を打たれます。

「ロード・オブ・ザ・リング」で、フロドは（最終的には）故郷には戻りません——あの若者たちの大半と同じように。でもビルボは帰ります。ですからある意味で、「ホビット」はハッピーエンドの映画ですね。

記者：マーティン、この映画、そして特にあなたの演じたキャラクターが、人々、とりわけ子どもたちに、どういう刺激を与えることを望みますか？

フリーマン：観客に影響を与えることができれば、まあ、良いものでも、悪いものでも——できれば良い方がいいですけど——どんな影響でも与えられれば、それは、いいことです。究極のところを言えば、この仕事をしているのは、そのためですから。それが自分の寝室だけで演じるのではない理由です。人々の心に触れたい。何らかの方法で、何かを伝えたいのです。だから、ええと——子どもたちには、この映画がきっかけで、宝石に夢中になってほしいものですね！

ジャクソン：ハハ。



## Vocabulary List

### A

□**aspirational** 切望するような、実現を望む

### B

□**brilliance** 優れた才能、傑出した技能

### C

□**chance** めぐり合わせ、偶然

□**classic** 古典、名作

### D

□**devise** 考案する、発明する★発音は[dibáiz]

### E

□**effect** 影響

□**enrichment** 豊かにすること、豊かにするもの

□**expand** 広がる、膨らむ、発達する

### F

□**figuratively** 比喩的に、象徴的に

□**for sure** 確かに、確実に

### G

□**genuinely** 本当に、心から

□**get ~ wrong** ~を誤解する

□**go on** 続く

### I

□**in a sense** ある意味では、ある程度は

□**inform** (～に) 影響を与える、形作る

□**in that ...** .....という点で

### J

□**jewellery** 宝石類 ★〔米〕jewelry

### L

□**living** 実物そっくりの、迫真の

□**lovely** 魅力的な、素晴らしい ★この意味では主にイギリス英語で使われる。

### M

□**marble** 大理石

### N

□**never ever do** 何があっても～しない

### O

□**occasional** 時折の、たまの

□**on one's behalf** ～に代わって、～の代表として

□**over a course of ~** ～の間に、～にわたって

□**overwhelming** 圧倒的な、あらいがたい

### P

□**pace oneself** ペースを調節する、適度にする、気楽に構える

□**participation** 参加、関与

□**plus** 好ましい要素、利点

### R

□**recur** 繰り返し起こる、再び出てくる



## S

---

- shape** 状態、様子、形作る
- sleep out** 屋外で寝る、野宿する
- straightforward** 単刀直入な、明白な
- suspect** 推測する、想像する

## T

---

- take credit for** ～ ～を自分の手柄にする
- thoroughly** 徹底的に、完全に

## U

---

- ultimately** 結局のところ、根本的には
- underneath** ～ ～の下に

## W

---

- war memorial** 戦没者記念碑、戦争記念館
- wish ~ well** ～の幸運を願う、～の前途を祝福する
- work out** （計画などが）うまくいく、よい結果になる

※〔米〕はアメリカ式つづり



# 理解度チェック

インタビューの内容に一致するものは○Yes、一致しないものは○Noを選びましょう。

※質問の難易度の表示は、A=やさしい、B=普通、C=難しい、を表します

目標正答数 初級レベル：3問以上 中級レベル：6問以上 上級レベル：8問以上

Questions		難易度	Yes	No
1	マーティン・フリーマンは撮影現場で監督のピーター・ジャクソンによく怒っていた。	C		
2	フリーマンは、ビルボを演じることは自己発見の旅だったと語っている。	A		
3	フリーマンは、演じた役が自分を変えたかどうか、今はまだわからないと言っている。	B		
4	イアン・マッケランによれば、いい映画を作るとは、ほとんどの場合、運に左右される。	B		
5	マッケランは、中つ国は人々の心の中にあるものだ、と語っている。	B		
6	マッケランは、人々が中つ国にいる体験をすることのできる展示ができたらいいと思っている。	B		
7	フリーマンはこの映画（『ホビット 決戦のゆくえ』）を誇りに思っている。	A		
8	フリーマンは、ハリウッド映画が描くヒーローの姿は現実世界を正しく伝えているわけではない、と述べている。	B		
9	マッケランは、「ホビット」はハッピーエンドの映画ではないと思っている。	A		
10	フリーマンは、肯定的なものでも、否定的なものでも、観客に影響を与えることには価値があると思っている。	A		

答え ▶



# 理解度チェック

インタビューの内容に一致するものは○Yes、一致しないものは○Noを選びましょう。

※質問の難易度の表示は、A=やさしい、B=普通、C=難しい、を表します

目標正答数 初級レベル：3問以上 中級レベル：6問以上 上級レベル：8問以上

Questions		難易度	Yes	No
1	マーティン・フリーマンは撮影現場で監督のピーター・ジャクソンによく怒っていた。	C		
2	フリーマンは、ビルボを演じることは自己発見の旅だったと語っている。	A		
3	フリーマンは、演じた役が自分を変えたかどうか、今はまだわからないと言っている。	B		
4	イアン・マッケランによれば、いい映画を作るとは、ほとんどの場合、運に左右される。	B		
5	マッケランは、中つ国は人々の心の中にあるものだ、と語っている。	B		
6	マッケランは、人々が中つ国にいる体験をすることのできる展示ができればいいと思っている。	B		
7	フリーマンはこの映画（『ホビット 決戦のゆくえ』）を誇りに思っている。	A		
8	フリーマンは、ハリウッド映画が描くヒーローの姿は現実世界を正しく伝えているわけではない、と述べている。	B		
9	マッケランは、「ホビット」はハッピーエンドの映画ではないと思っている。	A		
10	フリーマンは、肯定的なものでも、否定的なものでも、観客に影響を与えることには価値があると思っている。	A		



## ①The Hobbit

「ホビット」 ★J・R・R・トールキンの『ホビットの冒険』を原作とするファンタジー映画のシリーズ。『ホビット 思いがけない冒険』（2012）、『ホビット 竜に奪われた王国』（'13）、『ホビット 決戦のゆくえ』（'14）の3部作。映画「ロード・オブ・ザ・リング」シリーズの60年前の中つ国を描く。監督はピーター・ジャクソン。なお、「ホビット」は、小柄で、平穏な生活を好む、架空の種族名。

---

## ②Bilbo (Baggins)

ビルボ（・バギンズ） ★マーティン・フリーマンが演じた「ホビット」3部作の主人公。臆病者だが、仲間たちとの冒険を通して成長していく。

---

## ③Peter (Jackson)

ピーター（・ジャクソン） ★（1961- ）。 「ホビット」3部作、「ロード・オブ・ザ・リング」3部作の監督。その他の監督作に『キング・コング』（'05）などがある。

---



## ① Gandalf

ガンダルフ ★イアン・マッケランが「ホビット」シリーズと「ロード・オブ・ザ・リング」シリーズで演じた、魔法使いのキャラクター。

---

## ② I said goodbye to Gandalf in 2000

★「ロード・オブ・ザ・リング」シリーズの撮影を終えたときに一度は役に別れを告げた、ということ。「ロード・オブ・ザ・リング」3部作は、1999年から約1年で3作分、一気に撮影され、2001～'03年にかけて毎年1作ずつ公開された。

---

## ③ New Zealand

ニュージーランド ★「ロード・オブ・ザ・リング」、「ホビット」両シリーズの撮影は、ピーター・ジャクソン監督の出身地でもあるニュージーランドで行われた。

---



## ①Middle Earth

中つ国 ★「ホビット」シリーズ、「ロード・オブ・ザ・リング」シリーズの舞台となる架空の世界。

---



## ①Dolph Lundgren

ドルフ・ラングレン ★（1957- ）。スウェーデン出身の大柄なアクションスター。主な出演作に『ロッキー4／炎の友情』（'85）、「エクスペンダブルズ」シリーズなどがある。

## ①Lord of the Rings

「ロード・オブ・ザ・リング」 ★J・R・R・トールキンの『指輪物語』を原作とするファンタジー映画のシリーズ。『ロード・オブ・ザ・リング／旅の仲間』（2001）、『ロード・オブ・ザ・リング／二つの塔』（'02）、『ロード・オブ・ザ・リング／王の帰還』（'03）の3部作。

## ②Frodo (Baggins)

フロド（・バギンズ） ★「ロード・オブ・ザ・リング」3部作の主人公。「ホビット」シリーズの冒険を終えて帰還したビルボが養子にした、遠縁のホビット。



① **in that . . .**

.....という点で

② **expand**

広がる、膨らむ、発達する

③ **over a course of ~**

~の間に、~にわたって

④ **it's not your time to**

★ここでは、その後の発言から、be angryまたは、show another side of your characterなどを続けようとしたと思われる。

⑤ **get to be/do**

~する機会を得る

⑥ **pace oneself**

ペースを調節する、適度にする、気楽に構える

⑦ **shape**

状態、様子   ★すぐ下のshapeは動詞で「形作る」の意。

① **thoroughly**

徹底的に、完全に

② **enrichment**

豊かにすること、豊かにするもの

③ **inform**

(~に) 影響を与える、形作る

④ **genuinely**

本当に、心から

⑤ **work out**

(計画などが) うまくいく、良い結果になる

⑥ **wouldn't've**

★= would not have 。

⑦ **for sure**

確かに、確実に



① **go on**

続く

② **blessing**

天からの恵み、ありがたいもの

③ **bloody**

すごく、とてつもなく ★イギリス英語の俗語。

④ **brilliance**

優れた才能、傑出した技能

⑤ **chance**

めぐり合わせ、偶然

⑥ **last night**

★この会見の前夜、『ホビット 決戦のゆくえ』のワールドプレミアが、ロンドンのレスター・スクエアで行われた。数日前から並ぶ人もいた。

⑦ **sleep out**

屋外で寝る、野宿する

⑧ **wish ~ well**

～の幸運を願う、～の前途を祝福する

⑨ **effect**

影響

⑩ **crucial**

決定的な、極めて重要な

① **be involved in ~**

～に関わる、～に関与する

② **classic**

古典、名作

③ **overwhelming**

圧倒的な、あらがいがたい

④ **take credit for ~**

～を自分の手柄にする

⑤ **the six**

★「ホビット」3部作と「ロード・オブ・ザ・リング」3部作のこと。



## ⑥franchise

フランチャイズ（映画） ★映画制作会社などが、キャラクターや世界観の使用許諾を得て作った作品のこと。原作や映画シリーズ、スピンオフ、関連グッズなどの総称。

## ⑦underneath ~

~の下に

## ⑧hang about

（命令形で）ちょっと待て

## ①occasional

時折の、たまの

## ②green screen

グリーンスクリーン ★合成映像を撮影するとき、背景に用いる緑色の布のこと。青色の布を用いることもある。

## ③suspect

推測する、想像する

## ④devise

考案する、発明する ★発音は[dibáiz]。

## ⑤theatrical

劇場の、劇場的な

## ⑥cinematic

映画の、映画的な

## ⑦living

実物そっくりの、迫真の

## ⑧exhibition

★ここでは、体感できるアトラクションのようなものを意図していると思われる。



⑨ **figuratively**

比喩的に、象徴的に

⑩ **literally**

文字どおりに、逐語的に

⑪ **participation**

参加、関与

⑫ **on one's behalf**

～に代わって、～の代表として

① **straightforward**

単刀直入な、明白な

② **recur**

繰り返し起こる、再び出てくる

③ **aspirational**

切望するような、実現を望む

④ **Viking**

バイキング ★8～11世紀にヨーロッパを荒らしたスカンジナビア人、海賊。

⑤ **get ~ wrong**

～を誤解する

⑥ **lovely**

魅力的な、素晴らしい ★この意味では主にイギリス英語で使われる。

⑦ **fella**

人、男 ★fellowの略式表現。

⑧ **never ever do**

何があっても～しない

⑨ **retell**

再び語る、語り直す

① **war memorial**

戦没者記念碑、戦争記念館

② **the dead**

死者

③ **marble**

大理石



#### ④lad

若者、若い男性

---

#### ⑤moving

（人の）心を動かす、感動的な

---

#### ⑥in a sense

ある意味では、ある程度は

---

#### ⑦plus

好ましい要素、利点

---

#### ⑧ultimately

結局のところ、根本的には

---

#### ⑨be obsessed over ~

～に取りつかれたように夢中になる、～に心を奪われる

---

#### ⑩jewellery

宝石類 ★イギリス英語つづり。アメリカ英語ではjewelry。この「ホビット」シリーズに、ドワーフ（架空の種族。小柄だが頑強）の故郷で眠る財宝が出てくるため、冗談で宝石について言及している。

---

※合同会見のため、当事者以外の音声が入っている箇所があります。悪しからずご了承ください。



【音声DL付】ハリウッドスターの英語 4【英国俳優編】  
（電子書籍版）

発行日：2015年11月10日（ver1.0）

企画・編集：株式会社アルク 英語出版編集部

巻頭コラム：富永由紀

学習法コラム：松岡 昇

音声解説：小川直樹

英文校正：Peter Branscombe

翻訳：挙市玲子、中村有以

表紙デザイン：ナオイデザイン室

カバー写真：GettyImages

電子書籍制作：ボイジャー

録音・編集：有限会社ログスタジオ

発行者：平本照磨

発行所：株式会社アルク

〒168-8611 東京都杉並区永福2-54-12

Email：csss@alc.co.jp

Website：http://www.alc.co.jp/

製品サポート：http://home.alc.co.jp/db/owa/usersupport/

- ・本書は『ハリウッドスターの英語 4【英国俳優編】』（2015年11月初版発行）の電子書籍版です。
- ・本書の全部または一部の無断転載を禁じます。著作権法上で認められた場合を除いて、本書からのコピーを禁じます。

©2015 Yuki Tominaga / Noboru Matsuoka / Naoki Ogawa / naoi design office / Jordan Riefe / Maximum Fun, Inc. / ALC PRESS INC.

PC：9580388

ISBN：9784757423800

